

第 33 回 齒科衛生士国家試験対策  
全国統一模擬試験 3

DHS 齒科衛生士部

午前問題				午後問題			
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	c	1	解剖学	56	c d	6	小児歯科学
2	b	2	解剖学	57	b	6	小児歯科学
3	c	2	解剖学	58	d	6	小児歯科学
4	a	2	解剖学	59	b c	6	高齢者・障害者
5	d	1	生化学	60	c	6	高齢者・障害者
6	b	1	生理学	61	b c	6	高齢者・障害者
7	b	1	生理学	62	a c	6	高齢者・障害者
8	d	2	生理学	63	a d	7	歯科予防処置
9	a	3	病理学	64	d	7	歯科予防処置
10	d	3	病理学	65	c d	7	歯科予防処置
11	b	3	微生物学	66	b	7	歯科予防処置
12	d	3	微生物学	67	c	7	歯科予防処置
13	c	3	微生物学	68	a c	7	歯科予防処置
14	c	3	薬理学	69	a d	7	歯科予防処置
15	b	3	薬理学	70	c	7	歯科予防処置
16	c	4	口腔衛生学	71	a b	7	歯科予防処置
17	c	4	口腔衛生学	72	c d	7	歯科予防処置
18	c	4	口腔衛生学	73	b	7	歯科予防処置
19	a	4	口腔衛生学	74	c d	7	歯科予防処置
20	c	4	口腔衛生学	75	b c	7	歯科予防処置
21	b	4	口腔衛生学	76	b	7	歯科予防処置
22	a b	4	口腔衛生学	77	c d	7	歯科予防処置
23	b	4	衛生・公衆衛生学	78	a	8	歯科保健指導
24	a	4	衛生・公衆衛生学	79	a d	8	歯科保健指導
25	c	4	衛生・公衆衛生学	80	b	8	歯科保健指導
26	a d	4	衛生・公衆衛生学	81	b c	8	歯科保健指導
27	c d	4	衛生・公衆衛生学	82	a	8	歯科保健指導
28	a	4	衛生・公衆衛生学	83	b d	8	歯科保健指導
29	b	4	衛生・公衆衛生学	84	a d	8	歯科保健指導
30	a	4	衛生・公衆衛生学	85	a b	8	歯科保健指導
31	a d	5	歯科衛生士概論	86	b c	8	歯科保健指導
32	a b	5	歯科衛生士概論	87	d	8	歯科保健指導
33	c	5	歯科衛生士概論	88	a d	8	歯科保健指導
34	d	5	歯科衛生士概論	89	d	8	歯科保健指導
35	b	6	臨床歯科総論	90	c	8	歯科保健指導
36	c d	6	臨床歯科総論	91	a d	9	歯科診療補助
37	a	6	臨床歯科総論	92	b d	9	歯科診療補助
38	b	6	保存修復学	93	b d	9	歯科診療補助
39	c	6	保存修復学	94	c	9	歯科診療補助
40	c	6	保存修復学	95	a c	9	歯科診療補助
41	c	6	歯内療法	96	a d	9	歯科診療補助
42	b d	6	歯内療法	97	a c	9	歯科診療補助
43	d	6	歯内療法	98	b	9	歯科診療補助
44	d	6	歯内療法	99	a	9	歯科診療補助
45	a b	6	歯内療法	100	b d	9	歯科診療補助
46	a	6	歯科補綴学	101	a d	9	歯科診療補助
47	b c	6	歯科補綴学	102	c	9	歯科診療補助
48	c	6	歯科補綴学	103	b	9	歯科診療補助
49	c	6	口腔外科学	104	b d	9	歯科診療補助
50	d	6	口腔外科学	105	d	9	歯科診療補助
51	a	6	口腔外科学	106	d	9	歯科診療補助
52	c	6	口腔外科学	107	b d	9	歯科診療補助
53	d	6	矯正歯科学	108	a d	9	歯科診療補助
54	b d	6	矯正歯科学	109	a b	9	歯科診療補助
55	a c	6	矯正歯科学	110	a	9	歯科診療補助

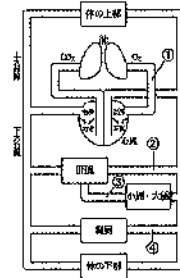
※出題基準

1 人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能	5 歯科衛生士概論	8 歯科保健指導論
2 歯・口腔の構造と機能	6 臨床歯科医学	9 歯科診療補助論
3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	7 歯科予防処置論	
4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み		

## 解説（午前問題）

（問題 1）体循環の模式図を示す。門脈はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

- × a ①は肺静脈である。
- × b ②は肝動脈である。
- c ③は門脈である。
- × d ④は腎動脈である。

答え c

ポイント

<門脈>

- ・門脈が注ぐのは肝臓である。
- ・薬物が門脈経路で吸収される場合、肝臓で代謝を受ける。

（問題 2）味蕾がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯乳頭
- b 茸状乳頭
- c 糸状乳頭
- d 耳下腺乳頭

選択肢考察

- × a 歯乳頭は間葉細胞の組織で、歯乳頭から象牙質と歯髄が形成される。
- b 有郭乳頭、茸状乳頭、葉状乳頭はすべて舌乳頭で、味蕾がみられる。
- × c 糸状乳頭は舌乳頭の中で唯一、味蕾がみられない。
- × d 耳下腺乳頭は耳下腺唾液の開口部位である。

ポイント

<舌乳頭>

有郭乳頭	味蕾がみられる
葉状乳頭	味蕾がみられる
茸状乳頭	味蕾がみられる
糸状乳頭	味蕾がみられない

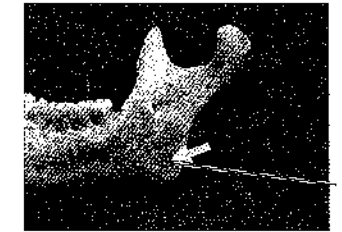
（問題 3）下顎骨の写真（別冊午前No.1）を別に示す。矢印が示す部位に付着している筋はどれか。1つ選べ。

- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

別冊 午前 No.1 写真

選択肢考察

答え c



翼突筋粗面

- × a 咬筋の起始は頬骨弓、停止は下顎角外面（咬筋粗面）である。
- × b 側頭筋の起始は側頭窩、停止は筋突起である。
- c 矢印が示すのは下顎角内面の翼突筋粗面で、内側翼突筋の停止である。起始は蝶形骨翼状突起の翼突窩である。
- × d 外側翼突筋の起始は蝶形骨大翼および蝶形骨翼状突起外側板、停止は関節突起（翼突筋窩）である。

ポイント

<咀嚼筋の起始と停止、作用>

咀嚼筋	起始	停止	作用
咬筋	頬骨弓	下顎角外面（咬筋粗面）	開口運動
側頭筋	側頭窩	筋突起	閉口運動、下顎の後方運動、側方運動
内側翼突筋	蝶形骨翼状突起の翼突窩	下顎角内面（翼突筋粗面）	閉口運動
外側翼突筋	上頭：蝶形骨大翼 下頭：蝶形骨翼状突起外側板	関節突起（翼突筋窩）	閉口運動、下顎の前方運動、側方運動

（問題 4）口腔内写真（別冊午前No.2）を別に示す。

矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 切歯結節
- b 介在結節
- c 中心結節
- d カラベリー結節

別冊 午前 No.2 写真

選択肢考察

答え a



切歯結節

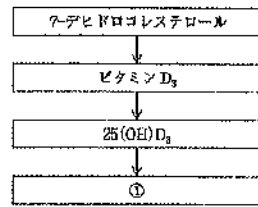
- a 写真は上顎中切歯の舌面にみられる切歯結節である。
- × b 介在結節は上顎第一小臼歯の近心辺縁線にみられる結節である。
- × c 中心結節は下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。
- × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

ポイント

<歯にみられる結節>

カラベリー結節	上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節
介在結節	上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節
中心結節	下顎小臼歯の咬合面にみられる結節
臼後結節	上下顎智歯の遠心隣接面に形成された小結節
切歯結節	上顎中切歯の舌面にみられる結節
臼歯結節	上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節

(問題 5) あるホルモンの合成過程を図に示す。



①について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 肝臓から分泌される。
- b 血糖値を上昇させる。
- c 受容体は細胞膜にある。
- d 血清カルシウムの調節因子である。

選択肢考察 答え d

x a ①は活性型ビタミン D<sub>3</sub> を示している。7-デヒドロコレステロールは、まず皮膚で紫外線を受けるとビタミン D<sub>3</sub> に変換される。ビタミン D<sub>3</sub> は血流に乗って肝臓に移動し、25-水酸化酵素によって側鎖の 25 位の炭素が水酸化を受けて 25 (OH) D<sub>3</sub> に変換される。さらに腎臓に移行し、1α-水酸化酵素によって水酸化を受けて 1α, 25 (OH)<sub>2</sub>D<sub>3</sub> となり、活性型ビタミン D<sub>3</sub> としてはたらく。活性型ビタミン D<sub>3</sub> は「1α, 25 (OH)<sub>2</sub>D<sub>3</sub>」と表記され、腎臓でのみ産生される。

x b 血糖値を上昇させるのはグルカゴンである。

x c 受容体は活性型ビタミン D が脂溶性であることから細胞膜を通過して細胞内、主に核にあるといわれている。

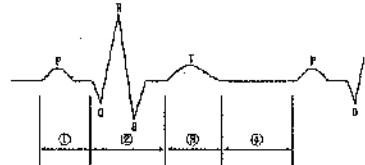
○ d 腸管からカルシウムの吸収を高めたり、骨の吸収を促進したり、腎臓でのカルシウムの再吸収を促進することによって、血清カルシウムを増加させる作用がある。

ポイント

<活性型ビタミン D<sub>3</sub> (1α, 25 (OH) 2D<sub>3</sub>) >

- ・腎臓でのみ産生される。
- ・標的器官は主に小腸と骨である。
- ・血清カルシウムを増加させる作用がある。
- ・脂溶性である。
- ・受容体は細胞内 (主に核) にある。

(問題 6) 標準肢誘導の心電図波形を図に示す。



心室筋の脱分極期を示すのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b

x a ①は P 波形である。心房の興奮を示す心房収縮期である。

○ b ②は QRS 群である。QRS 群は心室収縮期 (=心室筋の脱分極期) である。

x c ③は T 波形である。心室再分極期を示している。

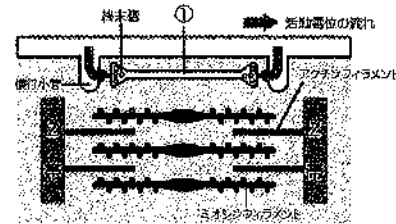
x d ④は TP 部である。心室弛緩期を示している。

ポイント

<心電図>

P波	心房収縮期	興奮波の心房筋への広がりによって生じる。
QRS群	心室収縮期	興奮が心室筋全体に広がり始めることによって生じる。
ST部	心室再分極期	心室全体が興奮する時間である。
TP部	心室弛緩期	心室全体が弛緩する時間である。

(問題 7) 骨格筋構造の模式図を示す。



筋収縮時に①から放出されるのはどれか。1つ選べ。

- a アセチルコリン
- b カルシウムイオン
- c ナトリウムイオン
- d ノルアドレナリン

選択肢考察 答え b

x a, ○ b, x c, x d 筋の収縮時にはアクチンとミオシンの滑り込みが必要で、これらを仲介するトロポニンにカルシウムが結合する。このカルシウムイオンを貯蔵しているのが①の筋小胞体である。

ポイント

<筋の興奮収縮連関>

活動電位が細胞膜へ到達→活動電位は横行小管系を通り筋小胞体に伝えられる→筋小胞体より Ca<sup>2+</sup> の放出→太いフィラメント (ミオシン) と細いフィラメント (アクチン) の相互作用により収縮する

(問題 8) 成人の嚥下時にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 喉頭蓋の上昇
- b 舌の前方移動
- c 軟口蓋の下降
- d 鼻咽腔の閉鎖

選択肢考察 答え d

x a 喉頭蓋が下降して喉頭口を閉鎖する。

x b 舌は後上方に移動する。

x c 舌骨、軟口蓋、喉頭は挙上する。

○ d 鼻咽腔は閉鎖する。これには口蓋帆挙筋、口蓋咽頭筋、上咽頭収縮筋が関与する。

ポイント

<嚥下に伴う反応>

- ・呼吸は一時中断する。
- ・咀嚼は一時中断する。
- ・舌は後上方に移動する。
- ・舌骨や軟口蓋や喉頭は挙上する。
- ・鼻咽腔は閉鎖する (口蓋帆挙筋、口蓋咽頭筋、上咽頭収縮筋が関与)。
- ・喉頭蓋は下降する (喉頭蓋が閉鎖)。
- ・下顎はやや後方に移動する (=嚥下位)。
- ・耳管咽頭口は開口する (→咽頭相では閉鎖)。
- ・心拍数は減少する。
- ・消化管の運動は促進する。

(問題 9) アポトーシスで認められるのはどれか。1つ選べ。

- a 核の凝集
- b 細胞の膨潤
- c 細胞膜の破壊
- d 細胞周囲への炎症反応

選択肢考察 答え a

○ a アポトーシスは個体の遺伝的に制御された生理的、能動的な細胞死のことである。アポトーシスでは核の凝集、細胞の縮小・断片化がみられる。

x b, x c, x d これらは壊死 (ネクローシス) の特徴である。

ポイント

<アポトーシス>

散発的発生、細胞の縮小・断片化、核の凝集・断片化、遺伝子の関与、細胞内小器官の保持など。

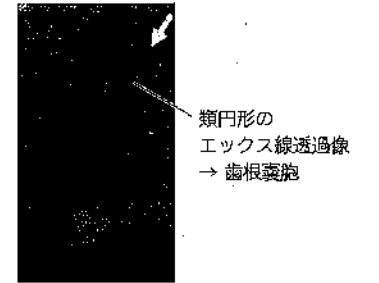
(問題 10) 顎骨内に生じた病変のエックス線画像 (別冊午前No.3) を示す。

矢印で示す病変の上皮の由来はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉上皮
- b 歯根上皮
- c 退縮エナメル上皮
- d マラッセの上皮遺残

別冊 午前 No.3 写真

選択肢考察 答え d



x a, x b, x c, ○ d 根尖部に境界明瞭な類円形のエックス線透過像を示していることから、顎骨内に生じた病変とは歯根嚢胞と考えられる。歯根嚢胞とは、根尖部の肉芽組織中のマラッセの残遺上皮が感染刺激で増殖し、嚢胞を形成したものである。

ポイント

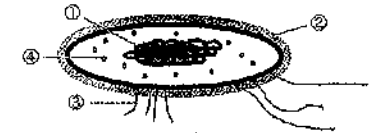
<歯根嚢胞>

- ・根尖部の肉芽組織中のマラッセの残遺上皮が感染刺激で増殖し、嚢胞を形成したものである。
- ・原因歯は失活歯 (無髄歯) で、大半は自覚症状はない。
- ・重層扁平上皮で裏装されている。
- ・根尖部に境界明瞭な類円形のエックス線透過像を示す。

(問題 11) 細菌の模式図を示す。

食細胞の食食に抵抗するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 答え b

x a ①は核様体である。二本鎖 DNA が折りたたまれた構造体である。

○ b ②は莢膜である。菌体の最外層にある多糖体で、食細胞の食食、消化に抵抗する。

x c ③は鞭毛である。鞭毛よりも細く短い。菌の生体への付着、菌同士の結合に関与する。

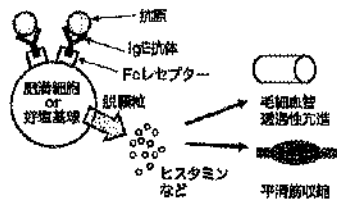
x d ④はリボソームである。細胞質全域に均等に分布する多数の球状のものである。タンパク質合成を行う中心的な装置である。

ポイント

<細菌の構造と機能>

莢膜	菌体の最外層にある多糖体。食細胞の食食、消化に抵抗する。
鞭毛	細菌の運動にかかわる構造物。
線毛	グラム陰性菌によくみられる構造物。菌体の付着に関わっている。
芽胞	ある種の細菌 (破傷風菌、ボツリヌス菌など) の増殖環境が悪化すると生き延びるために形成される嚢子。

(問題 12) アレルギーの模式図を示す。



これに該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 接触性皮膚炎
- b 急性糸球体腎炎
- c 金属アレルギー
- d アナフィラキシーショック

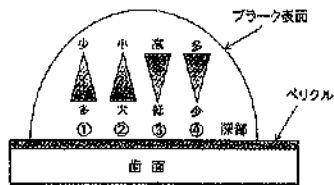
選択肢考察 答え d

× a、× c 接触性皮膚炎、金属アレルギーはともにⅣ型アレルギーで、感作リンパ球が関与する。  
 × b 急性糸球体腎炎はⅢ型アレルギーで、補体が関与する。  
 ○ d IgEが関与するのはⅠ型アレルギーである。気管支喘息、花粉症、じん麻疹、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーショック、ラテックスゴムアレルギーなどが含まれる。

ポイント <発生機序によるアレルギーの分類>

即時型	I型	アナフィラキシー型	気管支喘息、花粉症、じん麻疹、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーショック、ラテックスゴムアレルギー
	II型	細胞傷害型	血液型不適合輸血、新生児溶血性疾患、天疱瘡
	III型	免疫複合体型	急性糸球体腎炎、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群
遅延型	IV型	遅延型	ツベルクリン反応、金属アレルギー、接触性皮膚炎、臓器移植の拒絶反応

(問題 13) 歯面に附着したプラーク内部の物質の濃度分布を模式図に示す。



物質の濃度分布の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ① ——— 栄養素
- b ② ——— 酸素分圧
- c ③ ——— pH
- d ④ ——— 微生物代謝産物

選択肢考察 答え c

× a ①はプラーク表面より深部で多い。一方、栄養素はプラーク表面に多い。  
 × b ②はプラーク表面より深部で高い。一方、酸素分圧はプラーク表面で高い。  
 ○ c ③はプラーク表面より深部で低い。pHもプラーク深部で低い。  
 × d ④はプラーク表面より深部で多い。一方、微生物代謝産物は深部に多い。

× d ④はプラーク表面より深部で少ない。一方、微生物代謝産物はプラーク深部で多い。

ポイント <バイオフィーム感染症>

バイオフィームがバリアとなり、生体の免疫系や抗菌薬が浸透しにくい。

(問題 14) 容器の写真(別冊午前No.4)を別に示す。写真に示す容器はどれか。1つ選べ。

- a 気密容器
- b 遮光容器
- c 密封容器
- d 密閉容器

別冊 午前 No.4 写真

選択肢考察 答え c



生理食塩液の安瓿

× a 気密容器とは、ガラス瓶、プラスチック容器、缶などに、気密性のよい栓またはフタのあるものである。  
 × b 遮光容器とは、光の透過を防ぐ容器、または光の透過を防ぐ包装を施した容器である。  
 ○ c 密封容器とは、気体または微生物の侵入の恐れがないので、安瓿、バイアル瓶などが該当する。  
 × d 密閉容器とは、紙袋、紙箱などの簡単な容器である。

ポイント <保存容器(日本薬局方)>

密閉容器	固形の異物が混入するのを防ぎ、内容医薬品の損失を防ぐ。 ・紙袋、紙箱などの簡単な容器 ・液体や気体の異物の混入を防ぐのは難しい
気密容器	固形や液状の異物が混入するのを防ぎ、内容医薬品の損失を防ぐ。 ・ガラス瓶、プラスチック容器、缶など
密封容器	気体や微生物が侵入しない。最も厳重な容器。 ・安瓿、バイアル瓶など
遮光容器	光の透過を防ぐ容器や包装

(問題 15) 血管壁を強化するのはどれか。1つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンC
- c ビタミンD
- d ビタミンK

選択肢考察 答え b

× a ビタミンAは抗酸化作用があり、粘膜や皮膚を正常に保つ。止血とは無関係である。  
 ○ b ビタミンC(アスコルビン酸)は全身性止血薬に分類される毛細血管強化薬である。  
 × c ビタミンDはカルシウム代謝に関与し、骨や歯をつくる。止血とは無関係である。

× d ビタミンKは肝臓でのプロトロンビン生成に必要なビタミンで、全身性止血薬に分類される血液凝固促進薬である。

ポイント <毛細血管強化薬> アスコルビン酸(ビタミンC)、カルバゾクロムなど。

(問題 16) 感染リスクレベルで使用後にセミクリティカルレベルに分類されるのはどれか。1つ選べ。

- a 注射針
- b 骨膜剥離子
- c 印象用トレー
- d カークランドメス

選択肢考察 答え c

× a、× b、× d 注射針や骨膜剥離子、カークランドメスは、直接体内に接触・導入される器具のため、感染リスクレベルはクリティカルレベル(高リスク)に分類される。  
 ○ c 印象用トレーは口腔粘膜に接する器具で、唾液などの体液に汚染される器具のため、感染リスクレベルはセミクリティカルレベル(中間リスク)に分類される。

ポイント <リスクアセスメント>

高リスク	直接体内に接触・導入される器具
中間リスク	粘膜に接する器具、体液や病原体に汚染された器具
低リスク	健常皮膚に接するもの
最小リスク	皮膚に直接触れないもの

(問題 17) 歯肉縁上歯石と比較した歯肉縁下歯石の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 硬さは比較的脆い。
- b 層状に形成される。
- c 歯肉溝内に形成される。
- d 無機成分は唾液由来である。

選択肢考察 答え c

× a 歯肉縁上歯石の硬さは比較的脆いが、歯肉縁下歯石はかなり硬い。  
 × b 歯肉縁上歯石は層状に形成されるが、歯肉縁下歯石は均一無構造である。  
 ○ c 歯肉縁上歯石は唾液腺開口部付近に形成されるが、歯肉縁下歯石は歯肉溝内に形成される。  
 × d 歯肉縁上歯石の無機成分は唾液由来であるが、歯肉縁下歯石は歯肉溝滲出液由来である。

ポイント <歯石>

	歯肉縁上歯石	歯肉縁下歯石
好発部位	唾液腺開口部付近	歯肉溝内
色	白色、灰白色、淡黄色	暗褐色
構造的性	層状	均一無構造
硬さ	比較的もろい	かなり硬い
無機質の由来	唾液由来	歯肉溝滲出液由来
成分	歯垢由来の細菌体と有機マトリックス成分が石灰化したもの	炎症反応の結果生じるアルカリホスファターゼの作用によりポケット内成分が石灰化したもの

(問題 18) う蝕の発生要因になる甘味料はどれか。1つ選べ。

- a キシリトール
- b スクラロース
- c フルクトース
- d アスパルテーム

選択肢考察 答え c

× a キシリトールは糖アルコールであり、酸をほとんど産生せず、不溶性グルカンも生成しない。  
 × b、× d スクラロースやアスパルテームは人工的に合成された甘味料で、スクロースと同程度の甘さを発揮するようわずかな量では酸を産生せず、不溶性グルカンも生成しない。  
 ○ c フルクトースは酸産生の材料となるため、う蝕の発生要因となる甘味料である。

ポイント <う蝕発生に関する基質>

- ・スクロースのう蝕誘発性は高い。
- ・グルコースやラクトース、フルクトース、マルトースはう蝕誘発性がある。

(問題 19) 歯磨剤の薬用成分で知覚過敏抑制作用があるのはどれか。1つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b トリクロサン
- c デキストラナーゼ
- d ポリリン酸ナトリウム

選択肢考察 答え a

○ a 硝酸カリウムは知覚過敏抑制作用がある。  
 × b トリクロサンは歯肉炎予防作用がある。  
 × c デキストラナーゼはプラークの分解作用がある。  
 × d ポリリン酸ナトリウムは歯石沈着防止作用がある。

ポイント <歯磨剤の薬用成分>

- ・デキストラナーゼ：プラークの分解
- ・ポリリン酸ナトリウム：歯石沈着防止
- ・乳酸アルミニウム、硝酸カリウム：知覚過敏抑制作用
- ・ポリエチレングリコール：タバコのヤニ除去

(問題 20) ブラッシング法において操作が容易で振動させるのはどれか。1つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c スクラビング法
- d スティルマン法

選択肢考察 答え c

× a バス法は振動させるブラッシング法であるが、操作が難しい。  
 × b フォーンズ法は操作が容易なブラッシング法であるが、振動させることはない。  
 ○ c スクラビング法は操作が容易で振動させるブラッシング法である。  
 × d スティルマン法は振動させるブラッシング法であるが、操作が難しい。

**ポイント**  
 <振動させるブラッシング法>  
 ・バス法  
 ・スクラッピング法  
 ・スティルマン法  
 ・チャーターズ法

**〔問題 21〕** O'LearyのPCRで被検歯25歯中、20歯の25歯面が陽性であった。PCR値はどれか。1つ選べ。  
 a 20%  
 b 25%  
 c 33%  
 d 80%

**選択肢考察** **答え b**  
 × a、○ b、× c、× d O'LearyのPCR = 歯垢染色歯面数 / 被検歯面数 × 100 = 25 / (25 × 4) × 100 = 25%となる。

**ポイント**  
 <O'LearyのPCR>

概要	歯肉縁の歯垢を歯面別に評価する指標。通常、歯垢染色液を用いて評価する。
診査部位	口腔に存在するすべての歯について、近遠心、頬舌側各面の歯頸部を診査する。
診査基準	各歯面の歯肉縁に歯垢が「ある」か「ない」かを診査する。
評価法	PCR = 歯垢存在歯面数 ÷ 診査歯面数 × 100 (%) TBIの当面の達成目標として、このPercent Indexを20%以下に目指すことが多い。

**〔問題 22〕** 令和4年歯科疾患実態調査で前回調査（平成28年）と比較して減少したのはどれか。2つ選べ。  
 a 1日1回歯をみがく者の割合  
 b 15～24歳の1人平均DMF歯数  
 c 75歳以上で4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合  
 d 85歳以上でう歯をもつ者の割合

**選択肢考察** **答え a b**  
 ○ a 1日1回歯をみがく者の割合は前回調査（平成28年）と比較して減少している。  
 ○ b 15～24歳の1人平均DMF歯数は前回調査（平成28年）と比較して減少している。  
 × c 75歳以上で4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は前回調査（平成28年）と比較して増加している。  
 × d 85歳以上でう歯をもつ者の割合は前回調査（平成28年）と比較して増加している。

**ポイント**  
 <歯をみがく頻度>  
 1歳以上の者では、毎日歯をみがく者の割合は97.4%であった。毎日2回以上歯をみがく者の割合は増加を続けており、2022（令和4）年では79.2%であった。

**〔問題 23〕** 健康増進法に基づいて実施されるのはどれか。1つ選べ。  
 a 一般健康診断  
 b 地域がん登録  
 c 特殊健康診断  
 d ストレスチェック

**選択肢考察** **答え b**  
 × a、× c、× d 一般健康診断や特殊健康診断、ストレスチェックは「労働安全衛生法」に基づいて実施される。  
 ○ b 地域がん登録は「健康増進法」に基づいて実施される。

**ポイント**  
 <市町村による健康増進事業>  
 ・健康手帳の交付  
 ・健康教育  
 ・健康相談  
 ・訪問指導  
 ・歯周疾患検診（40歳、50歳、60歳、70歳）  
 ・骨粗鬆症検診  
 ・がん検診  
 ・肝炎ウイルス検診

**〔問題 24〕** 地域保健法で設置が規定されているのはどれか。1つ選べ。  
 a 人材確保支援センター  
 b 地域活動支援センター  
 c 地域包括支援センター  
 d 発達障害者支援センター

**選択肢考察** **答え a**  
 ○ a 人材確保支援センターの設置は「地域保健法」に規定されている。  
 × b 地域活動支援センターの設置は「障害者総合支援法」に規定されている。  
 × c 地域包括支援センターの設置は「介護保険法」に規定されている。  
 × d 発達障害者支援センターの設置は「発達障害者支援法」に規定されている。

**ポイント**  
 <人材確保支援計画>  
 市町村は地域保健対策の円滑な実施を図るために、自ら責任をもって、住民に身近で利用頻度の高い保健サービスに必要な人材の確保および資質の向上を図ることが原則である。

**〔問題 25〕** 1歳6か月児歯科健康診査における診査項目で「よい・経過観察」と記載するのはどれか。1つ選べ。  
 a 歯の状態  
 b 歯の汚れ  
 c かみ合わせ  
 d 歯肉や粘膜

**選択肢考察** **答え c**  
 × a 歯の状態の欄に記号（生歯：/または連続線（一部でも萌出していれば生歯とする）、う蝕：○）で状態を記入する。

× b 歯の汚れは上顎4前歯唇面を診査し、ないときは「きれい」に、歯面の1/3以下のときは「少ない」に、それ以上のときは「多い」に○を付ける。  
 ○ c かみ合わせはその状態を診査し、異常がなければ「よい」に○を付ける。顕著な歯列不正や不正咬合で、将来咬合異常が懸念されるときは「経過観察」に○を付ける。  
 × d 歯肉や粘膜は軟組織の疾病や異常を診査し、歯肉、舌、口腔粘膜、舌小帯、上唇小帯などに異常がなければ「異常なし」に○を付ける。疾病や異常が認められたときにはその内容をカッコ内に記入する。

**ポイント**  
 <1歳6か月児歯科健康診査>  
 市町村と特別区が満1歳6か月～満2歳に達しない幼児を対象として実施する。

**〔問題 26〕** 労働安全衛生法で、取り扱う労働者に歯科医師による健康診断が義務付けられている酸はどれか。2つ選べ。  
 a 塩酸  
 b 酢酸  
 c 黄リン  
 d フッ化水素

**選択肢考察** **答え a d**  
 ○ a 塩酸は歯科医師による特殊健康診断の対象となる酸である。  
 × b 酢酸は歯科医師による特殊健康診断の対象ではない。  
 × c 黄リンは歯科医師による特殊健康診断の対象となるが、酸ではない。  
 ○ d フッ化水素は歯科医師による特殊健康診断の対象となる酸である。

**ポイント**  
 <歯科医師による特殊健康診断の対象者>  
 塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、その他歯またはその支持組織に有害なもののガス、蒸気または粉じんを発散する場所における業務に従事する労働者

**〔問題 27〕** パリ協定（2015年）で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 長期目標は5℃である。  
 b 大気汚染物質の削減を目標とした。  
 c 二国間クレジット制度が含まれている。  
 d イノベーションの重要性を位置付けている。

**選択肢考察** **答え c d**  
 × a 長期目標は2℃である。  
 × b 温室効果ガスの削減を目標とした。  
 ○ c 二国間クレジット制度も含めた市場メカニズムを活用している。  
 ○ d イノベーションの重要性を位置付けている。

**ポイント**  
 <パリ協定>  
 ・世界共通の地球温暖化対策のための長期目標として2℃目標の設定。1.5℃に抑える努力を追求すること。  
 ・主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新すること。

・すべての国が共通かつ柔軟な方法で実施状況を報告し、レビューを受けること。  
 ・適応の長期目標の設定、各国の適応計画プロセスや行動の実施、適応報告書の提出と定期的更新。  
 ・イノベーションの重要性の位置付け。  
 ・5年ごとに世界全体としての実施状況を検討する仕組み（グローバル・ストックテイク）。  
 ・先進国による資金の提供。これに加えて、途上国も自主的に資金を提供すること。  
 ・二国間クレジット制度（JCM）も含めた市場メカニズムの活用。

**〔問題 28〕** 要介護高齢者の自宅療養において、療養上の必要な診療の補助を行うのはどれか。1つ選べ。  
 a 看護師  
 b 保健師  
 c 介護福祉士  
 d 介護支援専門員

**選択肢考察** **答え a**  
 ○ a 訪問看護では、病状が安定期にあり、訪問看護を要すると主治医などが認めた要介護者などについて、病院、診療所または訪問看護ステーションの看護師などが自宅を訪問して療養上の世話または必要な診療の補助を行う。  
 × b 保健師は、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう。  
 × c 介護福祉士は、心身の状況に応じた介護を行い、その者およびその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者をいう。  
 × d 介護支援専門員（ケアマネジャー）は、要介護者または要支援者からの相談に応じ、および要介護者などがその心身の状況などに応じ各種サービス事業を行う者などとの連絡調整などを行う者であって、要介護者などが自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識および技術を有する者をいう。

**ポイント**  
 <看護師>  
 傷病者もしくは褥瘡に対する療養上の世話または診療の補助を行うことを業とする者をいう。

**〔問題 29〕** 令和2年度における我が国の国民医療費で正しいのはどれか。1つ選べ。  
 a 国民医療費は45兆円を超えている。  
 b 後期高齢者医療給付分が国民医療費全体の約35%である。  
 c 国民医療費に占める歯科診療医療費の割合は約70%である。  
 d 歯科診療医療費のうち65歳以上が歯科全体の約60%である。

**選択肢考察** **答え b**  
 × a 国民医療費は40兆円を超えているが45兆円は超えていない。  
 ○ b 後期高齢者医療給付分が国民医療費全体の約35%である。  
 × c 国民医療費に占める歯科診療医療費の割合は約7%である。

× d 歯科診療医療費のうち 65 歳未満が歯科全体の約 60%で、65 歳以上が歯科全体の約 40%である。

ポイント

<令和 2 年度国民医療費の動向>

- ・国民医療費：42 兆 9,665 億円
・人口 1 人当たりの国民医療費：34 万 600 円
・国民医療費の国内総生産 (GDP) に対する比率：8.02%
・制度区分別：医療保険等給付分 (45.1%)、後期高齢者医療給付分 (35.6%)
・財源別：保険料 (49.5%)、公費 (38.4%)
・年齢階級別：65 歳未満 (38.5%)、65 歳以上 (61.5%)
・歯科診療医療費：3 兆 22 億円 (7.0%)
・年齢階級別：65 歳未満 (60.6%)、65 歳以上 (39.4%)

(問題 30) ある地域の高齢者を対象に、健康寿命が延伸したか否かに及ぼす喫煙の影響を調査することとした。

この研究方法はどれか。1つ選べ。

- a 症例対照研究
b 前向きコホート研究
c ランダム化比較試験
d 非ランダム化比較試験

選択肢考察

答え a

- a 分析疫学の 1 つである。目的とする疾病をもつ者の集団ともたない者の集団を選び出し、疾病と過去の曝露要因との関連を分析する方法である。健康寿命が延伸した集団と延伸しなかった集団を選び出し、健康寿命と喫煙の影響を分析しているため、症例対照研究を行っている。
× b 分析疫学の 1 つである。調査開始時点にて対象とする疾病をもたない集団において、要因曝露のある集団と要因曝露のない集団を将来にわたって追跡する方法である。
× c 介入研究の 1 つである。研究対象集団に対してランダムな割りつけが必要である。
× d 介入研究の 1 つである。研究対象集団に対して非ランダムな割りつけが必要である。

ポイント

<無作為化対照試験>

介入研究においては無作為化対照試験が最も根拠の質が高い手法であると考えられているが、現実的にはさまざまな制約があるため、ランダムな割りつけが難しいことが多い。

(問題 31) 歯科衛生士法に基づく業務従事者届出事項はどれか。2つ選べ。

- a 住所
b 本籍地
c 業務に従事する歯科医院の管理者
d 名簿の登録番号および登録年月日

選択肢考察

答え a d

- a、× b、× c、○ d 業務に従事している歯科衛生士は 2 年ごとに 12 月 31 日現在の氏名、住所、年齢、業務従事先の所在地および名称、名簿の登録番号および登録年月日を翌年 1 月 15 日までに就業地の都道府県知事 (直接の届出先は所轄の保健所長) に届け出る

ことが歯科衛生士法第 6 条で義務づけられている。

ポイント

<歯科衛生士業務従事者届>

2 年ごとに就業地の都道府県知事に届け出ることが義務づけられている。(歯科衛生士法第 6 条)

(問題 32) 我が国における歯科衛生士に関わる事項で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 昭和 23 年に歯科衛生士法が制定された。
b 昭和 30 年に歯科診療の補助業務が法制化された。
c 平成元年に資格試験が歯科衛生士国家試験となった。
d 平成 20 年に全養成機関での修業年限が 3 年以上となった。

選択肢考察

答え a b

- a 昭和 23 年に「歯科衛生士法」が制定された。
○ b 昭和 30 年に「歯科衛生士法」の業務に「歯科診療の補助」が加えられた。
× c 第 1 回全国統一歯科衛生士試験は平成 4 年 (1992 年) に実施された。平成 21 年 (2009 年) 「歯科衛生士法」の一部が改正され、「歯科衛生士試験」の名称を「歯科衛生士国家試験」とした。
× d 平成 22 年に全養成機関での修業年限が 3 年以上となった。

ポイント

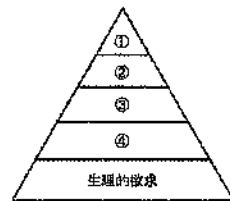
<歯科衛生士の歴史>

Table with 2 columns: 年代, 事項. Rows include昭和23年(1948), 昭和30年(1955), 平成元年(1989), 平成4年(1992), 平成21年(2009), 平成22年(2010), 平成26年(2014).

(問題 33) マズローの欲求 5 段階説の図を別に示す。

①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 安全の欲求
b 承認の欲求
c 自己実現の欲求
d 所属と愛情の欲求



選択肢考察

答え c

- × a、× b、○ c、× d ①は自己実現の欲求である。

ポイント

<マズローの欲求 5 段階説>

- ①自己実現の欲求
②承認の欲求
③所属と愛情の欲求
④安全の欲求
⑤生理的欲求

(問題 34) 汚染したグローブの外し方の写真 (別冊午前 No.5) を別に示す。

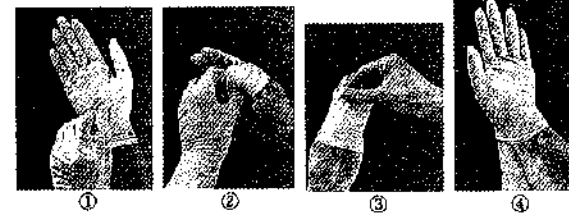
正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.5 写真

選択肢考察

答え d



- × a ①は汚染された左手親指で右手掌を触っている。
× b ②も汚染された左手親指で右手掌を触っている。
× c ③は右手示指が左手グローブの汚染された部分を触っている。
○ d ④は正しい。

ポイント

<滅菌グローブの着脱方法>

- ①滅菌グローブの内側は未滅菌なので、素手で触ってもよい。
②滅菌グローブの外側は滅菌グローブで触るようにする。
③片方のグローブの袖口部分を掴んで、外側が内側になるように外す。
④反対のグローブの外側を触れないようにしながら袖口に素手を入れ、外側が内側になるように外す。
⑤外したあとは手指衛生を行う。

(問題 35) ある検査に用いる器材の写真 (別冊午前 No.6) を別に示す。

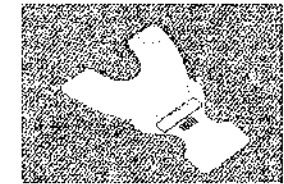
この検査により評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌圧
b 咬合力
c 唾液量
d 咀嚼能力

別冊 午前 No.6 写真

選択肢考察

答え b



咬合力測定システム用フィルム

- × a 舌圧は舌圧測定器で評価する。
○ b 写真の器材は咬合力測定システム用フィルムであり、咬合力を評価する。
× c 唾液量はガーゼを用いたサクソテストなどで評価する。
× d 咀嚼能力はグミゼリーなどを用いた咀嚼能力検査で評価する。

ポイント

<口腔機能低下症の検査>

- ・低舌圧の検査
・口腔乾燥の検査
・咬合力低下の検査
・咀嚼機能低下の検査
・嚥下機能低下の検査
・口腔衛生状態不良の検査
・舌口唇運動機能低下の検査

(問題 36) 嚥下内視鏡検査の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 準備期の評価ができる。
b 患者の口から内視鏡を挿入する。
c 実際の食事の評価が可能である。
d 患者のベッドサイドで利用できる。

選択肢考察

答え c d

- × a 嚥下内視鏡検査は準備期の評価ができない。嚥下造影検査では可能である。
× b 嚥下内視鏡検査は患者の鼻から内視鏡を挿入する。
○ c 嚥下内視鏡検査は実際の食事の評価が可能である。
○ d 嚥下内視鏡検査は患者のベッドサイドで利用できる。

ポイント

<嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査>

Table comparing 嚥下内視鏡検査 and 嚥下造影検査. 嚥下内視鏡検査: 被曝がない。場所の制約がない。実際の食事の評価や唾液の誤嚥の観察が可能。 嚥下造影検査: エックス線透視下で造影剤や造影剤含有の模擬食品を摂取させる。

(問題 37) 瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入して行うエックス線検査の目的はどれか。1つ選べ。

- a 原因歯の特定
b 切開時期の把握
c 歯髄の生死の判定
d ポケット底の位置の把握

選択肢考察

答え a

- a 瘻孔から挿入したガッタパーチャポイントがどこに到達するかを観察することで原因歯の特定を行う。
× b 切開時期の把握は波動の有無などを参考にする。
× c 歯髄の生死の判定は歯髄電気診や温度診などを用いる。

× d ポケット底の位置の把握はプロービングなどを行う。

ポイント

<瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入して行うエックス線検査>  
ガッタパーチャポイントのエックス線造影性を利用して原因歯を特定する。

(問題 38) 27歳の女性。上下顎前歯の変色を主訴として来院した。萌出時から変色していたという。患歯はすべて歯髄電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊午前No.7)を別に示す。

変色の理由で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 外傷
- b 抗菌薬の服用
- c 象牙質形成不全
- d フッ化物歯面塗布

別冊 午前 No.7 写真

選択肢考察

答え b



テトラサイクリン歯

- × a 外傷が原因で左右対称性に全顎的に変色が生じるとは考えられない。
- b 左右対称性の帯状の褐色の変色がみられ、歯の形成期のテトラサイクリン系抗菌薬の服用が考えられる。
- × c 象牙質形成不全ではオパール色の変色やエナメル質の剥離などがみられる。
- × d フッ化物歯面塗布で帯状の褐色の変色が生じるとは考えられない。

ポイント

<テトラサイクリン歯>  
・軽度な場合は歯の漂白を行う。  
・重度の場合にはラミネートベニア修復などを行う。

(問題 39) 従来型ガラスイオノマーセメントと比較してレジン添加型ガラスイオノマーセメントで大きいのはどれか。1つ選べ。

- a 感水性
- b 唾液溶解性
- c 歯質接着性
- d フッ化物徐放性

選択肢考察

答え c

- × a 感水性はレジン添加型ガラスイオノマーセメントのほうが小さい。
- × b 唾液溶解性はレジン添加型ガラスイオノマーセメントのほうが小さい。
- c 歯質接着性はレジン添加型ガラスイオノマーセメントのほうが大きい。

× d フッ化物徐放性はレジン添加型ガラスイオノマーセメントのほうが小さい。

ポイント

<ガラスイオノマーセメントの特徴>  
・歯面処理なしで歯質接着性を有する。  
・フッ化物徐放性により二次う蝕予防効果が期待できる。  
・硬化時に感水すると物性が低下する。

(問題 40) 70歳の男性。上顎右側第二小臼歯の清掃時の違和感を主訴として来院した。5]は歯髄電気診で正常反応を示す。初診時の口腔内写真(別冊午前No.8)を別に示す。

矢印で示す欠損の形成に関与すると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 外部吸収
- b 習慣性嘔吐
- c アブフラクション
- d 過度の歯間ブラシの使用

別冊 午前 No.8 写真

選択肢考察

答え c



矢印で示す部位は歯頸部であり、形態からくさび状欠損と考えられる

- × a 外部吸収は歯根膜の炎症などが原因で生じる歯根面の吸収である。くさび状欠損の形成に関与するとは考えにくい。
- × b 習慣性嘔吐では上顎前歯部口蓋側などの酸蝕症の原因となる。くさび状欠損の形成に関与するとは考えにくい。
- c 写真をみると頬側歯頸部のくさび状欠損であり、形成には咬合力によるアブフラクションが関与していると考えられる。
- × d 過度の歯間ブラシの使用で歯頸部のくさび状欠損が生じるとは考えにくい。

ポイント

<くさび状欠損>  
過度のブラッシング圧による摩擦やブラシキズムなどによるアブフラクションの関与が考えられる。

(問題 41) 16歳の女子。上顎左側側切歯の違和感を主訴として来院した。歯髄電気診に生活反応を示した。初診時のエックス線画像(別冊午前No.9)を別に示す。

最も考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄壊疽
- b 慢性歯周炎
- c 歯の内部吸収
- d 慢性増殖性歯髄炎

別冊 午前 No.9 写真

選択肢考察

答え c



内部吸収を起こしている

- × a 歯髄壊疽は歯髄に生活反応はみられない。
- × b 慢性歯周炎は歯周ポケットの形成や歯槽骨吸収がみられる。
- c エックス線画像をみると、歯髄腔が広がっているように観察できる。歯の内部吸収が疑われる。
- × d 慢性増殖性歯髄炎はう蝕などで大きく露髄し、露髄部から歯髄ポリープが観察できる。

ポイント

<歯の内部吸収>  
・自覚症状に乏しく、エックス線検査で偶然発見されることが多い。  
・吸収は進行性であるため、発見したら吸収を停止させるため抜歯を行うのがよい。

(問題 42) 処置法と使用薬剤の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯髄鎮痛消炎療法 — 水酸化カルシウム製剤
- b 暫間的間接覆髄法 — HY 剤配合ポリカルボキシレートセメント
- c 直接覆髄法 — フェノールカンフル
- d 生活歯髄切断法 — MTA セメント

選択肢考察

答え b d

- × a 水酸化カルシウム製剤は歯髄鎮痛消炎療法に用いられない。
- b HY 剤配合ポリカルボキシレートセメントは暫間的間接覆髄法に用いられる。
- × c フェノールカンフルは直接覆髄法に用いられない。
- d MTA セメントは生活歯髄切断法に用いられる。

ポイント

<歯内治療に用いる薬剤>

歯髄鎮痛消炎療法	ユージノール、フェノールカンフルなど
暫間的間接覆髄法	水酸化カルシウム製剤、HY 剤配合ポリカルボキシレートセメント
直接覆髄法	水酸化カルシウム製剤、MTAセメント
生活歯髄切断法	水酸化カルシウム製剤、MTAセメント

(問題 43) 根管の化学的清掃にEDTA製剤を用いる理由はどれか。1つ選べ。

- a 殺菌作用
- b 発泡作用
- c 歯の漂白作用
- d 象牙質削片除去作用

選択肢考察

答え d

- × a 殺菌作用は EDTA 製剤を用いる理由ではない。
- × b 発泡作用は EDTA 製剤を用いる理由ではない。
- × c 歯の漂白作用は EDTA 製剤を用いる理由ではない。
- d EDTA 製剤は無機質溶解作用があり、象牙質削片除去作用が期待できる。

ポイント

<根管の化学的清掃に用いる薬剤>  
・NaClO: 殺菌作用、有機質溶解作用  
・EDTA: 無機質溶解作用による象牙質削片除去作用

(問題 44) 45歳の女性。下顎左側臼歯部の歯肉出血を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断し、歯周基本治療後にある器具を用いて歯周外科治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.10A)と使用する器具の写真(別冊午前No.10B)を別に示す。

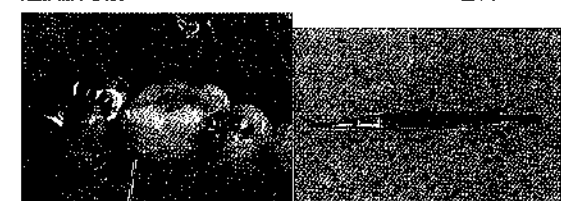
考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 歯肉切除術
- c 歯周ポケット搔爬術
- d リグロス®を用いた再生療法

別冊 午前 No.10A、B 写真

選択肢考察

答え d



歯肉退縮している

骨膜剥離子

- × a 新付着術はメスを使用してポケット内壁を切除するが、歯肉は剥離しないため骨膜剥離子は使用しない。
- × b 歯肉切除術はメスを使用して歯肉を切除するが、歯肉は剥離しないため骨膜剥離子は使用しない。
- × c 歯周ポケット搔爬術は、歯肉を剥離せずスクレーラーでポケット内壁を搔爬するものであり、骨膜剥離子は使用しない。
- d リグロス®を用いた再生療法は歯肉を剥離するために骨膜剥離子を用いる。

ポイント

<骨膜剥離子を用いる歯周外科治療>  
・GTR 法  
・骨移植術  
・フラップ手術  
・歯槽骨整形術、切除術  
・リグロス®を用いた再生療法  
・エムドゲイン®ゲルを用いた再生療法

〔問題 45〕 65歳の男性。歯周病の治療を希望して来院した。歯周基本治療後の再評価時の結果、[6]に深い歯周ポケットが残存したためフラップ手術を行うことになった。

[5][6]は歯髄電気診に反応する。初診時の口腔内写真(別冊午前No.11)を別に示す。

処置前に説明すべき術後の症状はどれか。2つ選べ。

- a 冷水痛
- b 歯肉退縮
- c 歯の変色
- d 生理的動揺の喪失

別冊 午前 No.11 写真

選択肢考察

答え a b



分岐部の露出はみられない

- a フラップ手術後に根面露出によって冷水痛が生じる可能性が高いため、処置前に説明しておくべきである。
- b フラップ手術後には歯肉が退縮しやすいため、処置前に説明しておくべきである。
- × c フラップ手術後に歯の変色が発症するとは考えられず、処置前に説明しておくべき症状とはいえない。
- × d フラップ手術後に生理的動揺が喪失するとは考えられず、処置前に説明しておくべき症状とはいえない。

ポイント

<フラップ手術後に生じやすいこと>

- ・歯肉退縮による審美障害
- ・根面露出による象牙質知覚過敏
- ・術直後の一時的な動揺度増加

〔問題 46〕 75歳の男性。上下顎全部床義歯を製作することにした。診療中の写真(別冊午前No.12)を別に示す。

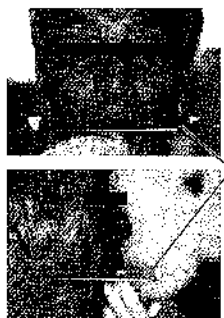
行っているのはどれか。1つ選べ。

- a 仮想咬合平面の設定
- b 垂直的顎間関係の記録
- c 水平的顎間関係の記録
- d フェイスボウトランスファー

別冊 午前 No.12 写真

選択肢考察

答え a



咬合平面設定板

- a 仮想咬合平面の設定は写真の咬合平面設定板やホットプレートなどを用いて行う。
- × b 垂直的顎間関係の記録はデンタルノギスなどを用いて行う。
- × c 水平的顎間関係の記録はゴシックアーチトレーサーなどを用いて行う。
- × d フェイスボウトランスファーはフェイスボウ(顔弓)を用いて行う。

ポイント

<全部床義歯の仮想咬合平面の決定法>

- ①カンペル平面(鼻聴道線)と平行にする→咬合平面設定板を用いる。
- ②瞳孔間線と平行にする→咬合平面設定板を用いる。
- ③上唇下縁の1mm下に設定する。
- ④レトロモラーパッドの1/2の高さに設定する。
- ⑤舌背の高さに設定する。
- ⑥上下顎堤頂間の中点に設定する。

〔問題 47〕 模型と義歯の写真(別冊午前No.13)を別に示す。

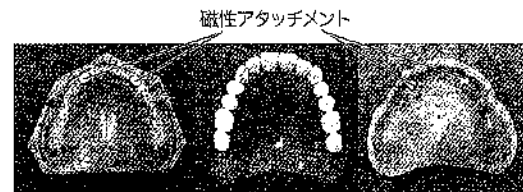
この義歯に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a クラスプ義歯
- b アタッチメント義歯
- c オーバーデンチャー
- d ノンメタルクラスプデンチャー

別冊 午前 No.13 写真

選択肢考察

答え b c



磁性アタッチメント義歯

- × a 写真からクラスプは認められない。
- b 支台歯を形成して設置される固定部と、義歯床に設置される可撤部の組み合わせにより、支台歯と義歯を連結する支台装置で構成された義歯である。写真は磁力を利用した磁性アタッチメントである。
- c オーバーデンチャーとは残存歯の上に装着される義歯をいう。残存歯に対しては根面板、根面アタッチメント、磁性アタッチメントが装着されることが多い。
- × d ノンメタルクラスプデンチャーとは、弾力性に富む高分子材料(ポリエステル系やナイロン系)を用いた義歯で、支台歯を義歯床裏で把持する設計になっている。

ポイント

<オーバーデンチャーの特徴>

- ・オーバーデンチャーとは残存歯の上に装着される義歯をいう。
- ・残存歯に対しては根面板や根面アタッチメントが装着されることが多い。
- ・歯槽骨が保存される(=顎堤吸収が防止できる)。
- ・歯根膜感覚を利用できる。
- ・ブランクコントロールは不良になりやすい。

〔問題 48〕 55歳の男性。レジン前装金属冠による下顎前歯部ブリッジを製作することになった。ブリッジ製作過程の口腔内写真(別冊午前No.14)を別に示す。

次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 試適
- b 鋳造
- c ろう付け
- d 前装レジン築盛

別冊 午前 No.14 写真

選択肢考察

答え c



パターンレジンによる固定を行っている

- × a 試適時に支台装置内面の適合を確認する。次に写真のようにパターンレジンにて支台装置間を固定する。
- × b メタルフレームが完成しているため、鋳造は終了している。
- c パターンレジンにて支台装置間を固定した後、切縁部のコア採得を行い、メタルフレームを口腔外へ取り出す。その後、ろう付け用模型を製作し、ろう付けを行う。
- × d 前装レジンの築盛、重合はろう付けが終了したら行う。

ポイント

<ブリッジのろう付け手順>

- ①支台装置の口腔内試適
- ②パターンレジンにて支台装置間を固定
- ③石膏にて咬合面コア(前歯部の場合は切縁部のコア)の採得
- ④ろう付け用埋没材に埋没
- ⑤ろう付け

〔問題 49〕 38歳の男性。咬合不全を主訴として来院した。2日前に運動中に転倒し下顎前歯部を強打したという。エックス線写真で下顎前歯部に骨折線を認める。

まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 咬合調整
- b スプリント療法
- c ゴム牽引による整復
- d 床副子による囲繞結紮

選択肢考察

答え c

- × a 咬合不全が主訴であるが、原因が骨折であるため、咬合調整ではなく、骨折に対する治療を行う。
- × b スプリント療法で骨片の整復は不可能である。
- c まず線副子を用いたゴムによる牽引整復を行い、固定を行う。
- × d 床副子による囲繞結紮は小児や老人の顎骨骨折の場合に行う。

ポイント

<骨折に対する処置>

整復と固定、感染予防が原則である。

〔問題 50〕 59歳の男性。閉口不能を主訴として来院した。今朝あくびをした後に閉口できなくなったという。初診時の顔貌写真(別冊午前No.15A)と口腔内写真(別冊午前No.15B)を別に示す。

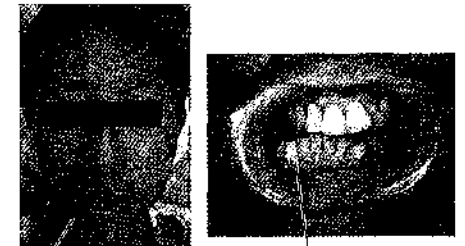
まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 嚥下訓練
- b 開口訓練
- c 顎間固定
- d 徒手整復

別冊 午前 No.15A,B 写真

選択肢考察

答え d



オトガイ部の右側偏位

下顎の右側偏位

- × a あくび後に閉口不能になり、顔貌および口腔内写真からオトガイ部の偏位がみられることから顎関節前方脱臼が疑われる。嚥下訓練は摂食・嚥下障害の治療法の1つである。
- × b 開口訓練は顎関節症と関節突起骨折の治療法の1つである。
- × c 顎間固定は顎骨骨折の治療法の1つである。
- d 顎関節前方脱臼が疑われるので、徒手整復を行う。Hippocrates法とBorchers法がある。

ポイント

<顎関節脱臼の治療法>

- ①下顎臼歯部に母指を置き、下顎をしっかりと把持して、下顎を前下方に押し下げて、やや後方に押す。
  - ・Hippocrates法：術者が患者の前に立つ
  - ・Borchers法：術者が患者の後ろに立つ
- ②臼歯部にバイトブロックを介在させオトガイ部を上方に押し上げる。

〔問題 51〕 60歳の男性。左側舌縁の異常を主訴として来院した。舌側縁部に腫瘍が認められ、3か月前から増大しているという。腫瘍周囲には硬結を触れた。初診時の口腔内写真(別冊午前No.16)を別に示す。

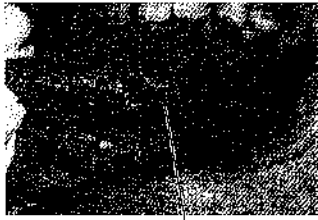
考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌癌
- b 舌痛症
- c 平滑舌
- d 地図状舌

別冊 午前 No.16 写真

選択肢考察

答え a



舌側縁部に腫瘤、増大している

- a 腫瘤周囲組織に硬結を触れ、急速に発育している点から舌癌と考えられる。
- × b 舌痛症とは炎症や外傷などの病変がないにもかかわらず、ヒリヒリとした痛みを訴える原因不明の疾患である。
- × c 平滑舌は鉄欠乏性貧血のときにみられる。
- × d 地図状舌は舌背から舌側縁にかけて舌苔が欠落しているために地図模様に見える。アレルギー体質の子供にみられることが多く、好発年齢は1～3歳である。

ポイント

- <舌 癌>
- ①口腔癌の中で最も発生頻度が高い。
  - ②ほとんどは扁平上皮癌である。(→放射線治療が有効)
  - ③進行すれば、潰瘍を形成し、周囲に硬結を触知する。
  - ④頸部リンパ節に転移する。(転移を防ぐため、頸部郭清術を行う)
  - ⑤治療法としては、放射線治療、外科的手術、化学療法を併用する。

(問題 52) 上顎の伝達麻酔後に生じる偶発症はどれか。1つ選べ。

- a コプリック斑
- b ベリルのサイン
- c キューンの貧血帯
- d パトリックの発痛帯

選択肢考察

答え c

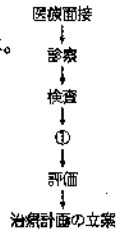
- × a コプリック斑とは、麻疹ウイルスに感染した場合に前駆症状として現れる頬粘膜の斑点である。
- × b ベリルのサインとは、眠気があり、中程度の眼瞼下垂がみられる状態のことで、静脈内鎮静法の至適鎮静状態の判定に用いられる。
- c キューンの貧血帯とは、上顎の伝達麻酔後にみられる不定形の境界明瞭な貧血帯である。
- × d パトリックの発痛帯は三叉神経痛でみられる。口角、鼻唇溝、鼻翼、口唇、歯肉にみられる痛みを誘発する部位のことである。

ポイント

- <キューンの貧血帯>
- ・上顎の伝達麻酔後にみられる不定形の境界明瞭な貧血帯である。
  - ・30～60分で消失する。
  - ・皮下出血がみられる場合は1～2週間で消失する。
  - ・血管の痙攣や血管収縮薬の影響と考えられる。

(問題 53) 矯正歯科の診断過程を図に示す。

- ①の過程で行われるのはどれか。1つ選べ。
- a 成長予測
- b 口腔内写真撮影
- c 歯科的既往歴の聴取
- d 頭部エックス線規格写真分析



選択肢考察

答え d

- × a 成長予測は検査結果の分析をもとに評価するものである。
- × b 口腔内写真撮影は検査の過程で行われる。
- × c 歯科的既往歴は医療面接で聴取する。
- d ①の過程は分析である。頭部エックス線規格写真分析は頭部エックス線規格写真撮影で得られた写真(結果)をもとに行う分析である。

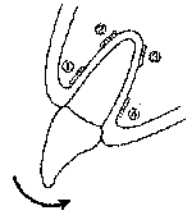
ポイント

- <矯正歯科治療を行う際の分析>
- ・成長分析
  - ・機能分析
  - ・模型分析
  - ・頭部エックス線規格写真分析

(問題 54) 矯正力による歯の傾斜移動を図に示す。

矢印で示す歯の移動で歯槽骨吸収が生じる部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え b d

- × a, × c 傾斜移動の図をみると、舌側傾斜移動であることがわかる。舌側傾斜移動では、図の①と③が牽引側となり、歯槽骨添加が生じる。
- b, ○ d 舌側傾斜移動では、②と④は圧迫側となる。歯槽骨吸収が生じるのは圧迫側であるため、②と④が正しい。

ポイント

- <歯の移動時の骨吸収と骨添加>
- ・骨吸収：歯根膜の圧迫側で生じる
  - ・骨添加：歯根膜の牽引側で生じる

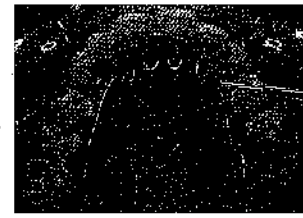
(問題 55) 矯正装置の写真(別冊午前No.17)を別に示す。この装置の使用で期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 習癖の改善
- b 歯列弓の側方拡大
- c 上顎前歯の舌側傾斜
- d 上顎大白歯の遠心移動

別冊 午前 No.17 写真

選択肢考察

答え a c



タングクリブ

- a タングクリブは舌突出癖などの習癖の改善が期待できる。
- × b 歯列弓の側方拡大は拡大床などで行う。
- c 舌突出癖などを排除することによって、上顎前歯の舌側傾斜が期待できる。
- × d タングクリブに上顎大白歯の遠心移動の目的はない。

ポイント

- <タングクリブ>
- 舌突出癖や母指吸引癖などの口腔習癖除去装置である。

(問題 56) 母体の細菌感染が原因で生じるのはどれか。2つ選べ。

- a 斑状歯
- b ターナー歯
- c フルニエ歯
- d ハッチンソン歯

選択肢考察

答え c d

- × a 斑状歯はフッ化物の過剰摂取で生じる。
- × b ターナー歯は先行乳歯の根尖性歯周炎が原因で生じる。
- c, ○ d フルニエ歯やハッチンソン歯は、梅毒に感染した母体から母子感染して先天性梅毒となることで生じる。

ポイント

- <晩発性先天性梅毒>
- 前歯切縁の半月状欠損(ハッチンソン歯)、実質性角膜炎、内耳性難聴がみられる。これを Hutchinson の 3 徴候という。なお、白歯にはフルニエ歯(ムーン歯)がみられる。

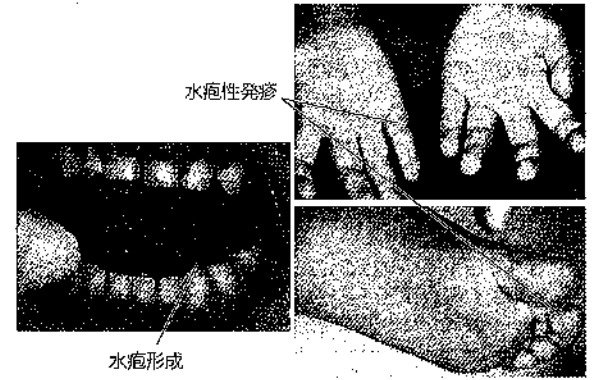
(問題 57) 5歳の女兒。舌の疼痛を主訴として来院した。数日前から発熱、食欲不振があるという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.18A)と手足の写真(別冊午前No.18B)を別に示す。

- 原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。
- a 麻疹ウイルス
  - b エンテロウイルス
  - c ムンプスウイルス
  - d 単純ヘルペスウイルス

別冊 午前 No.18A,B 写真

選択肢考察

答え b



水疱性発疹

水疱形成

- × a 麻疹ウイルスの感染で麻疹が生じる。麻疹では頬粘膜に Koplik 斑が生じる。
- b 舌に水疱が形成されており、手掌や足底にも発疹がみられることからエンテロウイルス感染症である手足口病と考えられる。
- × c ムンプスウイルスの感染で流行性耳下腺炎が生じる。耳下腺などの腫脹がみられる。
- × d 単純ヘルペスウイルスでは口唇や舌、歯肉などに多数の小水疱を形成する。

ポイント

- <手足口病>
- ・エンテロウイルス感染症であり、コクサッキーウイルス A 型やエンテロ 71 型ウイルスなどが原因である。
  - ・手掌や足底、口腔粘膜に水疱性発疹ができる。

(問題 58) 6か月の乳児。上顎歯肉の腫瘍を保護者が気にして来院した。出生時には気付かなかったが、最近になって気付いたという。口腔内写真(別冊午前No.19)を別に示す。

- 保護者への説明で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a ウイルスの感染が原因ですね。
  - b 歯ブラシに慣らせていきましょう。
  - c 生えてきた乳歯がみえている状態です。
  - d 数か月以内に自然に消えるので様子をみましょう。

別冊 午前 No.19 写真

選択肢考察

答え d



上皮真珠

- × a 上皮真珠の原因はウイルス感染ではない。
- × b 歯ブラシに慣らせていくのは歯の萌出後である。
- × c 形態や数から上皮真珠である。乳歯であるとは考えられない。
- d 上皮真珠は数か月以内に自然に消えるので、様子をみましょう、という説明は適切である。

ポイント

- <上皮真珠>
- ・ 歯の形成に関する歯垢が吸収されず角化したものである。
  - ・ 自然に消失するため、経過観察を行う。

〔問題 59〕 フレイルの予防策はどれか。2つ選べ。

- a 独居で生活する。
- b 毎日歯磨きを行う。
- c よく噛んで食べる。
- d タンパク質の摂取を制限する。

選択肢考察

答え bc

- × a 独居での生活はわずかな健康被害で要介護になるケースが多いため、できる限り避けるべきである。
- b 毎日歯を磨くことで誤嚥性肺炎が予防でき、また食欲増進や嚥下機能の強化につながるため、フレイルの予防策となる。
- c よく噛んで食べることで咀嚼筋の筋力増強につながるため、フレイルの予防策となる。
- × d 筋力を増強させるためにはタンパク質が必須のため、タンパク質の摂取を制限すべきではない。

ポイント

<フレイルの予防策>

筋肉量減少→筋力低下→歩行速度の低下→活動量の低下→要介護とならないようにフレイルの予防策が重要となる。

〔問題 60〕 患者の服薬アドヒアランスを向上させるのはどれか。1つ選べ。

- a 和漢薬を利用する。
- b 処方日数を長くする。
- c 一包装調剤を指示する。
- d ジェネリック医薬品へ変更する。

選択肢考察

答え c

- × a 和漢薬を利用してもアドヒアランスが向上するわけではない。
- × b 処方日数を長くするとアドヒアランスは低下する。
- c 一包装調剤を指示することでアドヒアランスは向上する。
- × d ジェネリック医薬品へ変更してもアドヒアランスが向上するわけではない。

ポイント

<コンプライアンスとアドヒアランス>

コンプライアンスは服薬順守、アドヒアランスは積極的に治療に参加することである。

〔問題 61〕 ユニバーサルデザインの発想に基づくのはどれか。2つ選べ。

- a 地下歩道の整備
- b 出入口の自動ドア
- c オストメイト対応トイレ
- d プラットホームの点字ブロック

選択肢考察

答え bc

- × a 地下歩道を整備しても車椅子利用者は利用しにくい

- ため、ユニバーサルデザインの発想には基づかない。
- b 出入口を自動ドアにすることで、だれでも使えるため、ユニバーサルデザインの発想に基づく。
- c オストメイト対応トイレはだれでも使えるため、ユニバーサルデザインの発想に基づく。
- × d プラットホームの点字ブロックは点字が理解できないと利用することができないため、ユニバーサルデザインの発想には基づかない。

ポイント

<バリアフリーとユニバーサルデザイン>

バリアフリーは障壁を取り除くことで、ユニバーサルデザインは初めからだれでも使えるデザインにすることである。

〔問題 62〕 自閉スペクトラム症の患児への対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a PECS を活用する。
- b 言葉での説明を多用する。
- c スケジュールを構造化する。
- d TEACCH 法で会話能力を向上させる。

選択肢考察

答え ac

- a PECS (Picture Exchange Communication System) は、絵カードを介して相手が指示するだけでなく、自分の意思を伝える双方向のコミュニケーションをとることができる方法である。
- × b 言語での理解が難しいため、絵カードや写真などを用いて具体的に説明する。
- c 予定されている活動のスケジュールを明瞭にすることが好ましい。
- × d 自閉スペクトラム症に対して TEACCH 法は有効であるが、TEACCH 法で会話能力は向上しない。

ポイント

<PECS (Picture Exchange Communication System) > 絵カードを介して相手が指示するだけでなく、自分の意思を伝える双方向のコミュニケーションをとることができる方法である。

〔問題 63〕 48歳の女性。下顎前歯部のブラッシング時疼痛を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

- 観察できるのはどれか。2つ選べ。
- a クレフト
  - b フェストウーン
  - c テンションリッジ
  - d アタッチメントロス

別冊 午前 No.20 写真

選択肢考察

答え ad



クレフト

- a 下顎左側前歯部にクレフトがみられる。
- × b フェストウーンは辺縁歯肉のローレル状肥厚である。
- × c テンションリッジは上顎口蓋側にみられる堤状の隆起である。
- d 歯根面が露出しており、アタッチメントロスが観察できる。

ポイント

<アタッチメントロス>

- ・ 付着の喪失ともいう。
- ・ 歯周炎になるとみられる。また、歯肉退縮している場合もアタッチメントロスが生じている。

〔問題 64〕 ペリクルの主な成分はどれか。1つ選べ。

- a 細菌
- b 白血球
- c スクロース
- d 糖タンパク

選択肢考察

答え d

- × a ペリクルに細菌は関与しない。
- × b 白血球はマテリアアルバなどに含まれる。ペリクルの主な成分ではない。
- × c スクロースを基質としてプラークが形成される。ペリクルの主な成分ではない。
- d ペリクルは唾液由来の糖タンパクが歯面に付着して形成される。

ポイント

<ペリクル>

- ・ 獲得被膜ともいう。
- ・ 歯面を物理的に保護しており、脱灰抑制・再石灰化促進作用に有効と考えられている。しかし、ペリクル表面に細菌が付着しやすいため、プラーク形成の起点となっている。

〔問題 65〕 歯周病の検査でGlickmanの分類に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ピンセット
- b CPI プローブ
- c エックス線画像
- d ファークーションプローブ

選択肢考察

答え cd

- × a ピンセットは歯周病の検査の一つである歯の動揺度検査に用いる。
- × b CPI プローブは集団を対象とした歯周組織の検査に用いる。
- c Glickman の分類にはエックス線画像を用いる。
- d ファークーションプローブは根分岐部病変の水平的検査に用いるもので、Glickman の分類に用いる。

ポイント

<根分岐部病変の分類>

- ・ Lindhe&Nyman の水平的分類 1~3度。ファークーションプローブを用いる。
- ・ Glickman の分類 1~4級。ファークーションプローブとエックス線画像を用いる。

〔問題 66〕 25歳の女性。歯垢染め出し後の口腔内写真(別冊午前No.21)を別に示す。

- PHPで評価したときの下顎前歯のスコアはどれか。1つ選べ。
- a 2
  - b 3
  - c 4
  - d 5

別冊 午前 No.21 写真

選択肢考察

答え b



上の歯頸部にプラークが付着している

- × a、○ b、× c、× d PHPは歯面を5分割してプラークの付着状況を評価するものである。下顎前歯は上の唇側を評価する。写真を見ると、下顎前歯のスコアは3である。

ポイント

<口腔清掃状態の指数>

- ・ OHI
- ・ OHI-S
- ・ PCR
- ・ PHP
- ・ PDI

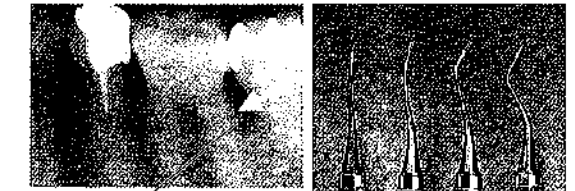
〔問題 67〕 39歳の男性。下顎左側白歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を行うことになった。エックス線画像(別冊午前No.22A)とスケーラーの写真(別冊午前No.22B)を別に示す。

- 矢印で示す歯面のスケーリングルートプレーニングに適したスケーラーはどれか。1つ選べ。
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.22A,B 写真

選択肢考察

答え c



矢印で示された歯面は下顎左側第一大臼歯遠心面

① #5/6 ② #11/12 ③ #13/14 ④ #7/8

- × a、× b、○ c、× d エックス線画像をみると、矢印の部位は下顎左側第一大臼歯の遠心面であることがわかる。白歯遠心面に適しているグレーシーキュレットは#13/14である。したがって、③が適している。

ポイント
<白歯部に用いるグレーシーキュレット>

Table with 2 columns: 近心面, 頬舌側面, 遠心面 and 1 column: #11/12, #7/B, #9/10, #13/14

(問題 68) 初診時と歯周基本治療後の再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

Two tables showing periodontal examination results for patient #1112 and #1314, including sites like Al (mm), PPD (mm), and AL (mm).

歯周基本治療により付着の獲得が生じたのはどれか。

- 2つ選べ。
a 上顎左側中切歯唇側中央部
b 上顎左側中切歯口蓋側遠心部
c 上顎左側側切歯唇側近心部
d 上顎左側中切歯口蓋側中央部

選択肢考察 答え a c

○a、×b、○c、×d 付着の獲得が生じるとアタッチメントレベルが減少する。歯周基本治療によってアタッチメントレベルの減少が認められたのは、上顎左側中切歯唇側中央部と上顎左側側切歯唇側近心部であり、上顎左側中切歯口蓋側遠心部と上顎左側中切歯口蓋側中央部はアタッチメントレベルに変化はみられない。したがって、付着の獲得が生じたのはaとcである。

ポイント
<付着の獲得>

付着の獲得はアタッチメントゲインともいい、結合組織性付着の獲得や上皮性付着量の増加によって生じる。歯周基本治療では結合組織性付着の獲得は得られず、上皮性付着量の増加が生じる。

(問題 69) グレーシータイプキュレットのシャープニングで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a スラッジが出たら下げて終わる。
b 術中はインディアストーンを用いる。
c 砥石は5cm程度の幅で上下運動させる。
d 刃部はヒールからトゥに向かってまっすぐ研ぐ。

選択肢考察 答え a d

○a シャープニングではスラッジが出たら下げて終わる。×b 術中は潤滑油不要のセラミックストーンを用いる。×c 砥石は2cm程度の幅で上下運動させる。○d グレーシータイプキュレットの刃部のシャープニングはヒールからトゥに向かってまっすぐ研ぐ。

ポイント
<砥石の種類>

- ・インディアストーン：形態修正に用いる。潤滑油が必要である。
・アーカンスストーン：粒子が細かく日常のシャープニングに用いる。潤滑油が必要である。
・セラミックストーン：粒子が極めて細かく日常のシャ

ープニングに用いる。潤滑剤は水または不要である。

(問題 70) 45歳の女性。水平位でスケールリング中に気分が悪いと訴えた。顔面蒼白となり、血圧は70/40mmHg、呼吸数に異常は認められない。呼びかけには応答する。まず行う対応はどれか。1つ選べ。

- a 胸骨圧迫
b AEDの装着
c 両下肢の挙上
d アドレナリン投与

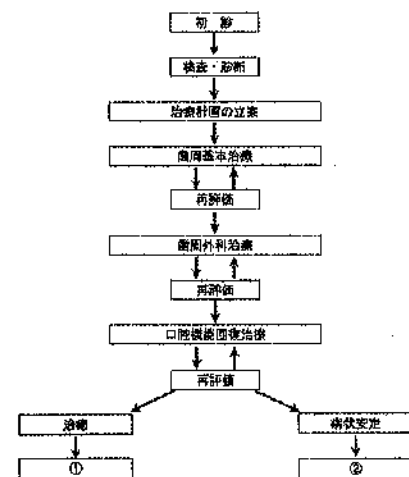
選択肢考察 答え c

×a、×b AEDの装着や胸骨圧迫は救急蘇生法であり、意識がなく普段通りの呼吸をしていない場合に行う。○c 顔面蒼白で血圧が低下しているため、血管迷走神経反射と考えられる。両下肢の挙上を行うとよい。×d アドレナリン投与はアナフィラキシーショック時の対応である。

ポイント

- <血管迷走神経反射(脳貧血)>
・痛み刺激やストレスなどが原因となる。
・血圧や脈拍が低下する。
・意識が消失することもある。

(問題 71) 歯周治療の流れを図に示す。



②で行われるのはどれか。2つ選べ。

- a PTC
b 咬合調整
c フラップ手術
d インプラント治療

選択肢考察 答え a b

○a、○b ②はSPTである。SPTで行われるのは、PTCや咬合調整などである。×c フラップ手術は歯周外科治療で行われる。×d インプラント治療は口腔機能回復治療で行われる。

ポイント
<SPT>

歯周治療によって病状安定となった歯周組織を維持するための治療である。

病状安定とは、歯周組織のほとんどの部分は健康を回復したが、一部分に病変の進行が休止しているとみなされる4mm以上の歯周ポケット、根分岐部病変、歯の動揺などが認められる状態である。

(問題 72) 歯周治療が影響を及ぼす可能性が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 肝炎
b 貧血
c 糖尿病
d 誤嚥性肺炎

選択肢考察 答え c d

×a 歯周治療が肝炎に影響を及ぼすとは考えにくい。×b 歯周治療が貧血に影響を及ぼすとは考えにくい。○c 歯周治療により糖尿病の病態が改善することが報告されている。○d 歯周治療や口腔ケアによる口腔内細菌の減少は、誤嚥性肺炎の発症率を低下させる。

ポイント

<ペリオドンタルメディスン>

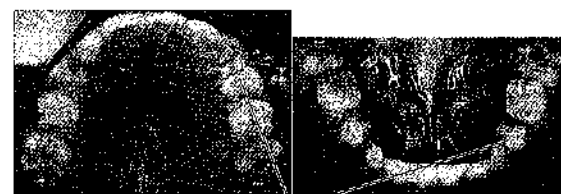
歯周病が全身疾患に及ぼす影響について研究する学問をペリオドンタルメディスンという。ペリオドンタルメディスンに関わるものとして、糖尿病や誤嚥性肺炎、血管障害、早産・低体重児出産、骨粗鬆症、肥満、関節リウマチなどが挙げられる。

(問題 73) 11歳の女兒。う蝕予防処置を希望して保護者と来院した。歯科医師からフッ化物歯面塗布を行うよう指示を受けた。口腔内写真(別冊午前No.23)を別に示す。歯面塗布が効果的なのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎右側中切歯
b 上顎左側第一小臼歯
c 下顎右側第二乳臼歯
d 下顎左側第一大臼歯

別冊 午前 No.23 写真

選択肢考察 答え b



上下顎の第一小臼歯が萌出している

×a、○b、×c、×d フッ化物歯面塗布は萌出直後から行うのが効果的である。写真を見ると第一小臼歯が交換中であり、歯面塗布が効果的なのは上顎左側第一小臼歯と考えられる。上顎右側中切歯や下顎右側第二乳臼歯、下顎左側第一大臼歯は歯面塗布が効果的とはいえない。

ポイント

<フッ化物歯面塗布>

萌出まもない歯は反応性が高く、フッ化物の取り込み量が多い。そのため、歯が萌出したら塗布を行い、また、効果を持続させるため繰り返し塗布するのがよい。

(問題 74) 小窩裂溝充填法の酸処理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合面全体を処理する。
b 処理時間は3分間である。
c 処理後は水洗・乾燥させる。
d 30~50%の正リン酸を用いる。

選択肢考察 答え c d

×a 咬合面全体ではなく、小窩裂溝部を過不足なく処理する。×b 処理時間は30~60秒程度である。○c 酸処理後は水洗・乾燥させてから充填材を用いる。○d 酸処理には、30~50%の正リン酸を用いる。

ポイント

<レジン系充填材を用いた小窩裂溝充填法>

- ・充填材の保持力向上のため、ラバーダム防湿および酸処理が重要である。
・酸処理によってエナメル質に形成された凹凸にレジンタグが形成される。なお、近年ではリン酸を用いた酸処理ではなく、セルフエッチングプライマーを採用した商品も登場している。

(問題 75) フッ化物歯面塗布法とフッ化物配合歯磨剤の両方に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a APF
b NaF
c SnF2
d Na2PO3F

選択肢考察 答え b c

×a APFはリン酸酸性フッ化ナトリウムである。フッ化物歯面塗布法には用いられるが、フッ化物配合歯磨剤には用いられない。○b NaFはフッ化ナトリウムである。フッ化物歯面塗布法とフッ化物配合歯磨剤の両方に用いられる。○c SnF2はフッ化第一スズである。フッ化物歯面塗布法とフッ化物配合歯磨剤の両方に用いられる。×d Na2PO3Fはモノフルオロリン酸ナトリウムである。フッ化物配合歯磨剤には用いられるが、フッ化物歯面塗布法には用いられない。

ポイント

<フッ化物局所応用に用いるフッ化物>

- ・フッ化物洗口法 : NaF
・フッ化物歯面塗布法: APF、NaF、SnF2
・フッ化物配合歯磨剤: NaF、SnF2、Na2PO3F

次の文を読み、(問題 76)、(問題 77) に答えよ。小学校の児童を対象にフッ化物洗口 (週5日法) を実施することになった。

(問題 76) 使用するフッ化物イオン濃度はどれか。1つ選べ。

- a 45ppmF
- b 225ppmF
- c 900ppmF
- d 9,000ppmF

選択肢考察 答え b

× a、○ b、× c、× d 集団での週5回法なので、フッ化物イオン濃度は225ppmFである。

(問題 77) 薬剤の取扱いで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 洗口液はガラス製容器で調製する。
- b 洗口液を排水口に流さないようにする。
- c 薬剤管理は歯科医師の指導のもと行う。
- d 新鮮な水道水を使用して調製してもよい。

選択肢考察 答え c d

- × a フッ化物はガラス製品を侵蝕しやすいため、ガラス製容器は使用しない。
- × b 使用した洗口液は排水口に流してよい。
- c 薬剤管理は歯科医師の指導のもと、歯科医師あるいは薬剤師が薬剤の処方、調剤、計量を行う。
- d 新鮮な水道水を使用して調製するのは問題がない。ミネラルウォーターは硬度の高いものもあるので使用を避ける。

ポイント

<洗口に用いるフッ化物とフッ化物イオン濃度>

毎日 (週5回) 法	0.05~0.1%フッ化ナトリウム (225~450ppmF)
週1回法	0.2%フッ化ナトリウム (900ppmF)

(問題 78) 矯正治療の過程でSOAPに準拠して診療記録を作成する場合、「O」が得られるのはどれか。1つ選べ。

- a 検査
- b 診断
- c 動的治療
- d 治療計画策定

選択肢考察 答え a

- a 「O」は診察や検査から得られる客観的情報である。
- × b 診断や治療の評価は「A」に該当する。
- × c 動的治療は実際に行った矯正治療のため「P」に該当する。
- × d 治療計画策定は「P」に該当する。

ポイント

< SOAP >

- ・ S (Subjective data) : 主観的情報
- ・ O (Objective data) : 客観的情報
- ・ A (Assessment) : 評価、判断
- ・ P (Plan) : 計画 (実施内容)

(問題 79) ヘルスプロモーションの取組みはどれか。2つ選べ。

- a 地域活動の強化
- b 医療保険制度の導入
- c 救急医療機関への搬送体制の整備
- d 問題解決のための個人技術の開発

選択肢考察 答え a d

○ a、○ d ヘルスプロモーションの目標実現のための5つの取組みは、健康な公共政策づくり、健康を支援する環境づくり、地域活動の強化、個人技術の開発、ヘルスサービスの方向転換である。問題解決のための個人技術の開発はヘルスプロモーションの取組みの1つである。

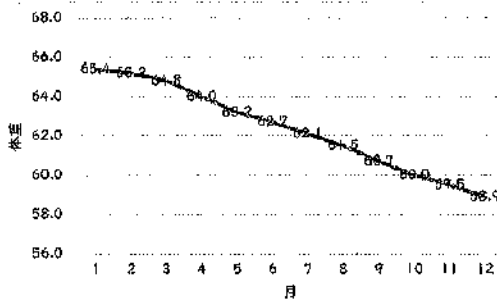
× b、× c これらの活動はヘルスプロモーションの取組みではない。

ポイント

<ヘルスプロモーション活動を成功させるための5つのプロセス>

- ・ 唱道 (advocate)
- ・ 投資 (invest)
- ・ 能力形成 (build capacity)
- ・ 規制と法制定 (regulate and legislate)
- ・ パートナーと同盟 (partner and Build alliance)

(問題 80) 82歳の男性。食事がうまく摂れないと相談を受け、特別養護老人ホームに訪問した。1年前に脳梗塞を発症し、食事摂取量が著しく減少しているという。ミールラウンドでは食事中に疲れて食事ペースが落ち、しばしば食事を中断していた。咀嚼機能に問題はみられない。過去1年間の体重変化を図に示す。



適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経鼻経管栄養を勧める。
- b 間食で必要栄養量を補う。
- c ところみ調整食品を使用する。
- d 1回の食事時間を長くする。

選択肢考察 答え b

- × a 咀嚼機能に問題はみられないため、経鼻経管栄養を勧める必要はない。
- b 食事中に疲れて食事ペースが落ちているため、食事時間を短くし、食事回数を増やすことで対応する。そのときに間食で必要栄養量を補う。
- × c 咀嚼機能に問題はみられないため、ところみ調整食品を使用する必要はない。
- × d 食事中に疲れて食事ペースが落ちているため、1回

の食事時間を長くするのではなく、食事回数を増やすことを考慮する。

ポイント

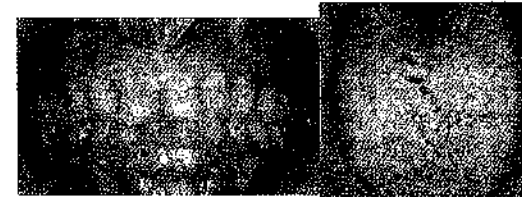
<食事により疲労しやすいとき>  
長時間かけてゆっくり食べさせるのではなく、食事の回数を増やす。そのときに間食や栄養補助食品を利用する。

(問題 81) 60歳の女性。家族に口臭を指摘されて来院した。本人は自覚していないという。官能検査の結果、中等度の口臭が認められ、ポータブルガスクロマトグラフィー検査で、揮発性硫黄化合物が高値を示した。プロービングデプスは全て3mm以下で、O'LearyのPCRは15%であった。初診時の口腔内写真 (別冊午前No.24) を別に示す。適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 抗真菌薬の処方
- b 舌ブラシ使用の推奨
- c 塩化亜鉛配合洗口剤使用の推奨
- d スケーリング・ルートプレーニング

別冊 午前 No.24 写真

選択肢考察 答え b c



歯周疾患はみられない 舌苔の付着がみられる

- × a カンジダ菌が原因であれば抗真菌薬の投与を行うが、その前に舌の清掃を行うべきである。
- b 口腔内写真から舌苔の付着がみられるため、舌ブラシの使用を推奨する。
- c 塩化亜鉛配合洗口剤を使用することで口臭を予防することができる。
- × d スケーリング・ルートプレーニングを行っても舌苔の付着は改善できない。

ポイント

<塩化亜鉛>  
揮発性硫黄化合物 (VSC) が揮発することを抑制することで口臭を予防する。

(問題 82) 水平位診療で試適中の金属冠が口腔内で落下し、誤飲した。頸胸部エックス線単純写真で食道入口部に停滞しているのを確認した。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 内視鏡下摘出
- b 排泄物の確認
- c 胸部MRI撮影
- d 胸腹部単純エックス線写真撮影

選択肢考察 答え a

- a 誤飲した金属冠が食道入口部に停滞しているときは取り除くべきであり、内視鏡下で摘出をする。
- × b、× d 誤飲した金属冠が食道入口部を越え胃に入っ

たときは、胸腹部単純エックス線写真撮影で位置を確認し、患者に排泄物の確認を依頼する。  
× c 金属冠の誤飲で胸腹部 MRI 撮影は行わない。

ポイント

<誤飲した (食道・胃にあるとき) >  
・ 自然に排泄されることが多いため、経時的にエックス線撮影を行う。  
・ 排泄物を調べて排出されたことを確認する。  
<誤嚥した (気管・気管支にあるとき) >  
・ 頭低位とし咳をさせ、喀出を試みる。  
・ 喀出できないときは気管支ファイバースコープを用いて摘出する。

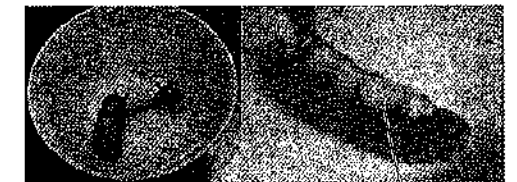
(問題 83) 75歳の男性。食事がうまく摂れないと家族から相談を受け訪問した。Alzheimer型認知症であり、完全介助である。食事中によくむせるという。患者が食事中の訪問時に見つけた義歯の写真 (別冊午前No.25) を別に示す。

現時点での家族に対する指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 胃瘻の造設を勧める。
- b 一口量の調節をする。
- c 食事時は頸部を前突させる。
- d 食事の際に義歯を使用させる。

別冊 午前 No.25 写真

選択肢考察 答え b d



水中に義歯が保管されている 歯石の沈着

- × a 患者は経口摂取可能と考えられるため、家族に胃瘻の造設を勧める必要はない。
- b 患者は食事中によくむせることから誤嚥が疑われる。Alzheimer型認知症で完全介助の状態のため、誤嚥予防として一口量の調節が必要である。
- × c 患者は食事中によくむせることから誤嚥が疑われるため、誤嚥予防として食事時は頸部を前屈させる。頸部を前突させると誤嚥しやすくなる。
- d 患者が食事中の訪問時に見つけた義歯の写真から水中に義歯が保管されているため、食事中に義歯を使用していないことがわかる。家族に食事中に義歯を使用させるように指導する必要がある。

ポイント

<口腔ケア>  
口腔ケアでは、口腔機能の維持を目的としたマッサージやストレッチの要素を加え、口腔衛生状態を良好にすることと同時に口腔内の異常を速やかに発見し、歯科治療の必要性を見極め、毎回の食事が快適なものになるように心がけることが重要である。

**(問題 84)** 口腔癌で緩和治療中の患者に口腔ケアを行うこととなった。患者の意識状態は、Japan Coma Scale III-200である。口腔ケアを行うにあたり、患者に負担のない姿勢はどれか。2つ選べ。

- a 座位
- b 仰臥位
- c 側臥位
- d セミファーラー位

**選択肢考察** **答え b d**

- × a Japan Coma Scale III-200は刺激をしても覚醒しないため、座位は困難と考えられる。
- b 刺激をしても覚醒しないため、仰臥位が最も患者に負担のない姿勢と考えられる。
- × c 刺激をしても覚醒しないため、側臥位は困難と考えられる。
- d セミファーラー位はベッドを頭側挙上30度にした座位姿勢であり、起き上がりベッドなどを利用することで、患者は負担なく姿勢を保つことが可能である。

**ポイント**

<意識のない患者の口腔ケア>  
患者に負担のない姿勢をとらせることが重要である。寝たきりの患者の口腔ケアでは仰臥位が最も患者に負担のない姿勢と考えられるが、誤嚥しやすいため注意が必要である。

**(問題 85)** 52歳の男性。歯周病の治療を希望して来院した。問診の結果、喫煙者であり1か月以内に禁煙を行うと考えているという。

禁煙ステージとしてこの期の指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 禁煙開始日の設定を促す。
- b 禁煙への動機づけを強化する。
- c 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言する。
- d 喫煙の利益と不利益とははかりにかけのを手伝う。

**選択肢考察** **答え a b**

- a 禁煙開始日の設定を促すのは準備期の指導である。
- b 禁煙への動機づけを強化するのは関心期や準備期の指導である。
- × c 喫煙欲求のコントロールの仕方について助言するのは実行期の指導である。
- × d 喫煙の利益と不利益とははかりにかけのを手伝うのは関心期の指導である。

**ポイント**

<行動変容のステージ>  
・無関心期：6か月以内に行動を変えようと思っていない  
・関心期：6か月以内に行動を変えようと思っている  
・準備期：1か月以内に行動を変えようと思っている  
・実行期：行動を変えて6か月未満である  
・維持期：行動を変えて6か月以上である

**(問題 86)** 食品表示法の基本理念はどれか。2つ選べ。

- a 食料自給率の向上
- b 消費者の利益の増進
- c 食品の流通の円滑化
- d 伝統的食文化の推進

**選択肢考察** **答え b c**

- × a、× d 食料自給率の向上や伝統的食文化の推進は食育基本法の基本理念である。
- b、○ c 消費者の利益の増進や食品の流通の円滑化は食品表示法の基本理念である。

**ポイント**

<食品表示法の概要>  
・整合性の取れた表示基準の制定  
・消費者、事業者双方にとって分かりやすい表示  
・消費者の日々の栄養・食生活管理による健康増進に寄与  
・効果的・効率的な法執行

**(問題 87)** 食事バランスガイドの副菜に分類されるのはどれか。1つ選べ。

- a 納豆
- b ごはん
- c 鶏肉のから揚げ
- d 具たくさん味噌汁

**選択肢考察** **答え d**

- × a、× c 納豆や鶏肉のから揚げは主菜に分類される。
- × b ごはんは主食に分類される。
- d 具たくさん味噌汁は副菜に分類される。

**ポイント**

<食事バランスガイド>  
・主食：ごはん、パン、麺  
・副菜：野菜、きのこ、いも、海藻料理  
・主菜：肉、魚、卵、大豆料理  
・牛乳・乳製品  
・果物

**(問題 88)** 機能的自立度評価表〈FIM〉で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 7段階評価である。
- b レベル1は自立である。
- c できるADLを評価する。
- d 認知ADLの把握ができる。

**選択肢考察** **答え a d**

- a FIMは7段階評価である。
- × b FIMのレベル1は全介助である。
- × c FIMは行っているADLを評価する。できるADLを評価するのはパーセルインデックス〈BI〉である。
- d FIMは認知ADLの把握ができる。

**ポイント**

<Functional Independence Measure (FIM：機能的自立度評価表)>  
・実際に「している」ADLを記録することで、介助量の測定が可能である。

- ・運動ADL13項目と認知ADL5項目から構成されており、各項目は7段階評価で126点満点の尺度である。
- ・1点が介護時間1.6分に相当し、110点で介護時間0分となる。
- ・認知ADLの把握ができる。

**(問題 89)** 75歳の男性。高齢者歯科健診を受診した。1日1食しか食べないことが多く、3か月前と比較して体重が3kg減少したという。要介護認定を受けておらず、独居で生活している。

健診後の保健指導において患者に推奨すべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所での相談
- b 特別養護老人ホームへの入所
- c 地域活動支援センターでの相談
- d 地域包括支援センターでの相談

**選択肢考察** **答え d**

- × a 保健所は「地域保健法」に規定された、地域住民の健康の保持および増進のための、地域保健の広域的、専門的、技術的拠点である。
- × b 特別養護老人ホームへ入所できるのは要介護3以上の者であり、要介護認定を受けていない者は入所できない。
- × c 地域活動支援センターは「障害者総合支援法」に規定された、地域で生活している身体障害者や精神障害者、知的障害者などが利用できる通所施設である。
- d 地域包括支援センターは「介護保険法」に規定された、総合相談支援業務や権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を行う施設である。1日1食しか食べておらず、3か月で体重が3kg減少しているため、栄養障害の疑いがある。要介護認定を受けておらず、独居で生活しているため、地域包括支援センターでの相談を推奨すべきである。

**ポイント**

<地域包括支援センター>  
地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業などを地域において一体的に実施する役割を担う中核的機関として設置される。

**(問題 90)** 地域支援事業において高齢者の介護予防を目的とした集団栄養教育プログラムを1年間実施した。プログラムの効果を判定するための指標はどれか。1つ選べ。

- a 栄養指導の方法
- b 対象者の選定方法
- c 主観的健康観の変化
- d プログラムの参加者数

**選択肢考察** **答え c**

- × a 栄養指導の方法はプロセス評価の指標であり、結果評価の指標とはならない。
- × b 対象者の選定方法はプロセス評価の指標であり、結果評価の指標とはならない。
- c 主観的健康観の変化は結果〈アウトカム〉評価の指標であり、プログラムの効果を判定するための指標となる。

× d プログラムの参加者数はプログラム実施量〈アウトプット〉評価の指標であり、結果評価の指標とはならない。

**ポイント**

ストラクチャー〈構造〉	保健事業を実施するための仕組みや体制を評価するものである。
プロセス〈過程〉	事業の目的や目標の達成に向けた過程（手順）や活動状況を評価するものである。
アウトプット〈事業実施量〉	目的や目標の達成のために行われる事業の結果に対する評価である。
アウトカム〈結果〉	事業の目的や目標の達成度、成果の数値目標に対する評価である。

**(問題 91)** 視覚障害者の誘導方法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 誘導者の肘を握ってもらう。
- b 誘導者が患者の半歩後ろを歩く。
- c 杖を持った手を引いて誘導する。
- d 杖を持たない腕が90度になるようにする。

**選択肢考察** **答え a d**

- a、× b 誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、杖をもっていない手で誘導者の肘を握ってもらう。
- × c 杖を持った手を引いて誘導するとかえって危ない。反対側の手を引いて誘導する。
- d 患者の杖をもっていない腕が90度になるようにする。

**ポイント**

<視覚障害者の誘導方法>  
①常に声をかけるようにする。  
②誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、肘を握ってもらう。  
③患者の杖をもっていない腕が90度になるようにする。  
④患者の身長が高いときには、誘導者の肩に手を置いてもらう。  
⑤通路が狭いときは、誘導者は患者の1歩前方に位置し左腕を後ろに回し患者に狭い場所であることを伝える。

**(問題 92)** 歯科診療台〈ユニット〉に付属している器械の写真（別冊午前No.26）を別に示す。

- この器械で動作するのはどれか。2つ選べ。
- a バキューム
  - b エアスケーラー
  - c スリーウェイシリンジ
  - d マイクロモーターエンジン

別冊 午前 No.26 写真

**選択肢考察** **答え b d**



フットコントローラー

- × a バキュームはグリップをユニットからはずすと作動する。
- b、○ d エアタービン、エアスケーラー、マイクロモーターエンジンは写真のフットコントローラーを踏むと作動する。
- × c スリーウェイシリンジは空気 (A) と水 (W) のボタンを押して使用する。

**ポイント**

<歯科診療台・ユニットに付属しているもの>

- ①ライト
- ②ブラケットテーブル
- ③スリーウェイシリンジ
- ④エアタービンハンドピース
- ⑤マイクロモーターハンドピース
- ⑥コップ給水装置
- ⑦排唾器
- ⑧スピットン
- ⑨フットコントローラー
- ⑩給水バルブ
- ⑪排唾バルブ
- ⑫ヘッドレスト など

(問題 93) セメントスパチュラと練板の写真 (別冊午前 No.27) を別に示す。

これらを用いて練和するのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸亜鉛セメント
- b グラスアイオノマーセメント
- c 酸化亜鉛ユージノールセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

別冊 午前 No.27 写真

**選択肢考察**

答え b d



- × a リン酸亜鉛セメントはガラス練板とステンレススパチュラで練和する。
- b グラスアイオノマーセメントは紙練板とプラスチックスパチュラで練和する。
- × c 酸化亜鉛ユージノールセメントは紙練板とステンレススパチュラで練和する。
- d ポリカルボキシレートセメントは紙練板とプラスチックスパチュラで練和する。

**ポイント**

<各種セメントにおける練板とスパチュラの組合せ>

セメント	練板	スパチュラ
ガラスアイオノマーセメント	紙	プラスチック
リン酸亜鉛セメント	ガラス	ステンレス
ポリカルボキシレートセメント	紙	プラスチック
酸化亜鉛ユージノールセメント	紙	ステンレス

(問題 94) 下顎中切歯の隣接面う蝕にコンポジットレジン修復を行うことになった。ラバーダムクランプの写真 (別冊午前 No.28) を別に示す。

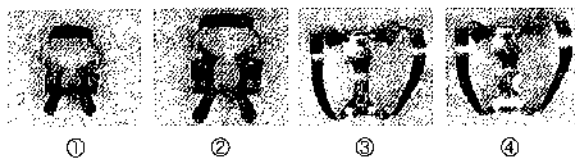
使用するのどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.28 写真

**選択肢考察**

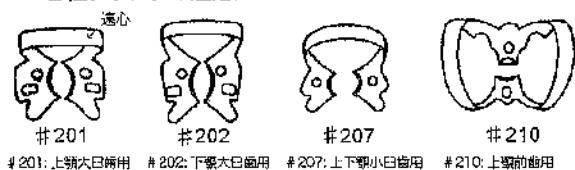
答え c



- × a ①は上下顎小臼歯部用のクランプである。
- × b ②は下顎大臼歯用のクランプである。
- c ③は下顎前歯用のクランプである。
- × d ④は上顎前歯用のクランプである。

**ポイント**

<各種クランプの選定>



#201: 上顎大臼歯用 #202: 下顎大臼歯用 #207: 上下顎小臼歯用 #210: 上顎前歯用

(問題 95) コンポジットレジン修復におけるシェードテイキングの留意点はどれか。2つ選べ。

- a 自然光下で行う。
- b 時間をかけて行う。
- c 患歯と隣在歯を濡らす。
- d ラバーダム装着下で行う。

**選択肢考察**

答え a c

- a 白色室内灯下ではなく、自然光下で行う。
- × b 目が周囲の歯の色に慣れる前に時間をかけずに手早く行う。
- c 乾燥状態ではなく、患歯と隣在歯を濡らした状態で行う。
- × d ラバーダム装着下で行うと、隣在歯とのシェード(色調)の比較ができない。

**ポイント**

<シェードテイキング(色調選定)>

シェードガイド(色調見本)を用いる。シェードガイドを濡らす。

(問題 96) 根管治療で用いる器材の写真 (別冊午前 No.29) を別に示す。

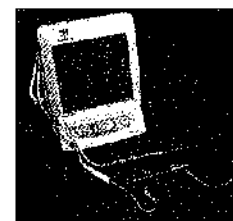
この器材の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 電気抵抗値を測定する。
- b 根管内 pH が測定できる。
- c 根管長が数字で表示される。
- d 金属冠装着歯には使用できない。

別冊 午前 No.29 写真

**選択肢考察**

答え a d



根管長測定器

- a 写真は根管長測定器である。ファイルを根管内に挿入し、電気抵抗値(インピーダンス)を測定することで根管長を求めます。
- × b 根管内 pH は測定できない。そもそも pH を測定する必要がない。
- × c 根管長が数字で表示されるわけではない。
- d 金属冠を装着している歯に使用できない。

**ポイント**

<根管長測定器の取扱い>

- 口腔粘膜と歯根膜腔との間の電気抵抗値(インピーダンス)が一定であることを利用している。
- ①電源が入っているかを確認する。
- ②ペースメーカー装着者には使用してはいけない。

(問題 97) 歯周外科治療に用いる器材の写真 (別冊午前 No.30) を別に示す。

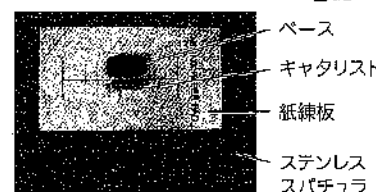
患者指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 粘着性食品を控えてもらう。
- b 脱落したら自分でつけてもらう。
- c 咬合面はブラッシングを行ってもらう。
- d 装着時間の目安は1か月であると説明する。

別冊 午前 No.30 写真

**選択肢考察**

答え a c



ベース  
キャタリスト  
紙練板  
ステンレススパチュラ

- a 写真は歯周パックのベースとキャタリストである。粘着性食品を摂取すると歯周パックが脱落する危険性があるので、粘着性食品を控えてもらう。
- × b 創面の保護や止血を目的にしているため、脱落時には来院してもらう。
- c 装着部分以外(手術部位以外の歯や手術部位の歯の

- 咬合面など)はブラッシングを行ってもらう。
- × d 装着時間の目安は1週間程度である。

**ポイント**

<歯周パック(歯周包帯)>

- ①創面の保護や止血を目的とする。
- ②パックを行った歯の咬合面はブラッシングを行う。
- ③パックが脱落した時には来院させる。
- ④装着時間の目安は約1週間である。
- ⑤粘着性食品を控えてもらう。

(問題 98) 40歳の女性。⑦⑥⑤ブリッジの支台歯形成時に使用した器具の写真 (別冊午前 No.31A) と口腔外で使用する器具の写真 (別冊午前 No.31B) を別に示す。

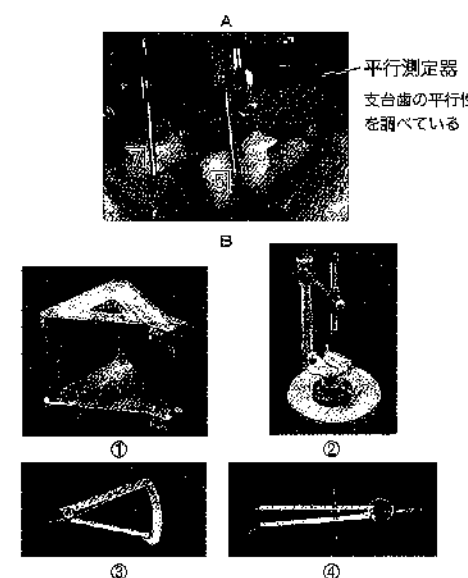
写真 A と同じ目的で使用するのどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.31A、B 写真

**選択肢考察**

答え b



- × a ①は構成咬合器である。床矯正装置を製作する際に用いる。
- b ②はサバイヤーである。写真 A の平行測定器と同様に義歯の着脱方向や支台歯の平行性の確認のために用いる。
- × c ③はメジャーデバイスである。補綴物やワックスの厚みを計測するために用いる。
- × d ④はデンタルコンパスである。歯列弓の幅や顎間距離の測定に用いる。

**ポイント**

<ブリッジの支台歯の平行測定に用いる器具>  
平行測定器、サバイヤー、平行測定用ミラーなど。

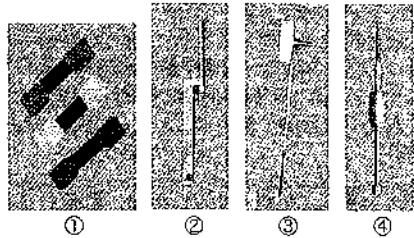
(問題 99) 25歳の男性。下顎右側第一大臼歯に全部金属冠を仮着した2日後、食べ物が隣在歯との間に挟まると訴えて来院した。器具の写真(別冊午前No.32)を別に示す。

まず使用するのはいずれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.32 写真

選択肢考察

答え a



- a ①はコンタクトゲージである。食べ物が隣在歯との間に挟まるとのことなので食片圧入が疑われる。コンタクトゲージを用いて隣在歯との間隙を測定する。コンタクトポイントを調整するときに準備する。
- × b ②は咬合紙ホルダーである。咬合診査、咬合調整の際に使用する。
- × c ③はクラウンセッターである。文字どおりクラウンを装着する際に用いる。
- × d ④はクラウンリムーバーである。クラウンを除去するときに用いる。

ポイント

<コンタクトゲージ>

- ・隣在歯との間隙を測定するときに用いる。
- ・コンタクトポイントを調整するときに準備する。

(問題 100) 28歳の男性。下顎左側智歯周囲炎による疼痛を主訴として来院した。診査の結果、下顎左側智歯を抜歯することになった。初診時のエックス線画像(別冊午前No.33)を別に示す。

抜歯の際に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a ソンデ
- b マレット
- c カーランドメス
- d マイクロモーターハンドピース

別冊 午前 No.33 写真

選択肢考察

答え b d

18 水平埋伏智歯



- × a ソンデは切開、排膿の際に準備する器具である。
- b、○ d パノラマエックス線画像より下顎左側水平埋

状智歯が存在することがわかる。下顎水平埋伏状智歯は歯冠が埋伏しているため歯肉を切開、剥離する。次にマイクロモーターハンドピース、マレット、マイセルなどを用いて歯冠を分割して、抜歯することになる。  
× c 歯周外科治療の1つである歯肉切除術の際に用いる。

ポイント

<下顎水平埋伏状智歯の抜歯に使用する器具>

- ①歯肉メス ⑦骨バー
- ②骨膜剥離子、骨膜起子 ⑧エアーピン・マイクロモーター
- ③挺子(エレベーター) ハンドピース
- ④マイセル (歯の分割用バーなど)
- ⑤マレット
- ⑥破骨鉗子 ⑨縫合器具一式など

(問題 101) 22歳の女性。上顎左側側切歯の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.34A)とエックス線画像(別冊午前No.34B)を別に示す。診断の結果、嚢胞摘出手術を行うことになった。

嚢胞摘出手術に用いる器具はどれか。2つ選べ。

- a 鋭 匙
- b 骨 鋸
- c 消息子
- d 骨膜剥離子

別冊 午前 No.34A, B 写真

選択肢考察

答え a d



大きな透過像

12 歯冠の変色

- a エックス線画像から歯根嚢胞と考えられる。顎骨内に生じた嚢胞摘出手術では、鋭匙を用いて不良肉芽組織を除去する。
- × b 骨鋸は骨を切断する際に用いる。嚢胞摘出手術では用いない。
- × c 消息子とはゾンデのことである。切開、排膿の際に準備する器具である。
- d 顎骨内に生じた嚢胞摘出手術では、骨膜剥離子を用いて骨膜を剥離する。

ポイント

<顎骨内嚢胞摘出手術での準備器具>

- ①基本セット ⑥骨バー、ラウンドバー
- ②局所麻酔器具一式 ⑦鋭 匙
- ③メ ス ⑧縫合器具一式
- ④骨膜剥離子、粘膜剥離子 ⑨根管充填器具一式
- ⑤破骨鉗子 (逆根管充填する場合)

(問題 102) マルチブラケット法で用いるアーチワイヤーの図と器具の写真(別冊午前No.35)を別に示す。ワイヤーの屈曲に用いるのはどれか。1つ選べ。

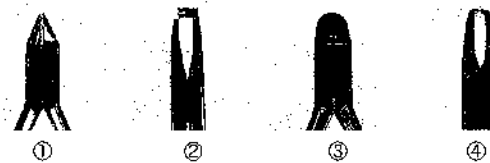
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



別冊 午前 No.35 写真

選択肢考察

答え c



- × a ①はバードピークブライヤーである。細いワイヤーを屈曲するために用いる。
- × b ②はバンドリムービングブライヤーである。バンドを撤去するために用いる。
- c ③はツイードアーチベンディングブライヤーである。図のレクトアングュラーワイヤーの屈曲に用いる。
- × d ④はブラケットリムービングブライヤーである。ブラケットを歯面から撤去するために用いる。

ポイント

<ツイードアーチベンディングブライヤー>  
角線(レクトアングュラーワイヤー)の屈曲に用いる。

(問題 103) 系統的脱感作法はどれか。1つ選べ。

- a モデリング法
- b Tell Show Do 法
- c オペラント条件づけ法
- d Hand Over Mouth 法

選択肢考察

答え b

- × a モデリング法とは、模範的に行動変容しているモデルを観察させ、同じように行動させようとする方法である。
- b Tell Show Do 法とは歯科治療に際し、器具を見せ、説明し、やってみせる方法により系統的に歯科治療に対する恐怖心を緩和させる方法である。不安および恐怖の反応を克服させようとする系統的脱感作法の1つである。
- × c オペラント条件づけ法とは、正の強化因子(小児への賞賛、シールなどをあげる)と負の強化因子(叱責、身体の抑制など)を併用し、歯科治療の恐怖を乗り越えさせる方法である。適応行動は褒め、望ましくない行動は叱る。
- × d Hand Over Mouth 法は、号泣する小児の口を手で覆い、術者の指示を守ったら、手で口を覆うのを中止しながらコントロールする方法である。4歳前後の非協力児に適用される。

ポイント

<系統的脱感作法>  
Tell Show Do 法、シェイピング法など。

(問題 104) 写真(別冊午前No.36)を別に示す。この器材の説明として正しいのはどれか。2つ選べ。  
a 患者に装着してもらう。  
b 男性は胸部に装着する。  
c 被曝量が毎日測定できる。  
d 蛍光を発生する現象を利用している。

別冊 午前 No.36 写真

選択肢考察

答え b d



ガラスバッジ

- × a 医療従事者が装着するものである。放射線防護の目的で患者には防護エプロンを装着してもらう。
- b 男性は胸部、女性は腹部に装着するようになっている。
- × c 被曝量は専門業者での測定が必要なので、1か月毎の定期的な測定が必要である。
- d 写真はガラスバッジ(ガラス蛍光線量計)である。放射線を照射したガラスに紫外線を当てると蛍光を発生する現象を利用している。この蛍光量はほぼ被曝線量に比例する。

ポイント

<ガラスバッジ>

- ①放射線を照射したガラスに紫外線を当てると蛍光を発生する現象を利用している。
- ②医療従事者が装着する。
- ③男性は胸部、女性は腹部に装着する。
- ④1か月毎の定期的な測定が必要である。

(問題 105) 成人の一次救命処置で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 気管挿管を行う。
- b 静脈路確保を行う。
- c 橈骨動脈で脈拍を確認する。
- d 胸骨圧迫と人工呼吸を30対2で行う。

選択肢考察

答え d

- × a 気管挿管は喉頭鏡を用いて行う医療行為なので、二次救命処置である。
- × b 静脈路確保は輸液セットや留置針などの医療器具を用いるので、二次救命処置である。
- × c 一次救命処置における脈拍の確認は橈骨動脈ではなく、頸動脈で行う。
- d 成人の場合、胸骨圧迫と人工呼吸を30対2で行う。小児では救助者が2名の場合、15対2で行う。

ポイント

<心肺蘇生法>

一次救命処置	特別な医療器具や医薬品を使用せずに一般市民が実施できる処置。
二次救命処置	特別な医療器具や医薬品を使用するので医療従事者が行う蘇生処置。

(問題 106) 摂食嚥下時の姿勢で食塊が喉頭内に侵入しやすくなるのはどれか。1つ選べ。

- a 頸部回旋
- b 頸部屈曲
- c 体幹側頸
- d 頸部伸展

選択肢考察 答え d

- × a 頸部回旋は頸部を患側に回旋させることで、患側の下咽頭腔を狭めると同時に健側の下咽頭腔を拡大し、多くの食塊を健側の下咽頭に通過させる方法である。
- × b 頸部屈曲は前頸部の緊張をゆるめ、喉頭蓋谷を広げるため、嚥下前誤嚥を防ぐ効果が高い。
- × c 体幹側頸は頸部を健側に傾斜させて重力を利用して食塊を健側に流すための姿勢である。
- d 頸部伸展は重力を用いて食塊を口腔から咽頭へ流し込むための姿勢である。食塊が喉頭内に侵入しやすくなる。

ポイント

<頭・頸部伸展位>

口腔から咽頭への食塊の送り込み機能が減退している舌運動障害患者などに有効であるが、食塊が喉頭内に侵入しやすくなる。

(問題 107) 口腔機能低下症の評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 鼻息鏡
- b 感圧フィルム
- c 根管長測定器
- d グルコセンサー

選択肢考察 答え b d

- × a 鼻息鏡は鼻咽腔閉鎖機能の評価に用いるが、口腔機能低下症の評価には用いない。
- b 感圧フィルムは咬合力低下(咬合圧)の検査に用いる。
- × c 根管長測定器は口腔機能低下症の評価に用いない。
- d グルコセンサーは咀嚼能力低下(咀嚼能力)の検査に用いる。

ポイント

<口腔機能精密検査>

- ・口腔衛生状態不良の検査
- ・口腔乾燥の検査(口腔粘膜湿度、唾液量)
- ・咬合力低下の検査(咬合圧検査、残存歯数)
- ・舌/唇運動機能低下の検査(オーラルディアドコキネシス)
- ・低舌圧の検査
- ・咀嚼機能低下の検査(咀嚼能力検査、咀嚼能率スコア法)
- ・嚥下機能低下の検査(嚥下スクリーニング検査(EAT-10)、自記式質問票(聖隷式嚥下質問紙))

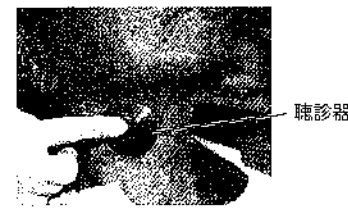
(問題 108) 75歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。1か月前から食事中にむせるという。嚥下機能を評価するために行った検査の写真(別冊午前No.37)を別に示す。

喉頭侵入を疑うのはどれか。2つ選べ。

- a 嗽音
- b 弾音
- c 湿性ラ音
- d 液体の振動音

別冊 午前 No.37 写真

選択肢考察 答え a d



頸部聴診法

- a、○ d 嚥下直後の呼吸音で嗽音や液体の振動音が聴取されるときは、喉頭侵入や誤嚥、咽頭部における液体の貯留を疑う。
- × b 弾音は舌で上顎の構音器官を軽く1度弾き、口腔内に瞬間的な閉鎖を作ることによって聴取される音である。
- × c 肺雑音には乾性ラ音と湿性ラ音がある。乾性ラ音は、気管支の狭窄により生じる音でも呼吸時に聴取される。気管支喘息などで聴取される。湿性ラ音は、末梢気道や肺胞に液体があるときに空気が通過すると生じ、持続性の短い不連続な音でも呼吸時に聴取される。慢性気管支炎、進行した肺水腫、肺炎などで聴取される。

ポイント

<頸部聴診法による誤嚥の判定>

- ・嚥下時に泡立ち音、ムセに伴う喀出音が聴取されるとき → 誤嚥を疑う
- ・嚥下直後の呼吸音で湿性ラ音や嗽音、液体の振動音が聴取されるとき → 誤嚥、喉頭侵入、咽頭部における液体貯留を疑う
- ・むせに伴う喀出音や喘鳴様呼吸音が聴取されるとき → 誤嚥を疑う

(問題 109) 摂食嚥下障害の間接訓練で食道入口部の開大を図るのはどれか。2つ選べ。

- a シャキア法
- b バルーン拡張法
- c チューブ嚥下訓練
- d リーシルバーマン法

選択肢考察 答え a b

- a シャキア法は頸部に位置する喉頭挙上にかかわる舌骨上筋群などを対象とした筋機能訓練で、喉頭の前上方移動を改善し、食道入口部の開大を図る。
- b バルーン拡張法は膀胱バルーンを用いて、おもに食道入口部(輪状咽頭筋部)を繰り返し拡張する。
- × c チューブ嚥下訓練は繰り返しチューブ(カテーテル)

を嚥下することにより、嚥下反射の惹起性を改善させ、喉頭挙上運動の速度および距離(変位量)を改善させる。

- × d リーシルバーマン法は声量の増大と発話明瞭度を改善する。

ポイント

<シャキア法>

- ・食道入口部の開大不全、前頸筋群の筋力低下がみられるときに行う。
- ・仰臥位をとり、頭部のみを挙上し、足先をみた状態を60秒間保持する。
- 3回繰り返し、このサイクルを30回行い(1クール)、1日に3クール行う。

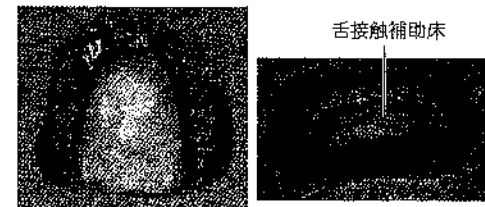
(問題 110) 80歳の女性。口蓋に食渣が付着することを主訴として在宅診療を希望した。1年前に脳梗塞を発症したという。口腔内装置の写真(別冊午前No.38A)と装置装着時の口腔内写真(別冊午前No.38B)を別に示す。

この装置の適応はどれか。1つ選べ。

- a 舌挙上不全
- b 口唇閉鎖不全
- c 声門閉鎖不全
- d 軟口蓋挙上不全

別冊 午前 No.38A、B 写真

選択肢考察 答え a



舌接触補助床

- a 写真の口腔内装置は舌接触補助床である。舌の運動障害を原因とした著しい機能低下により、舌と口蓋の接触が得られない患者に対して用いる装置で、舌挙上不全が適応である。
- × b 口唇閉鎖不全に対しては口唇訓練が適応である。
- × c 声門閉鎖不全に対しては声門閉鎖訓練が適応である。
- × d 軟口蓋挙上不全に対しては軟口蓋挙上装置の装着が適応である。

ポイント

<舌接触補助床>

切除や運動障害を原因とした著しい舌の機能低下により、舌と硬・軟口蓋の接触が得られない患者に対して用いる「上顎齦歯口蓋部を肥厚させた装置」、または「口蓋部分を覆う装置」である。

# 解説 (午後問題)

(問題 1) 外胚葉に由来するのはどれか。1つ選べ。

- a 脊髄
- b 椎骨
- c 骨格筋
- d 舌下腺

選択肢考察 答え a

○a 中枢神経(脳、脊髄)、末梢神経、表皮、エナメル質、耳下腺は外胚葉由来である。

×b、×c 神経堤由来以外の全身のほとんどの骨、骨格筋は中胚葉由来である。

×d 舌下腺は内胚葉由来である。

**ポイント**

<三胚葉の主な器官と組織>

胚葉	主な器官・組織
外胚葉	体表外胚葉 表皮、口腔粘膜(一部)、エナメル質、耳下腺 神経外胚葉 神経管 中枢神経系(脳、脊髄) 末梢神経系、頭蓋骨、歯の結合組織(歯髄、象牙質、セメント質)、歯周組織
中胚葉	体節 骨格筋、皮膚結合組織、骨 中間中胚葉 泌尿器、生殖器 側板中胚葉 血管、血液
内胚葉	口腔粘膜(一部)、顎下腺、舌下腺、消化管、肝臓、膵臓

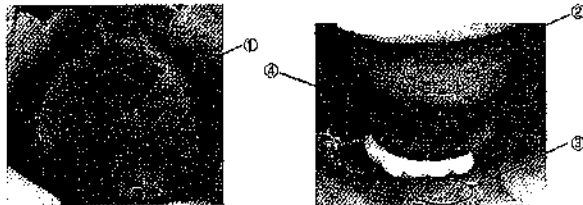
(問題 2) 口腔内写真(別冊午後No.1)を別に示す。

咀嚼粘膜はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.1 写真

選択肢考察 答え a



○a ①は硬口蓋である。硬口蓋は咀嚼粘膜である。

×b ②は舌である。舌は特殊粘膜である。

×c ③は下口唇である。口唇は被覆粘膜である。

×d ④は頬粘膜である。頬粘膜は被覆粘膜である。

**ポイント**

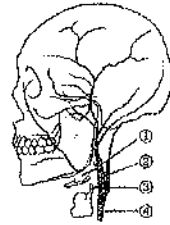
<粘膜組織>

粘膜の種類	特徴	みられる部位
咀嚼粘膜	粘膜上皮が角化。粘膜下組織がない。 粘膜固有層が歯槽骨の骨膜と直接結合している。	歯肉、硬口蓋
被覆粘膜	粘膜上皮は角化していない。粘膜下組織が発達。	口唇、歯槽、頬粘膜
特殊粘膜	多くの舌乳頭が存在する。	舌背

(問題 3) 頭頸部の動脈系の模式図を示す。

内頸動脈はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 答え c

×a ①は舌動脈である。舌動脈は外頸動脈の枝である。

×b ②は外頸動脈である。外頸動脈は喉頭、口腔、甲状腺、咀嚼筋、顔面などに分布する。

○c ③は内頸動脈である。内頸動脈は眼球と頭蓋内に侵入する。

×d ④は総頸動脈である。総頸動脈は内頸動脈と外頸動脈に分岐する。

**ポイント**

<外頸動脈の枝>

上甲状腺動脈、上行咽頭動脈、舌動脈、顔面動脈、後頭動脈、後耳動脈、顎動脈、浅側頭動脈

(問題 4) 象牙質にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 周波条
- b レチウス条
- c シャーピー線維
- d アンドレーゼン線

選択肢考察 答え d

×a 周波条とはレチウス条がエナメル質表面に終わる一連の溝のことで、エナメル質に認められる。

×b レチウス条は横紋の10本間隔ごとにみられるよく発達したエナメル質の成長線である。

×c シャーピー線維は歯根膜に連続するセメント質および固有歯槽骨中の膠原線維(コラーゲン線維)である。

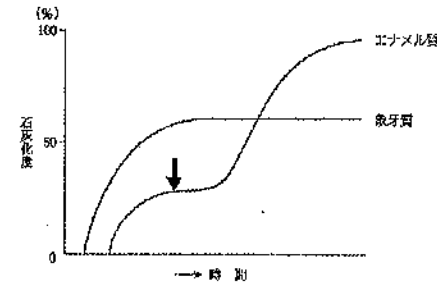
○d アンドレーゼン線とは象牙質にみられる成長線の1つである。象牙質の脱灰切片でみられる間隔20μmの平行条である。

**ポイント**

<象牙質にみられる構造物>

エプネル線、アンドレーゼン線、オーエンの外形線、石灰化条、象牙線維(トームス線維)、トームス顆粒層、象牙細管、管間象牙質、管間象牙質、透明象牙質、第三象牙質、象牙前質、球間象牙質など。

(問題 5) 硬組織の石灰化度の時間経過に伴う変化を図に示す。



矢印で示す時期に最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a エナメル
- b コラーゲン
- c アメロゲン
- d アメロプラスチン

選択肢考察 答え c

×a、○c、×d 図中の矢印で示す形成期および幼若期のエナメル質中のタンパク質は、アメロゲン>エナメル>アメロプラスチンの順に多い。

×b コラーゲンは含まれていない。

**ポイント**

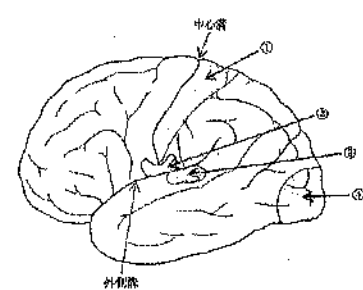
<エナメル質形成の2段階説>

エナメル質の石灰化度の時間経過に伴う変化は、大きく2つの時期(形成期と成熟期)に分けられる。一方、象牙質の石灰化は1段階で進行する。

(問題 6) 大脳皮質を模式図に示す。

感覚性言語中枢はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 答え c

×a ①は体性感覚野である。

×b ②は体性運動野である。

○c ③は感覚性言語中枢である。

×d ④は視覚野である。

**ポイント**

<大脳>

運動、体性感覚、言語、味覚、連合など、新皮質の各部で機能が同定する。

(問題 7) 興奮伝導の3原則に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 減衰性
- b 絶縁性
- c 跳躍性
- d 片方向性

選択肢考察 答え b

×a 興奮が伝導していくとき、興奮の大きさは減衰しない。つまり、不減衰性である。ちなみに有髄神経でも無髄神経でも不減衰性である。

○b ある1本の神経線維の興奮はその線維だけを伝導し、他の線維の興奮に影響されない。これを絶縁伝導という。有髄神経でも無髄神経でもみられる。

×c 有髄神経では電流は絶縁体のないランビエの絞輪を通過して流れるため、活動電位はランビエの絞輪からランビエの絞輪へジャンプして伝導する。これを跳躍伝導という。無髄神経ではみられないので、興奮伝導の原則ではない。

×d 神経線維のある部分で生じた興奮はその部分を中心にして両方向へ同じように伝わる。これを両方向伝導という。有髄神経でも無髄神経でもみられる。

**ポイント**

<興奮伝導の3原則>

有髄神経でも無髄神経でもみられる。

絶縁伝導	ある1本の神経線維の興奮はその線維だけを伝導し、他の線維の興奮に影響されない。
両方向伝導	神経線維のある部分で生じた興奮がその部分を中心にして両方向へ同じように伝わる。
不減衰伝導	興奮が伝導していくとき、興奮の大きさは減衰しない。

(問題 8) 真核生物の中心体の模式図を示す。

矢印の領域はどれか。1つ選べ。

- a テロメア
- b ヒストン
- c クロマチン
- d セントロメア



選択肢考察 答え a

○a 染色体の両端末にはテロメアが存在する。テロメアはDNA複製ごとに短縮するため、細胞分裂、老化、寿命に関与する。

×b ヒストンとは真核生物のクロマチン(染色体)を構成する主要なタンパク質である。

×c クロマチンとはヒストンとDNAの複合体で、1つのヒストンに染色体DNAが二重に巻きつくヌクレオソーム構造からなる。

×d 染色体の中央部を動原体(セントロメア)という。染色体はセントロメアを挟んで、短腕(p)と長腕(q)に分かれる。

**ポイント**

<テロメア>

・真核生物のDNAは直鎖状で、両端末にテロメアという特殊な構造がみられる。

・テロメアには6塩基の繰り返し配列(TTAGGG)が存在し、ループを形成している。

・テロメアは DNA 複製ごとに短縮するため、細胞分裂、老化、寿命に関与する。

〔問題 9〕 先天性梅毒でみられる歯の形態異常を図に示す。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a 斑状歯
- b ムーン歯
- c ターナー歯
- d ハッチンソン歯



選択肢考察 **答え d**

- × a フッ素を過剰摂取すると、白濁した斑点みられる斑状歯（歯のフッ素症）が生じる。
- × b ムーン歯とは、桑実状臼歯のことでフルニエの歯ともよばれる。梅毒に関連して生じるが、図のような前歯ではなく、大白歯の形態異常である。
- × c ターナー歯とは、乳歯の根尖病巣によって後継永久歯の歯冠に生じる構造異常（エナメル質減形成）である。
- d ハッチンソン歯とは、図のような前歯の半月状欠損歯のことである。先天性梅毒でみられる。

ポイント  
＜先天性梅毒でみられる歯＞

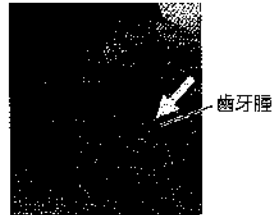
前歯部ではハッチンソン歯、臼歯部ではムーン歯（フルニエ歯、桑実状臼歯）がみられる。

〔問題 10〕 エックス線画像（別冊午後 No.2）を示す。矢印が示す疾患で正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a 高齢者に好発する。
- b 歯原性混合腫瘍である。
- c セメント質は含まれない。
- d 顎骨を破壊して浸潤増殖する。

別冊 午後 No.2 写真

選択肢考察 **答え b**



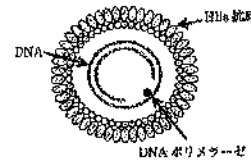
- × a 写真上で境界明瞭な透過像中に小不透過物の集合を認め、周囲に帯状の透過像が認められることから歯牙腫と考えられる。歯牙腫は 10～20 歳代の若年者に好発する。
- b、× c 歯牙腫はエナメル質、象牙質、セメント質、歯髄からなる歯原性混合腫瘍である。
- × d 顎骨を破壊して浸潤増殖するのは悪性腫瘍の特徴である。歯牙腫は悪性腫瘍ではない。

ポイント

＜歯牙腫＞

分類	歯原性上皮と歯原性外胚葉性間葉からなり、硬組織を伴うあるいは伴わない腫瘍（＝混合腫瘍）。
好発年齢	10～20 歳代の若年者
症状	上顎前歯部の無痛性腫脹
エックス線所見	境界明瞭な透過像の中に小不透過物の集合を認める。周囲に帯状の透過像を認める。埋伏歯を伴うことがある。
病理組織像	エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄からなる一種の粗織奇形である。
治療法	摘出

〔問題 11〕 あるウイルスの模式図を示す。



このウイルスの特徴で正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a 垂直感染する。
- b レトロウイルスである。
- c 動物を媒介して感染する。
- d 有効なワクチンは存在しない。

選択肢考察 **答え a**

- a HBs 抗原が記されているので、図は B 型肝炎ウイルス（HBV）である。B 型肝炎は垂直感染（母子感染）する。
- × b レトロウイルスには、ヒト T 細胞白血病ウイルス（HTLV）、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）がある。
- × c B 型肝炎は血液を介して感染する。
- × d C 型肝炎ウイルス（HCV）には現在有効なワクチンはない。一方、B 型肝炎の予防にはワクチン接種が有効である。

ポイント

＜血液感染＞

B 型肝炎ウイルス（HBV）、C 型肝炎ウイルス（HCV）、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は血液を介して感染する。

〔問題 12〕 DNA ウイルスはどれか。1 つ選べ。

- a 単純疱疹ウイルス
- b ムンプスウイルス
- c コクサッキーウイルス
- d インフルエンザウイルス

選択肢考察 **答え a**

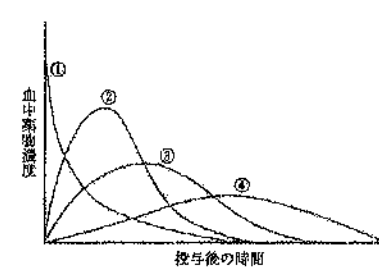
- a 単純疱疹ウイルスは DNA ウイルスの 1 つである。
- × b、× c、× d いずれも RNA ウイルスの 1 つである。

ポイント

＜ウイルスの分類＞

DNA ウイルス	単純疱疹ウイルス 水痘-帯状疱疹ウイルス EBウイルス 痘毒ウイルス B型肝炎ウイルス
RNA ウイルス	レトロウイルス ヒト免疫不全ウイルス（HIV） ヒト T 細胞白血病ウイルス（HTLV） A 型肝炎ウイルス C 型肝炎ウイルス ムンプスウイルス 麻疹ウイルス エンテロウイルス コクサッキーウイルス A16 風疹ウイルス 日本脳炎ウイルス

〔問題 13〕 筋肉内投与、経口投与、静脈内投与および皮下投与の血中薬物濃度-時間曲線を図に示す。



肝臓での初回通過効果が生じる投与方法はどれか。1 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 **答え d**

- × a ①は静脈内注射である。
- × b ②は筋肉内注射である。
- × c ③は皮下注射である。
- d ④は経口投与である。最も一般的な投与方法であり、胃や小腸から吸収される。薬物が門脈経路で吸収される場合、肝臓で代謝を受ける。これを肝臓での初回通過効果という。

ポイント

＜経口投与＞

- ・最も一般的な投与方法であり、胃や小腸から吸収される。
- ・吸収された後、肝臓での初回通過効果を受ける。

〔問題 14〕 ある薬品の写真（別冊午後 No.3）を別に示す。この薬品にアドレナリンが配合されている理由は何か。1 つ選べ。

- a 血圧上昇の抑制
- b 使用期限の延長
- c 局所麻酔作用の延長
- d 発痛物質産生の抑制

別冊 午後 No.3 写真

選択肢考察 **答え c**



局所麻酔薬

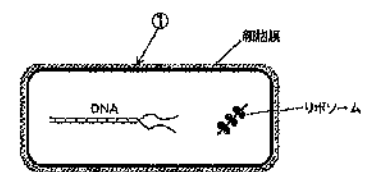
- × a アドレナリンには血圧上昇作用がある。
- × b アドレナリンを配合しても使用期限が延長されることはない。
- c 麻酔効果の持続時間を延長させる目的がある。
- × d 発痛物質産生を抑制するのは消炎鎮痛薬である。

ポイント

＜局所麻酔薬に血管収縮薬（アドレナリン）が配合されている理由＞

- ①薬物の吸収を遅らせる→局所麻酔作用の延長
- ②麻酔薬の急激な血中濃度上昇による急性中毒予防
- ③局所出血の予防、出血量の減少による手術野の明示

〔問題 15〕 細胞の模式図を示す。



①の合成を阻害するのはどれか。1 つ選べ。

- a セフェム系抗菌薬
- b マクロライド系抗菌薬
- c ニューキノロン系抗菌薬
- d テトラサイクリン系抗菌薬

選択肢考察 **答え a**

- a ①は細胞壁である。ペニシリン系抗菌薬とセフェム系抗菌薬はβ-ラクタム系抗菌薬ともよばれ、細胞壁合成阻害作用を有する。
- × b、× d マクロライド系抗菌薬とテトラサイクリン系抗菌薬はタンパク合成阻害作用を有する。
- × c ニューキノロン系抗菌薬は核酸合成阻害作用を有する。

ポイント

＜抗菌薬の作用機序＞

	作用機序
ペニシリン系抗菌薬	細胞壁合成阻害
セフェム系抗菌薬	
アミノグリコシド系抗菌薬	タンパク合成阻害
マクロライド系抗菌薬	
テトラサイクリン系抗菌薬	
クロラムフェニコール抗菌薬	核酸合成阻害
ニューキノロン系抗菌薬	

〔問題 16〕 ペリクルで正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯垢形成の起点となる。
- b 頬粘膜の感染を防止する。
- c 厚さは約 100 μm である。
- d 歯面を物理化学的に保護する。

選択肢考察 **答え a d**

- a ペリクルは歯垢形成の起点となる。

- × b ペリクルは歯の表面に形成されるため、頬粘膜の感染は防止できない。
- × c ペリクルの厚さは1μmである。
- d ペリクルは歯面を物理化学的に保護する。

**ポイント**  
 <ペリクルの機能>

- ・外部からの歯面への酸の浸透性を低下させる。
- ・外部から歯面への冷熱の侵襲を防御する。
- ・歯面から外部へのカルシウムイオンやリン酸イオンの拡散を妨げる。
- ・咬合面においてエナメル質の相互の接触に際しての潤滑剤となる。
- ・細菌の歯面への付着を助け、プラーク形成の土台となる。

**(問題 17)** *Streptococcus sobrinus*のムタン産生酵素はどれか。1つ選べ。  
 a ムタナーゼ  
 b デキストラナーゼ  
 c グルコシルトランスフェラーゼ  
 d フルクトシルトランスフェラーゼ

**選択肢考察** **答え c**  
 × a ムタナーゼはムタンの分解酵素である。  
 × b デキストラナーゼはデキストランの分解酵素である。  
 ○ c グルコシルトランスフェラーゼはグルカン(ムタンやデキストラン)の合成酵素である。  
 × d フルクトシルトランスフェラーゼはフルクトサンの合成酵素である。

**ポイント**  
 <グルカン>

	不溶性グルカン	水溶性グルカン
	ムタン	デキストラン
構成単糖	グルコース	
結合様式	α-1,3、α-1,6	α-1,6
性質	不溶性、粘着性	水溶性
所在	菌体外多糖	
基質	スクロース	
合成酵素	グルコシルトランスフェラーゼ	
分解酵素	ムタナーゼ	デキストラナーゼ

**(問題 18)** 歯垢染色剤に使われる色素はどれか。2つ選べ。  
 a サフラニン  
 b フロキシシン  
 c プリリアントブルー  
 d クリスタルバイオレット

**選択肢考察** **答え bc**  
 × a サフラニンはグラム染色の対比染色に用いられる。  
 ○ b フロキシシンは歯垢を紅色に染色する歯垢染色剤である。  
 ○ c プリリアントブルーは歯垢を青色に染色する歯垢染色剤である。  
 × d クリスタルバイオレットはグラム染色に用いられる。

**ポイント**

<歯垢染色剤>

- ・エリスロシン：桜赤色
- ・フロキシシン：紅色
- ・ローズベンガル：紫紅色
- ・プリリアントブルー：青色

**(問題 19)** 洗口剤の成分で殺菌作用を示すのはどれか。1つ選べ。  
 a トラネキサム酸  
 b サッカリンナトリウム  
 c 塩化セチルピリジニウム  
 d グリチルレチン酸ステアリル

**選択肢考察** **答え c**  
 × a トラネキサム酸は出血抑制剤として配合されている薬用成分である。  
 × b サッカリンナトリウムは香味剤として配合されている基本成分である。  
 ○ c 塩化セチルピリジニウムは殺菌剤として配合されている薬用成分である。  
 × d グリチルレチン酸ステアリルは消炎剤として配合されている薬用成分である。

**ポイント**

<洗口剤に配合されている殺菌剤>

- ・トリクロサン
- ・クロルヘキシジン
- ・塩化ベンゼトニウム
- ・塩化セチルピリジニウム

**(問題 20)** OHI記録の一部を表に示す

	Debris score			
	右側第一大臼歯	右側中切歯	左側中切歯	左側第一大臼歯
上顎	3 <sup>a</sup>	2	1	0
	2 <sup>b</sup>	3	1	1
下顎	2	1	0	1
	3	2	1	2

DI-Sの値はどれか。1つ選べ。  
 a 0.9  
 b 1.3  
 c 1.7  
 d 2.1

**選択肢考察** **答え c**  
 × a、× b、○ c、× d OHI-Sの評価法についての出題である。OHI-S = DI-S + CI-Sで評価し、診査部位は  $\frac{6}{6} + \frac{6}{16}$  で頰側を診査するが、下顎第一大臼歯については舌側を査する。  
 検査歯面の Debris score の和：3 + 2 + 0 + 3 + 0 + 2 = 10  
 被験歯数：6  
 DI-S = 10 / 6 = 1.66... ≈ 1.7

**ポイント**

<DIの評価基準>

- ：プラークや外因性付着物を認めない

- 1：歯面の1/3以内のプラーク付着、外因性付着物あり
- 2：歯面の1/3～2/3のプラーク付着
- 3：歯面の2/3以上のプラーク付着

**(問題 21)** フッ化物応用法とフッ素濃度の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。  
 a フッ化物洗口 \_\_\_\_\_ 0.2%  
 b 水道水フッ化物添加 \_\_\_\_\_ 0.8%  
 c フッ化物配合歯磨剤 \_\_\_\_\_ 0.1%  
 d 歯面塗布用フッ化ナトリウム溶液 \_\_\_\_\_ 2.0%

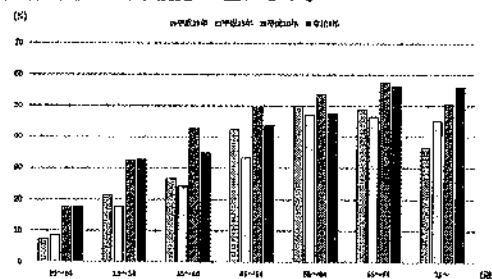
**選択肢考察** **答え c**  
 × a フッ化物洗口は225～900ppmのため、2,000ppm(0.2%)は高濃度である。  
 × b 水道水フッ化物添加は0.8ppmのため、8,000ppm(0.8%)は高濃度である。  
 ○ c フッ化物配合歯磨剤は1,000～1,500ppmのため、1,000ppm(0.1%)は適切である。  
 × d 歯面塗布用フッ化ナトリウム溶液は9,000ppm(APF溶液第1法は12,300ppm)のため、20,000ppm(2.0%)は高濃度である。

**ポイント**

<フッ化物配合歯磨剤>

- ・歯が生えてから2歳：900～1,000ppmF
- ・3～5歳：900～1,000ppmF
- ・6歳から成人(高齢者を含む)：1,400～1,500ppm

**(問題 22)** 令和4年歯科疾患実態調査結果からある項目の年齢階級別の年次推移を図に示す。



この項目はどれか。1つ選べ。  
 a う歯をもつ者の割合  
 b 歯肉出血を有する者の割合  
 c 20本以上の歯を有する者の割合  
 d 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

**選択肢考察** **答え d**  
 × a、× b、× c、○ d 図は令和4年歯科疾患実態調査の4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合の結果である。

**ポイント**

<歯科疾患実態調査>

この調査は、我が国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、平成28年より5年ごと(横断調査)に実施している一般統計である。

**(問題 23)** PFI(Plaque Index)とRamfjord's PDI(Periodontal Disease Index)で評価する歯種(FDI方式)が同じなのはどれか。1つ選べ。  
 a 12  
 b 21  
 c 32  
 d 44

**選択肢考察** **答え d**  
 × a、× b、× c、○ d PFI(Plaque Index)の診査対象部位は16、12、24、32、36、44で、Ramfjord's PDI(Periodontal Disease Index)の診査対象部位は16、21、24、36、41、44のため、共通する診査対象部位は16、24、36、44である。

**ポイント**

<PFIとRamfjord's PDI>

- ・PFI(Plaque Index)  
 プラークの付着状態を数字で表現する指標である。
- ・Ramfjord's PDI(Periodontal Disease Index)  
 歯周疾患の評価を特定6歯で全口腔を代表させる方法である。

**(問題 24)** 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)における五類感染症で新興感染症はどれか。2つ選べ。

- a 梅毒
- b インフルエンザ
- c クリプトスポリジウム症
- d 新型コロナウイルス感染症

**選択肢考察** **答え cd**  
 × a、× b 梅毒やインフルエンザは感染症法の五類感染症だが、新興感染症ではない。  
 ○ c、○ d クリプトスポリジウム症や新型コロナウイルス感染症は感染症法の五類感染症で、新興感染症である。

**ポイント**

<新型コロナウイルス感染症>

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症法の五類感染症で、新興感染症である。ほかには後天性免疫不全症候群(HIV)などがある。

**(問題 25)** 学校歯科健康診断における定期健康診断の検査項目でまず診査するのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合
- b 歯式
- c 歯肉
- d 顎関節

**選択肢考察** **答え ad**  
 ○ a、○ d 学校歯科健康診断における定期健康診断では、まず歯列・咬合・顎関節の状態を診査する。  
 × b、× c 学校歯科健康診断における定期健康診断では、歯列・咬合・顎関節の状態の診査後、歯垢の状態、歯肉の状況を診査し、歯式を記入する。

**ポイント**

<学校歯科健康診断における定期健康診断>

学校歯科健康診断における定期健康診断では健康診断票の左側から順番に診査していく。検査項目は、歯列・咬合・顎関節の状態、歯垢の状態、歯肉の状況、歯式、歯の状態、そのほかの疾病および異常であり、学校歯科医所見と事後措置を記入する。

**〔問題 26〕** 地域精神保健活動を推進するのはどれか。1つ選べ。

- a 保健所
- b 市町村保健センター
- c 地域活動支援センター
- d 地域包括支援センター

**選択肢考察** **答え a**

- a 保健所は「地域保健法」に規定されており、地域精神保健活動を推進している。
- ×b 市町村保健センターは「地域保健法」に規定されている。
- ×c 地域活動支援センターは「障害者総合支援法」に規定されている。
- ×d 地域包括支援センターは「介護保険法」に規定されている。

**ポイント**

<精神保健福祉対策>

- ・精神保健福祉対策を扱う地域の拠点として保健所がある。
- 患者と行政・医療・地域とを結ぶサービスを提供する。

**〔問題 27〕** 医療保険者の役割はどれか。1つ選べ。

- a 療養の給付
- b 診療報酬の請求
- c 一部負担金の支払い
- d 特定健康診査の実施

**選択肢考察** **答え d**

- ×a 療養の給付は医療機関の役割である。
- ×b 診療報酬の請求は保険医療機関の役割である。
- ×c 一部負担金の支払いは被保険者の役割である。
- d 特定健康診査の実施は医療保険者の役割である。

**ポイント**

<医療保険者の役割>

- ・保険料の徴収
- ・特定健康診査の実施

**〔問題 28〕** 地域包括ケアで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 中学校区で構築される。
- b 地域保健法に規定されている。
- c 医療を中核とした包括的ケアである。
- d 医療計画の策定によりシステムとして構築する。

**選択肢考察** **答え a**

- a 地域包括ケアシステムは中学校区で構築される。
- ×b 地域包括ケアシステムは「介護保険法」に規定されている。

- ×c 地域包括ケアシステムは住まいや生活支援サービスを中核とした包括ケアである。
- ×d 介護保険事業計画の策定によりシステムとして構築する。

**ポイント**

<地域包括ケアシステムにおける「5つの構成要素」>  
「介護」「医療」「予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えている。

**〔問題 29〕** 国際歯科保健の現状で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 12歳児のう蝕は増加傾向である。
- b 歯周病は地域的な差が顕著である。
- c 高齢化による根面う蝕は増加傾向である。
- d 5億人以上の子どもの未処置の乳歯う蝕がある。

**選択肢考察** **答え c d**

- ×a 12歳児のう蝕は減少傾向であり、DMFT 3歯以下を達成している国は130か国を超えている。
- ×b 歯周病は地域的な差はあまり顕著ではない。
- c、○d 開発途上国を中心に5億人を超える子どもに乳歯う蝕の未処置が常態化している。成人の約1/3は未処置の永久歯う蝕を有しており、高齢化による根面う蝕の増加も認められる。

**ポイント**

<国際歯科保健の現状>

開発途上国においては十分なブラッシングが行えないため歯周病に罹患する患者が多く、先進国においては生活習慣病として歯周病に罹患する患者がおおいため、歯周病は地域的な差はあまり顕著ではない。

**〔問題 30〕** 適切な説明を行うことで患者の理解を得ることを規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 医療法
- b 健康保険法
- c 歯科医師法
- d 個人情報保護法

**選択肢考察** **答え a**

- a 「医療法」は医療機関について規定されており、インフォームドコンセントについても定められている。
- ×b 「健康保険法」は医療保険について規定されている。
- ×c 「歯科医師法」は歯科医師の業務について規定されている。
- ×d 「個人情報の保護に関する法律」は個人情報の適正な取扱いについて規定されている。

**ポイント**

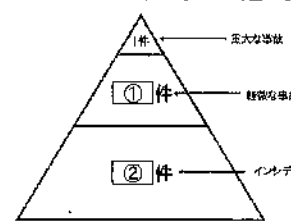
<適切な説明と理解>

医師、歯科医師、薬剤師、看護師そのほかの医療の担い手は、医療を提供するにあたり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るよう努めなければならない。

**〔問題 31〕** ハインリッヒの法則を表す図を示す。

□に入る組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ① ②
- a 20 200
- b 29 300
- c 30 400
- d 39 500



**選択肢考察** **答え b**

- ×a、○b、×c、×d ハインリッヒは、「1件の重大な事故の背景には29件の軽微な事故と、さらに300件の傷害には至らなかった事故〈インシデント〉がある。」と述べている。

**ポイント**

<医療安全>

重大な医療事故が起こる前に、インシデントの段階で未然に防止することが医療安全において重要である。

**〔問題 32〕** 令和2年の就業場所別の歯科衛生士歯数を表に示す。

就業場所	就業歯科衛生士数
診療所	129,758人
①	7,029人
②	2,050人
③	1,258人
④	1,006人

①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 病院
- b 市町村
- c 介護保険施設
- d 歯科衛生士学校

**選択肢考察** **答え a**

- a ①は病院である。
- ×b ②は市町村である。
- ×c ③は介護保険施設である。
- ×d ④は歯科衛生士学校である。

**ポイント**

<歯科衛生士の就業先>

歯科衛生士の就業先で最も多いのは診療所、次に多いのは病院である。

**〔問題 33〕** 消毒薬の写真(別冊午後No.4)を別に示す。この消毒法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 手洗いの後に行う。
- b グローブ着用後に行う。
- c 指先から手首まで行う。
- d 薬液の適量は約10mLである。

別冊 午後 No.4 写真

**選択肢考察** **答え a c**



速乾性すり込み式手指消毒薬

- a、×b 手洗い→速乾性すり込み式手指消毒→グローブ着用の順に行う。
- c 指先から手首まで行う。指先→手指間→拇指→手掌→手の甲→手首の順となる。
- ×d 薬液の適量は約3mLである。

**ポイント**

<速乾性すり込み式手指消毒法>

- ①液体石けんを手掌に取り、手掌を合わせてよくこすり、指先、指の間、爪の間を十分に洗う。
- ②液体石けんを流水でよく洗い流す。
- ③速乾性擦込式手指消毒薬を適量(約3mL)を手掌に取る。
- ④爪先、指先によくすり込む。
- ⑤手掌によくすり込む。
- ⑥手の甲にすり込む。
- ⑦手首にもすり込み、乾燥するまでよくすり込む。
- ⑧グローブを着用する。

**〔問題 34〕** 腫瘍の検査で撮像した画像(別冊午後No.5)を別に示す。

撮像に利用するのはどれか。1つ選べ。

- a 反射波
- b エックス線
- c 核磁気共鳴
- d 放射性同位元素

別冊 午後 No.5 写真

**選択肢考察** **答え c**



MRI画像

- ×a 反射波を利用するのは超音波検査である。
- ×b エックス線を利用するのはエックス線検査やCT検査などである。
- c MRI撮像には核磁気共鳴を利用する。
- ×d 放射性同位元素を利用するのはシンチグラフィーなどの核医学検査である。

ポイント

< MRI 検査 >

- ・放射線を使用しないので被曝がない。
- ・造影剤を使用する場合には、ガドリニウムが用いられる。

(問題 35) STS法およびTP抗原法で陽性反応を示した。考えられる感染症はどれか。1つ選べ。

- a 結核
- b 梅毒
- c B型肝炎
- d C型肝炎

選択肢考察

答え b

- × a 結核では塗抹検査やツベルクリン反応、インターフェロンγ遊離試験などが行われる。
- b STS法およびTP抗原法は梅毒の検査である。
- × c B型肝炎ではHBs抗原やHBe抗原、抗HBs抗体、抗HBe抗体の検査などが行われる。
- × d C型肝炎では抗HCV抗体などが行われる。

ポイント

< 梅毒 >

- ・5類感染症である。
- ・Treponema Pallidumによる感染で生じる。

(問題 36) 知的障害児の処置中の写真(別冊午後No.6)を別に示す。

足の指に装着した装置で測定するのはどれか。2つ選べ。

- a 血圧
- b 脈拍
- c 動脈血酸素分圧
- d 経皮的動脈血酸素飽和度

別冊 午後 No.6 写真

選択肢考察

答え b d



パルスオキシメーター

- × a 血圧は血圧計で測定する。
- b パルスオキシメーターは脈拍を測定する。
- × c 動脈血酸素分圧は動脈血を採血して測定する。
- d パルスオキシメーターは経皮的に動脈血酸素飽和度を測定する。

ポイント

< 動脈血酸素飽和度と動脈血酸素分圧 >

動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)と動脈血酸素分圧(PaO<sub>2</sub>)は相関関係が存在する。そのため、パルスオキシメーターで経皮的に測定した動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)から動脈血酸素分圧を推測できる。ただし、マニキュア塗布や周囲の強い光などによってSpO<sub>2</sub>の測定が不正確となるため注意する。

(問題 37) 細胞診と比較した組織診の利点はどれか。1つ選べ。

- a 標本の製作時間が短い。
- b がんの検出感度に優れる。
- c 検体採取時の侵襲が小さい。
- d 検体の繰り返し採取が容易である。

選択肢考察

答え b

- × a 標本の製作時間が短いのは細胞診である。
- b 組織診は細胞診よりもがんの検出感度に優れる。
- × c、× d 組織診は検体採取時に麻酔が必要であり、侵襲も大きい。そのため、細胞診のほうが検体の繰り返し採取が容易である。

ポイント

< 病理学検査 >

細胞診	検体の採取が容易であり、がんのスクリーニング検査として有用
組織診	組織構造を保ったまま観察できるため、腫瘍の確定診断に重要

(問題 38) 38歳の女性。上顎左側中切歯の修復物の変色を主訴として来院した。約10年前にコンポジットレジン修復を受け、治療後から痛みを自覚したことはないという。歯髄電気診には正常に反応した。エックス線検査では異常を認めない。初診時の口腔内写真(別冊午後No.7)を別に示す。

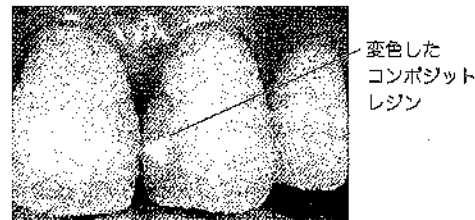
考えられる対処法はどれか。1つ選べ。

- a 補修復
- b バイタルブリーチ
- c 硬質レジン前装冠装着
- d レジンラミネートベニア修復

別冊 午後 No.7 写真

選択肢考察

答え a



変色したコンポジットレジン

- a コンポジットレジンが変色しているが、痛みもなく、歯髄電気診やエックス線検査でも明らかな異常がみられないため、補修復を考慮することは妥当である。
- × b バイタルブリーチでは変色したコンポジットレジンの色調は変わらない。
- × c、× d 修復物の大きさなどを考慮すると、硬質レジン前装冠装着やレジンラミネートベニア修復では歯質削除量が大きすぎるため、適切とはいえない。

ポイント

< 補修復 >

既存修復物の変色や二次う蝕、破損などに対して、問題部位のみ削除してコンポジットレジンで修復することをいう。MI(ミニマルインターベンション)修復の概念に沿った治療法である。

(問題 39) 下顎大白歯の2級インレー修復を行うにあたり、セラミックインレーを選択することになった。

選択した理由として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 装着が容易である。
- b 耐摩耗性に優れる。
- c 歯質削除量が少ない。
- d 隣接面形態の再現が可能である。

選択肢考察

答え b

- × a セラミックインレー修復は接着性レジンセメントで装着する必要があり、メタルインレーより装着が容易であるとはいえない。
- b セラミックインレーはメタルインレーなどと比較して耐摩耗性に優れる。したがって、セラミックインレーを選択した理由として耐摩耗性に優れることが考えられる。
- × c セラミックインレーは破折防止のため厚みを持たせる必要があり、歯質削除量がメタルインレーよりも多い。
- × d 隣接面形態の再現はインレー修復であれば材料による差はないと考えられる。したがって、セラミックインレーを選択した理由とは考えにくい。

ポイント

< メタルインレーと比較したセラミックインレーの特徴 >

- ・審美性や耐摩耗性に優れる。
- ・熱を伝えにくい。
- ・縁端強度が低い。
- ・歯質削除量が多い。
- ・接着性レジンセメントで合着する必要がある。

(問題 40) 32歳の男性。上顎右側第二大臼歯の自発痛を主訴として来院した。診察の結果、麻酔抜髄を行うにあたり、隔壁を形成することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.8)を別に示す。

目的として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 無菌的処置
- b 薬剤の漏出防止
- c 咬合接触点の回復
- d 隣接面形態の付与

別冊 午後 No.8 写真

選択肢考察

答え a b



う蝕が歯肉縁下に及んでいる

- a、○ b 抜髄を行うにはラバーダム防湿が必須である。しかし、う蝕が歯肉縁下に及んでおり、ラバーダム防湿が困難であることが予想される。隔壁を形成しラバーダム防湿を行うことで無菌的処置および薬剤の漏出防止が達成できる。
- × c 咬合接触点の回復は隔壁形成の目的ではない。隔壁で咬合させると隔壁の破損や脱離のリスクがある。

- × d 隣接面形態の付与のために隔壁を形成するとは考えられない。

ポイント

< ラバーダム防湿の目的 >

- ・唾液の侵入防止による無菌的処置
- ・器具や薬液などの誤飲・誤嚥の防止
- ・術野の明示
- ・軟組織の損傷防止

(問題 41) 53歳の女性。上顎左側前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1,2は打診痛と根尖部歯肉の圧痛がある。診察の結果、外科的歯内療法を行うことになった。術中の口腔内写真(別冊午後No.9)を別に示す。

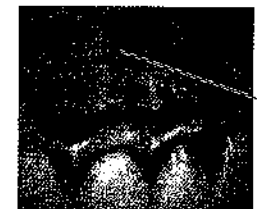
考えられる治療法はどれか。1つ選べ。

- a 根尖切除
- b 歯根切断
- c 歯根分離
- d 膿瘍切開

別冊 午後 No.9 写真

選択肢考察

答え a



根尖部が観察できる

- a 歯肉を剥離しており、骨欠損部から根尖部が観察できる。根尖切除を行っていると考えられる。
- × b、× c 歯根切断や歯根分離は大白歯に行う処置である。
- × d 歯肉を大きく剥離しており、膿瘍切開とは考えられない。

ポイント

< 根尖切除 >

- ・感染根管治療で治癒しない症例や根管治療ができない症例などに適用する。
- ・歯肉を剥離して根尖部を切除する術式であるが、根管充填が緊密でない場合には逆根管充填を行うとよい。

(問題 42) 歯周外科治療で組織付着療法はどれか。2つ選べ。

- a GTR法
- b 歯肉切除術
- c 歯周ポケット搔爬術
- d ウィドマン改良フラップ手術

選択肢考察

答え c d

- × a GTR法は歯周組織再生療法である。
- × b 歯肉切除術は切除療法である。
- c 歯周ポケット搔爬術は組織付着療法である。
- d ウィドマン改良フラップ手術は組織付着療法である。

ポイント

<歯周外科治療の分類>

組織付着療法	歯周ポケット掻爬術、新付着術、ウィドマン改良フラップ手術など
歯周組織再生療法	GTR法、エムドゲイン®ゲルを用いた再生療法、骨移植術など
切除療法	歯肉切除術、歯肉弁根尖側移動術、骨切除術、骨整形術
歯周形成手術	小帯切除術、歯肉弁側方移動術、遊離歯肉移植術など

(問題 43) 45歳の女性。上顎右側小臼歯部の動揺と咬合痛を主訴として来院した。診査の結果、慢性歯周炎と診断し、歯周基本治療後に歯周組織再生療法を行うことになった。エムドゲイン®ゲルを塗布操作中の口腔内写真(別冊午後No.10)を別に示す。

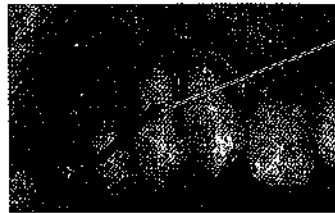
この処置で期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 新付着の獲得
- b 骨芽細胞の抑制
- c 上皮細胞の増殖
- d セメント芽細胞の分化誘導

別冊 午後 No.10 写真

選択肢考察

答え a d



エムドゲイン®ゲルを塗布している

- a エムドゲイン®ゲルを用いることで、歯周組織の再生が生じて新付着の獲得が期待できる。
- ×b、○d エムドゲイン®ゲルは歯根膜中の未分化細胞をセメント芽細胞や骨芽細胞に分化誘導すると考えられている。
- ×c エムドゲイン®ゲルは上皮細胞の増殖を抑制する。

ポイント

<エムドゲイン®ゲル>

- ・セメント芽細胞や骨芽細胞などを分化誘導することで歯周組織を再生させる。
- ・新付着の形成を阻害する上皮細胞の根尖側増殖を抑制する。

(問題 44) 下顎右側第一大臼歯の分岐部病変の患者にある処置を行った。術中の口腔内写真(別冊午後No.11)を別に示す。

①)に行ったのはどれか。1つ選べ。

- a トンネリング
- b トライセクション
- c ルートリセクション
- d ルートセパレーション

別冊 午後 No.11 写真

選択肢考察

答え d



①)の歯根が2つに分割されている

- ×a トンネリングは下顎大白歯の分岐部に歯間ブラシが通るように行う処置である。
- ×b トライセクションは上顎大白歯において保存不可能な歯根を歯冠とともに除去するものである。
- ×c ルートリセクションは保存不可能な歯根を切除するもので、上顎大白歯に行われる。
- d 口腔内写真を見ると歯根が分割されており、ルートセパレーションを行ったことがわかる。

ポイント

<ルートセパレーション>

下顎大白歯において分岐部で歯冠を切断し歯根を2つに分割するものである。Lindhe 3度の根分岐部病変などに用いられる。フラップ手術と併用することが多い。

(問題 45) 78歳の男性。下顎前歯部床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。15年前に義歯を装着した。6か月前から下顎前歯部の腫瘍に気づき、痛みを感じていたという。初診時の口腔内写真と義歯装着時の口腔内写真(別冊午後No.12)を別に示す。

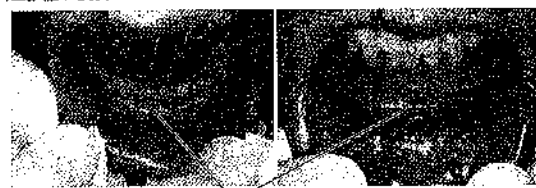
腫瘍について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 悪性腫瘍の1つである。
- b 前処置として粘膜調整を行う。
- c 唾液腺マッサージで改善する。
- d 義歯床縁の慢性刺激が原因で生じる。

別冊 午後 No.12 写真

選択肢考察

答え b d



義歯性線維症

- ×a 15年間という長期使用した義歯により生じている点、義歯床縁に一致した部位に腫瘍が生じている点から義歯性線維症と考えられ、悪性腫瘍ではない。
- b 顎堤粘膜に疼痛や潰瘍がある場合、新義歯製作にあたり、前処置として粘膜調整を行うことがある。
- ×c 唾液腺マッサージは口腔乾燥の予防とともに、口腔機能の向上の訓練法の1つであるが、義歯性線維症が改善することはない。
- d 義歯性線維症の原因は不適合な義歯床縁による慢性刺激である。

ポイント

<義歯性線維症>

- ①義歯床縁の慢性刺激が原因で生じる。
- ②義歯床縁の調整を行うが、義歯調整では消失しない。

- ③前歯部に多い。
- ④線維性結合組織からなり、限局性に生じる。
- ⑤悪性腫瘍ではない。
- ⑥義歯を新製する場合、前処置として粘膜調整を行うことがある。

(問題 46) 器材の写真(別冊午後No.13)を別に示す。

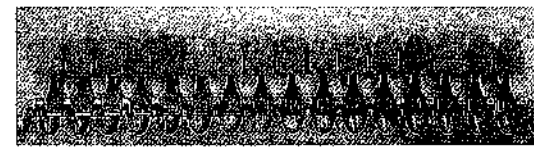
この器材を参考にして製作するのはどれか。2つ選べ。

- a 全部金属冠
- b 3/4 クラウン
- c CAD/CAM 冠
- d オールセラミッククラウン

別冊 午後 No.13 写真

選択肢考察

答え c d



シェードガイド

- ×a、×b 全部金属冠も3/4クラウンも金属のみで製作される補綴装置なので写真のシェードガイドを使用しない。
- c、○d CAD/CAM冠、オールセラミッククラウンなどの歯冠色を含む補綴装置を製作する場合、シェードガイドを使用する。

ポイント

<シェードガイドを使用するもの>

コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、ラミネートベニア修復、ポーセレンジャケット冠、オールセラミッククラウン、レジンジャケット冠、硬質レジンジャケット冠、CAD/CAM冠、陶材焼付金属冠、レジン前装冠、硬質レジン前装冠、義歯、ホワイトニングなど。

(問題 47) 30歳の女性。上顎右側中切歯と側切歯の補綴治療を希望して来院した。オールセラミッククラウンを製作することとした。支台歯形成後の口腔内写真(別冊午後No.14)を別に示す。

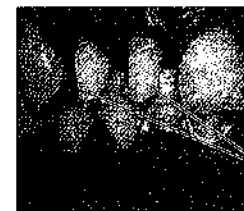
咬合採得時に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 寒天
- b シリコンラバー
- c パラフィンワックス
- d ユーティリティーワックス

別冊 午後 No.14 写真

選択肢考察

答え b c



支台歯

- ×a 寒天印象材は印象採得時に用いられる。
- b シリコンラバーは流動性に優れ、精度が高く、咬合採得用材料として優れている。
- c パラフィンワックスは操作性がよく、安価ということもあり、臨床では咬合採得用材料として頻りに用いられる。
- ×d ユーティリティーワックスは軟性があり、変形するため、咬合採得用材料としては使用できない。

ポイント

<歯科用ワックスの種類と用途>

種類	用途
①パラフィンワックス	義歯床の仮床、咬合堤、咬合採得、ろう義歯
②ユーティリティーワックス	トレーの修正、仮着、ボクシング、ブロックアウトなど
③バイトワックス	咬合採得
④インレーワックス	鑄造修復物(インレー、クラウンなど)の原型
⑤シートワックス	義歯製作時のリリース、鑄造床、連結装置の原型
⑥スティッキーワックス	技工室での仮着
⑦ボクシングワックス	石膏模型作製のボクシング
⑧レディキャストワックス	鑄造クラスプ、バーの原型、スプルー
⑨印象用ワックス	義歯作製の印象採得、咬合採得

(問題 48) インプラント治療における手術直後の口腔内写真(別冊午後No.15)を別に示す。

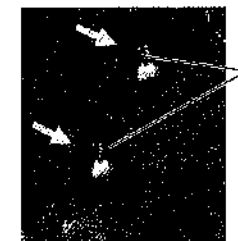
矢印の装置はどれか。1つ選べ。

- a 印象用コーピング
- b インプラントアナログ
- c アバットメントスクリュー
- d ヒーリングアバットメント

別冊 午後 No.15 写真

選択肢考察

答え d



ヒーリングアバットメント

- ×a 印象用コーピングとは、口腔内のインプラント体(あるいはアバットメント)の位置を印象採得するために用いるパーツである。
- ×b インプラントアナログ(インプラントレプリカ)とは、インプラントレベルでの上部構造製作時に作業用模型に埋め込まれる器具である。
- ×c アバットメントスクリューとは、アバットメントをインプラントに固定するためのスクリューである。
- d 矢印はヒーリングアバットメントである。軟組織の治療中に装着する暫時的なアバットメントで、歯肉の治療、形態付与を目的とする。

ポイント

<ヒーリングアパットメントの目的>

- ①歯肉の治療、②粘膜形態の誘導、③最終アパットメント選択の参考、④暫間上部構造の支台として利用

(問題 49) 58歳の女性。口腔内の白色病変を主訴に来院した。頬粘膜の発赤および白斑はピンセットで剥がすことができた。初診時の口腔内写真(別冊午後No.16)を別に示す。

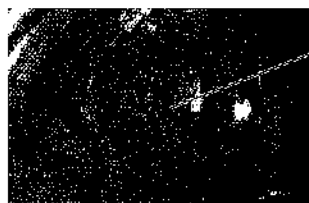
治療薬として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a アシクロビル
- b ミコナゾール
- c カルバマゼピン
- d アムホテリシンB

別冊 午後 No.16 写真

選択肢考察

答え b d



頬粘膜の発赤および白斑

- × a アシクロビルは単純疱疹、帯状疱疹の治療薬である。
- b、○ d 白斑はピンセットで剥がすことができたことからカンジダ症と考えられる。口腔カンジダ症は体力の低下した人や HIV 感染者に発症する。原因は真菌による感染なので、治療薬としてはミコナゾール(イミダゾール)やアムホテリシンB(ポリエン系)が有効である。
- × c カルバマゼピンは三叉神経痛の治療薬である。

ポイント

<口腔カンジダ症の治療薬>

- ミコナゾール(イミダゾール)、アムホテリシンB(ポリエン系)、ナイスタチンなど

(問題 50) 35歳の女性。右側舌下面の腫瘍を主訴として来院した。5年前から気付いたという。有茎状の腫瘍で疼痛はないという。病変部周囲に硬結や潰瘍は認められない。口腔内写真(別冊午後No.17)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌癌
- b 血管腫
- c 乳頭腫
- d 平滑舌

別冊 午後 No.17 写真

選択肢考察

答え c



有茎状の腫瘍

- × a 5年前から気付いており、疼痛がないこと、病変部周囲に硬結や潰瘍は認められないことから舌癌とは考えにくい。
- × b 腫瘍は柔軟で赤色あるいは青紫色を呈するが、圧迫すると病変部の退色が認められるのが血管腫である。血管組織からなる良性腫瘍で過誤腫も多い。舌、口唇、頬粘膜などにみられる。
- c 乳頭腫は写真のように乳頭状、有茎状の腫瘍を呈し、粘膜色あるいは白色の上皮性良性腫瘍である。舌、口唇、頬粘膜、歯肉にみられる。
- × d 平滑舌は灼熱感を伴い、鉄欠乏性貧血や悪性貧血で見られることが多い。

ポイント

<乳頭腫>

- ・上皮性良性腫瘍である。
- ・舌、口唇、頬粘膜、歯肉などにみられる有茎状増殖物である。
- ・無痛性腫瘍で、色は粘膜色から白色である。

(問題 51) 25歳の女性。下顎左側智歯部の歯肉腫脹による自発痛を主訴として来院した。診査の結果、消炎後下顎左側智歯を抜歯することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.18A)とエックス線画像(別冊午後No.18B)を別に示す。

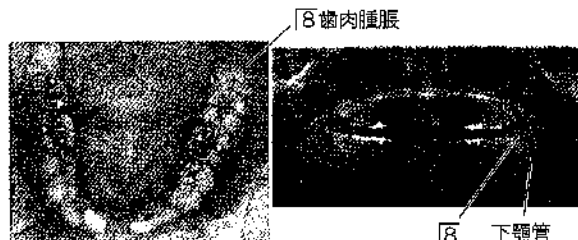
智歯抜去後に起こり得る局所的偶発症はどれか。2つ選べ。

- a 発音障害
- b ドライソケット
- c 局所麻酔薬中毒
- d 下唇の知覚麻痺

別冊 午後 No.18A,B 写真

選択肢考察

答え b d



歯肉腫脹

下顎管

- × a 抜歯後に発音障害が起こるとは考えにくい。
- b 局所麻酔薬の投与量が多いと、局所麻酔薬に添加されている血管収縮薬の影響で抜歯窩に血餅が形成されず、ドライソケットが生じることがある。
- × c 局所麻酔薬中毒は全身の偶発症の1つである。
- d 下唇の知覚麻痺は下顎埋伏智歯の抜去時に下歯槽神経を損傷した場合に生じる。

ポイント

<下顎埋伏智歯抜歯後の偶発症>

- ①下歯槽神経の損傷→下唇の知覚異常、麻痺
- ②開口障害

(問題 52) 下顎骨の写真(別冊午後No.19)を別に示す。軟骨性成長を示す部位はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.19 写真

選択肢考察

答え a



- a、× b、× c、× d 下顎骨で軟骨性成長を示すのは関節突起の先端にある下顎頭である。したがって、軟骨性成長を示す部位は①である。

ポイント

<鼻上顎複合体・下顎骨の成長>

鼻上顎複合体	前頭上顎縫合、側頭頰骨縫合、頰骨上顎縫合、翼突口蓋縫合の成長により頭蓋に対して前下方に成長
下顎骨	下顎頭の軟骨性成長により頭蓋に対して前下方に成長

(問題 53) 狭窄歯列弓の原因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 吸唇癖
- b 口呼吸
- c 歯ぎしり
- d 母指吸引癖

選択肢考察

答え b d

- × a 吸唇癖では下唇を吸うものが多い。上顎前歯の唇側傾斜や開咬などがみられる。
- b 口呼吸により上顎歯列弓の狭窄が生じる。
- × c 歯ぎしりでは咬耗などがみられる。
- d 母指吸引癖では歯列弓の狭窄や上顎前歯の唇側傾斜が生じる。

ポイント

<狭窄歯列弓>

- ・臼歯間幅径が狭窄した歯列弓である。
- ・口呼吸による低位舌や母指吸引癖による頰筋の異常収縮などが原因で生じやすい。

(問題 54) 矯正装置の写真(別冊午後No.20)を別に示す。

この装置はどれか。1つ選べ。

- a 咬合挙上板
- b アクチバートル
- c パイオネーター
- d フレンケル装置

別冊 午後 No.20 写真

選択肢考察

答え d



フレンケル装置

- × a 咬合挙上板は前歯部に下顎前歯部が接触する平坦な面が存在する。
- × b アクチバートルは顎内誘導線や顎間誘導線などが存在する。
- × c パイオネーターは唇側線や舌側線、コフィンワイヤーなどが存在する。
- d 写真の装置はバッカルシールドやラビアルパッドなどが存在するためフレンケル装置である。

ポイント

<フレンケル装置>

- ・機能的矯正装置の1つであり、ファンクションレギュレーターともいう。
- ・口唇や頬など口腔周囲の異常な筋圧を排除することで不正咬合を改善する装置である。

(問題 55) 19歳の女性。前歯で咬みにくいことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.21)を別に示す。

口腔内の特徴はどれか。2つ選べ。

- a スピーの彎曲が平坦である。
- b 下顎前歯は舌側傾斜している。
- c 大臼歯関係は Angle III 級である。
- d オーバージェットはプラスである。

別冊 午後 No.21 写真

選択肢考察

答え b c



反対咬合

- × a 写真を見るとスピーの彎曲が強い。
- b 写真を見ると下顎前歯は舌側傾斜している。
- c 上下顎の第一大臼歯をみると、大臼歯関係は Angle III 級である。
- × d 反対咬合であり、オーバージェットはマイナスである。

ポイント

<骨格性下顎前突>

- ・オーバージェットはマイナスである。
- ・上顎前歯の唇側傾斜や下顎前歯の舌側傾斜がみられる。

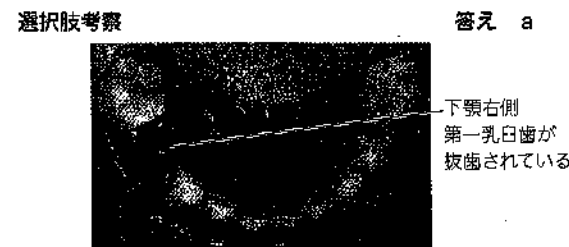
**(問題 56)** 目標とする行動を獲得できるようにスモールステップで少しずつ強化する行動変容法はどれか。1つ選べ。  
 a カウント法  
 b モデリング法  
 c シェイピング法  
 d タイムアウト法

**選択肢考察** **答え c**  
 × a カウント法は、例えば 10 数える間だけ器具を使用すると約束し、数を数えながら器具を使用する方法である。  
 × b モデリング法は、手本となる人などを観察させて模倣学習させる方法である。  
 ○ c 目標とする行動を獲得できるようにスモールステップで少しずつ強化する行動変容法はシェイピング法である。  
 × d タイムアウト法は不適切な行動をしたときに一定時間だけ隔離する方法である。

**ポイント**  
 <行動変容法>  
 ・TSD 法  
 ・カウント法  
 ・モデリング法  
 ・タイムアウト法  
 ・シェイピング法  
 ・オペラント条件付け  
 ・トークンエコノミー法  
 ・ハンドオーバーマウス法

**(問題 57)** 5歳の男児。う蝕により歯の保存が困難であったため抜歯を行って保険装置を製作することになった。抜歯後の口腔内写真(別冊午後No.22)を別に示す。考えられる保険装置はどれか。1つ選べ。  
 a バンドループ  
 b リンガルアーチ  
 c クラウンディスタルシュー  
 d Nance のホールディングアーチ

別冊 午後 No.22 写真



○ a 第一乳臼歯の欠損であり、健全な両隣在歯が残存しているため、バンドループの装着が考えられる。  
 × b リンガルアーチは第一大臼歯と永久4切歯の萌出後に用いる。  
 × c クラウンディスタルシューは第二乳臼歯の早期喪失に用いる。  
 × d Nance のホールディングアーチは上顎に用いる。

**ポイント**  
 <ループ型保険装置>  
 ・クラウンループとバンドループがある。  
 ・片側性の第一乳臼歯の欠損に第二乳臼歯に装着する。クラウンループは支台歯形成するため、う蝕がない場合などにはバンドループを考慮する。  
 ・なお、第一大臼歯萌出後の第二乳臼歯欠損症例(第一乳臼歯残存)にも用いることもある。

**(問題 58)** 高齢者の脱水の原因でサルコペニアに起因するのはどれか。1つ選べ。  
 a 体液量の減少  
 b 腎機能の低下  
 c 利尿薬の使用  
 d 渴中枢の反応性の低下

**選択肢考察** **答え a**  
 ○ a 骨格筋は体内の水を貯蓄する機能があるため、サルコペニアにより骨格筋量が減少すると、高齢者は脱水に陥りやすい。  
 × b 腎機能の低下が原因で尿濃縮力が低下することで脱水に陥ることはあるが、サルコペニアに起因するものではない。  
 × c 利尿薬の使用により脱水に陥ることはあるが、サルコペニアに起因するものではない。  
 × d 渴中枢の反応性の低下により脱水に陥ることはあるが、サルコペニアに起因するものではない。

**ポイント**  
 <高齢者が脱水に陥りやすい理由>  
 ・体液量の減少  
 ・腎機能の低下  
 ・渴中枢の反応性の低下  
 ・体内の水分貯蔵場所の減少  
 ・基礎代謝量の減少  
 ・水分摂取量の減少  
 ・水分摂取の制限  
 ・熱、多汗、下痢、嘔吐  
 ・利尿薬の使用

**(問題 59)** 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)の判定基準において、「屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出せず、外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」とされるランクはどれか。1つ選べ。  
 a J1  
 b J2  
 c A1  
 d A2

**選択肢考察** **答え d**  
 × a、× b ランク J は「何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する」状態で、J1 は「交通機関などを利用して外出する」、J2 は「隣近所へなら外出する」とされる。  
 × c、○ d ランク A は「屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない」状態で、A1 は「介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する」、A2 は「外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」とされる。

**ポイント**  
 <障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)の判定基準>

生活自立	ランク J	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関などを利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうたない

**(問題 60)** 構音障害の原因となるのはどれか。1つ選べ。  
 a 気道閉塞  
 b 喘息発作  
 c 声門閉鎖不全  
 d 鼻咽腔閉鎖機能不全

**選択肢考察** **答え d**  
 × a 気道閉塞は呼吸障害の原因である。  
 × b 喘息発作は呼吸や発声に影響を及ぼすが、構音障害の原因とはならない。  
 × c 声門閉鎖不全は発声障害の原因である。  
 ○ d 鼻咽腔閉鎖機能不全は軟口蓋の挙上不全などにより開鼻声がみられる状態であり、構音障害の原因となる。

**ポイント**  
 <構音>  
 発声は呼吸が声帯を振動させて喉頭原音を発生させることで、その音を口腔や咽頭などの声道で共鳴させて意味のある音に加工することを構音という。

**(問題 61)** Alzheimer型認知症と比較した血管性認知症の特徴はどれか。1つ選べ。  
 a 緩徐に進行する。  
 b 合併症を併発しやすい。  
 c Lewy 小体の出現がみられる。  
 d 治療によって機能の改善が期待できる。

**選択肢考察** **答え b**  
 × a Alzheimer 型認知症は緩徐に進行するが、血管性認知症は突然発症する。  
 ○ b 血管性認知症では片麻痺などの合併症を併発しやすい。  
 × c Alzheimer 型認知症も血管性認知症も Lewy 小体の出現はみられない。Lewy 小体の出現がみられるのは Lewy 小体型認知症である。  
 × d Alzheimer 型認知症も血管性認知症も治療によって機能の改善が期待できない。

**ポイント**  
 <血管性認知症の特徴>  
 Alzheimer 型認知症は嚥下の先行期の障害が多いが、血管性認知症は嚥下の咽頭期の障害が多い。

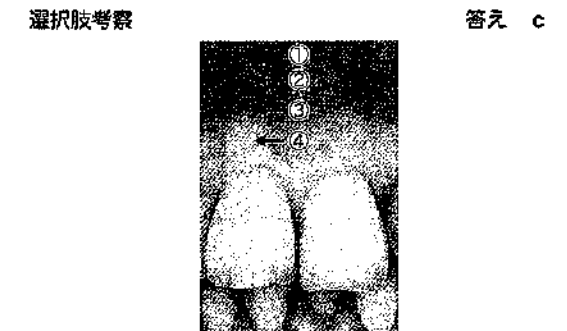
**(問題 62)** 小児の精神発達が結果に影響するのはどれか。2つ選べ。  
 a 打診  
 b 透照診  
 c 歯髄電気診  
 d 動揺度診査

**選択肢考察** **答え a c**  
 ○ a、○ c 打診や歯髄電気診は小児患者の反応をみながら行うため、小児の発育状態に影響を受けやすい。  
 × b、× d これらの診査は小児患者の反応が関係ないため、小児の発育状態に影響を受けない。

**ポイント**  
 <主観的情報と客観的情報>  
 主観的情報は患者の影響を受けやすく、客観的情報は患者の影響を受けにくい。

**(問題 63)** □腔内写真(別冊午後No.23)を示す。歯肉歯槽粘膜境はどれか。1つ選べ。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.23 写真



× a、× b、○ c、× d 歯肉歯槽粘膜境は歯肉と歯槽粘膜の境界である。歯肉はピンク色を呈しており、歯槽粘膜は鮮紅色を呈しているため、歯肉歯槽粘膜境は③である。

**ポイント**  
 <歯肉歯槽粘膜境>  
 角化上皮がみられる歯肉と表面が非角化上皮で覆われる歯槽粘膜の境界であり、MGJともいう。生理的な状態で歯肉歯槽粘膜境が歯冠側に近い場合には角化歯肉が狭い状態となる。

(問題 64) 歯面の付着物・沈着物において洗口で除去できるのはどれか。2つ選べ。

- a ステイン
- b プラーク
- c 食物残渣
- d マテリアアルバ

選択肢考察 答え c d

- × a ステインは外来性の色素であり、洗口では除去できない。機械的に除去できる。
- × b プラークは歯面に強く付着しており、洗口では除去できない。機械的に除去できる。
- c 食物残渣は食事中もしくは食後に付着するもので、洗口で除去できる。
- d マテリアアルバは剥離上皮や口腔細菌などを含んだ軟らかい物質で、強い洗口で除去できる。

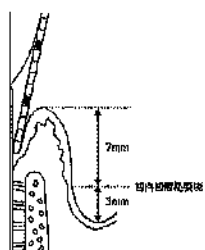
ポイント

<歯面の付着物・沈着物>

- ・洗口で除去できるもの  
食物残渣、マテリアアルバ
- ・洗口で除去できないもの  
ペリクル、ステイン、プラーク、歯石

(問題 65) ポケットプロービング時の模式図を示す。プローブの目盛りは1mmである。臨床的付着歯肉幅の値はどれか。1つ選べ。

- a 3mm
- b 4mm
- c 6mm
- d 7mm



選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d 臨床的付着歯肉幅は角化歯肉幅からプロービング深さを減じた値である。角化歯肉幅は図から7mm、プロービング深さは4mmであるため、臨床的付着歯肉幅は7-4=3mmとなる。

ポイント

<臨床的付着歯肉幅>

- 付着歯肉とは遊離歯肉溝またはポケット底部から歯肉歯槽粘膜境までの歯肉を指し、臨床的付着歯肉幅は角化歯肉幅からプロービング深さを減じて算出する。
- 角化歯肉幅は歯肉辺縁から歯肉歯槽粘膜境までの距離である。

(問題 66) プラークリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

- a 歯列不正
- b 舌突出癖
- c プラキシズム
- d エナメルプロジェクション

選択肢考察 答え a d

- a 歯列不正はプラークリテンションファクターである。
- × b 舌突出癖は外傷性因子である。
- × c プラキシズムは外傷性因子である。
- d エナメルプロジェクション(エナメル突起)はプラークリテンションファクターである。

ポイント

<プラークリテンションファクター>

- ・歯列不正
- ・歯の形態異常
- ・不適合修復物
- ・歯周ポケット など

(問題 67) 超音波スケーラーによるスクーリングの基本的操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯面への側方圧を40~80gとする。
- b 垂直方向のストロークのみで用いる。
- c 歯面に対してチップを70度に当てる。
- d チップの側面先端1~2mmの部分を歯面に沿わせるように動かす。

選択肢考察 答え a d

- a 超音波スケーラーによるスクーリングでは、歯面への側方圧を40~80gとする。
- × b 超音波スケーラーによるスクーリング操作は、垂直、斜め、水平の3方向のストロークを使い分ける。
- × c 超音波スケーラーによるスクーリングでは、歯面に対してチップを15度前後に当てる。
- d 超音波スケーラーによるスクーリングでは、チップの側面先端1~2mmの部分を歯面に沿わせるように動かす。

ポイント

<超音波スケーラー>

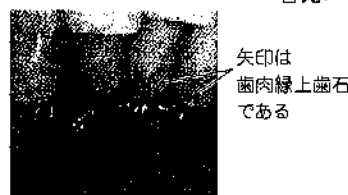
- ・毎秒25,000~40,000回程度振動するので、手用スケーラーと比較して短時間で効率よくスクーリングできる。
- ・キャビテーション効果により、細菌やバイオフィルムなどを破壊するとされている。
- ・振動による疼痛が大きいため、知覚過敏歯などでは注意して用いる。また修復物の損傷にも注意する。

(問題 68) 口腔内写真(別冊午後No.24)を別に示す。矢印で示す付着物について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 好発部位はない。
- b 表面は滑沢である。
- c 形成に唾液が関与する。
- d 主成分はリン酸カルシウムである。

別冊 午後 No.24 写真

選択肢考察 答え c d



矢印は歯肉縁上歯石である

- × a 歯肉縁上歯石は唾液腺開口部付近の歯面に沈着しやすい。
- × b 歯石の表面は粗造であり、プラークが付着しやすい。
- c 歯肉縁上歯石はプラークが唾液由来成分で石灰化したものである。
- d 歯石の主成分はリン酸カルシウムである。

ポイント

<歯石>

歯肉縁上歯石	唾液成分由来で石灰化しており白色~黄白色を呈する。
歯肉縁下歯石	血液成分成分で石灰化しており褐色~暗黒色を呈する。

(問題 69) 50歳の男性。歯の清掃を希望して来院した。患者は心臓ペースメーカーを装着している。初診時の口腔内写真(別冊午後No.25)を別に示す。

使用するのはどれか。2つ選べ。

- a エアスケーラー
- b 超音波スケーラー
- c ダイヤモンドポイント
- d シックルタイプスケーラー

別冊 午後 No.25 写真

選択肢考察

答え a d



歯石やステインが沈着している

- a、× b、○ d 口腔内写真を見ると、歯石およびステインの沈着がみられる。心臓ペースメーカーを装着しているため、超音波スケーラーは使用せず、エアスケーラーやシッケルタイプキュレットなどを用いてスクーリングや歯面清掃を行うとよい。
- × c ダイヤモンドポイントは歯の切削に用いる。

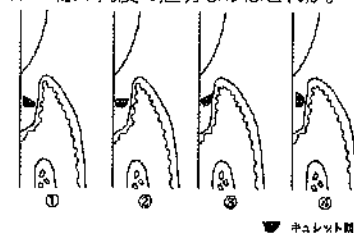
ポイント

<心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれのある機器>

- ・電気メス
- ・電気歯髄診断器
- ・超音波スケーラー

(問題 70) グレーシータイプキュレットと歯面の図を示す。歯肉縁下へ挿入する際の角度で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



キュレット挿入

選択肢考察

答え d

- × a、× b ①や②はフェースと歯面のなす角度が90度以上となっている。
- × c ③の角度はスクーリング時の角度である。
- d ④の角度はグレーシータイプキュレットを歯肉縁下へ挿入する際の角度として適切である。

ポイント

<グレーシータイプキュレット>

- ・刃部断面が半円状で片側のみにカッティングエッジがついている。
- ・挿入する際は、歯肉を傷つけないように歯面と刃部のなす角度を0度とするのが理想的である。

(問題 71) 60歳の男性。特定健康診査を受診した。結果の一部を図に示す。

歯周病の環境因子となるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

- ① 服薬歴：降圧薬(β遮断薬)
- ② 喫煙習慣：20本/日
- ③ BMI：24
- ④ HbA1c：8.0%

選択肢考察 答え b

- × a ①を見ると、降圧薬を服薬しているが、β遮断薬は歯周病のリスク因子ではない。
- b ②を見ると、1日に20本の喫煙習慣がある。喫煙は歯周病の環境因子である。
- × c ③を見ると、BMIが24であり普通体重である。歯周病の環境因子とはならない。
- × d ④を見ると、HbA1cが8.0%であり、糖尿病のコントロールが不良であると考えられる。糖尿病は全身疾患であり、歯周病の環境因子ではなく宿主因子である。

ポイント

<歯周病の環境因子>

- ・喫煙
- ・肥満
- ・薬物
- ・ストレス
- ・栄養障害
- ・社会経済的環境

(問題 72) PMTCに用いるのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕染色液
- b エバチップ
- c スケーラー
- d フッ化物配合ペースト

選択肢考察 答え b d

- × a う蝕染色液はう蝕象牙質を染色するものである。PMTCには使用しない。
- b エバチップは歯間隣接面のPMTCに用いる。
- × c スケーラーはスクーリングに用いるものである。PMTCには使用しない。
- d PMTCではフッ化物配合ペーストをシリンジで歯間部に塗布して行う。



- × b 乳酸アルミニウムは知覚過敏を緩和する歯磨剤の薬効成分である。
- × d モノフルオロリン酸ナトリウムは歯の再石灰化を促進する歯磨剤の薬効成分である。

**ポイント**  
 <歯周疾患予防のための歯磨剤の薬効成分>

殺菌	塩酸クロルヘキシジン、トリクロサン、塩化セチルピリジニウム、塩化ベンザルコニウム
消炎	グリチルリチン酸類、イプシロンアミノカプロン酸
出血抑制	トラネキサム酸
粘膜の収斂	塩化ナトリウム

- (問題 81)** 改訂BDR指標で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 日常生活動作を評価する。
  - b 要介護高齢者が対象である。
  - c Dは義歯清掃の評価項目である。
  - d 義歯の清掃自立状況を評価する。

**選択肢考察** **答え b d**  
 × a 改訂 BDR 指標では日常生活動作 (ADL) は評価しない。  
 ○ b 改訂 BDR 指標の対象者は高齢者、とくに要介護高齢者である。  
 × c Dは「義歯着脱」の評価項目である。  
 ○ d 改訂 BDR 指標では口腔と義歯の清掃自立状況を評価する。

**ポイント**  
 <口腔清掃の自立度 (BDR) の評価>  
 口腔清掃の自立度の評価には、歯磨き (Brushing)、義歯装着 (Denture wearing)、うがい (mouth rinsing) の3項目を自立、一部介助、全介助の3段階で評価するBDR指標がある。

- (問題 82)** 3歳の男児。多数歯う蝕を主訴として来院した。保育園の先生が心配して受診させたという。初診時の口腔内写真 (別冊午後No.28) を別に示す。原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。
- a 口呼吸
  - b ネグレクト
  - c 就寝前の飲食習慣
  - d 指しゃぶりの継続

別冊 午後 No.28 写真

**選択肢考察** **答え b c**



上下顎に多数のう蝕がみられる

- × a 口呼吸により多数歯う蝕がみられるとは考えにくい。
- b ネグレクトにより多数歯う蝕がみられることがあるため、原因の1つとして考えられる。

- c 多数歯う蝕がみられることから、就寝前の飲食習慣が原因の1つと考えられる。
- × d 指しゃぶりを継続しているからといって、多数歯う蝕がみられるとは考えにくい。

**ポイント**  
 <多数歯う蝕の原因>

- ・口腔清掃不良
- ・就寝前の飲食習慣
- ・哺乳びんの長期使用
- ・スポーツ飲料などの頻回摂取
- ・ネグレクト (育児放棄)

- (問題 83)** 口臭の官能検査で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 検査者1名で判定する。
  - b 1回の検査で診断する。
  - c スコア1は認知閾値である。
  - d スクリーンを挟んで患者と向かい合う。

**選択肢考察** **答え d**  
 × a 口臭の官能検査は複数の検査者で判定する。  
 × b 口臭の官能検査は複数回の検査で診断する。  
 × c 口臭の官能検査でスコア1は検知閾値であり、認知閾値はスコア2以上である。  
 ○ d 口臭の官能検査は先入観がないように、スクリーンを挟んで判定者と患者は向かい合う。

**ポイント**  
 <口臭の官能検査>  
 ・チューブを埋め込んだスクリーンを挟んで判定者と患者が向かい合う。  
 ・患者はチューブをくわえ呼吸を吐き出す。  
 ・判定者は患者の姿をみずにチューブに鼻孔をあて、そこから出てくる呼吸を嗅ぎ口臭の有無を判定する。

- (問題 84)** フッ化物によるう蝕予防機序でブラークに対する作用はどれか。1つ選べ。
- a 耐酸性向上
  - b 細菌の酵素作用の抑制
  - c フルオロオパタイトの生成
  - d 不溶性グルカン合成の抑制

**選択肢考察** **答え b**  
 × a 耐酸性向上はフッ化物による歯質に対する作用である。  
 ○ b 細菌の酵素作用の抑制はブラークに対するう蝕予防機序であり、フッ化物は解糖系酵素のエノラーゼを抑制することで、細菌のエネルギー産生を阻害する。  
 × c フルオロオパタイトの生成はフッ化物による歯質に対する作用である。  
 × d 不溶性グルカン合成の抑制はブラークに対するう蝕予防機序となるが、フッ化物は不溶性グルカンの合成酵素であるグルコシルトランスフェラーゼは阻害できない。

**ポイント**  
 <フッ化物のう蝕予防機序>  
 ・フルオロオパタイトの生成  
 ・結晶性の向上

- ・耐酸性の向上
- ・再石灰化の促進
- ・フッ化物イオンの徐放
- ・細菌の酵素作用の抑制

- (問題 85)** 食育基本法に規定されているのはどれか。1つ選べ。
- a 食事摂取基準
  - b 食料自給率の向上
  - c 食事バランスガイド
  - d 特定保健用食品の許可

**選択肢考察** **答え b**  
 × a、× d 食事摂取基準や特定保健用食品の許可は「健康増進法」に規定されている。  
 ○ b 食料自給率の向上は「食育基本法」で規定されている。  
 × c 食事バランスガイドは厚生労働省と農林水産省の共同で策定されている。

**ポイント**  
 <第3次食育推進基本計画>  
 ・若い世代を中心とした食育の推進  
 ・多様な暮らしに対応した食育の推進  
 ・健康寿命の延伸につながる食育の推進  
 ・食の循環や環境を意識した食育の推進  
 ・食文化の継承に向けた食育の推進

- (問題 86)** 食事バランスガイドで正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 生活習慣病の予防が目的である。
  - b コマのヒモは嗜好飲料を示している。
  - c 食事1回分の摂取量が示されている。
  - d 摂取量の単位はグラム (g) である。

**選択肢考察** **答え a b**  
 ○ a 生活習慣病予防の観点から、30～60歳代の男性の肥満者、単身者、子育てを担う世代に焦点を絞って活用方法が示されている。  
 ○ b コマのヒモは菓子や嗜好飲料を示している。  
 × c 料理区分ごとに、1日分の料理の組合せとおおよその量が示されている。  
 × d 摂取量の単位はサービング (Sv) である。

**ポイント**  
 <食生活指針>  
 ・食事を楽しみましょう。  
 ・1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。  
 ・主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。  
 ・ごはんなどの穀類をしっかり。  
 ・野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組合せて。  
 ・食塩や脂肪は控えめに。  
 ・適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を。  
 ・食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も。  
 ・調理や保存を上手にして無駄な廃棄を少なく。  
 ・自分の食生活を見直してみましょう。

- (問題 87)** メタボリックシンドロームの診断基準項目はどれか。1つ選べ。
- a 中性脂肪
  - b 飽和脂肪酸
  - c 総コレステロール
  - d LDLコレステロール

**選択肢考察** **答え a**  
 ○ a 中性脂肪はメタボリックシンドロームの診断基準項目である。  
 × b 飽和脂肪酸はメタボリックシンドロームの診断基準項目ではない。  
 × c、× d 総コレステロールやLDLコレステロールはメタボリックシンドロームの診断基準項目ではない。HDLコレステロールはメタボリックシンドロームの診断基準項目である。

**ポイント**  
 <メタボリックシンドロームの診断基準項目>  
 ・空腹時血糖  
 ・中性脂肪  
 ・HDLコレステロール  
 ・収縮期血圧  
 ・拡張期血圧

- (問題 88)** 生後7か月の幼児への食事指導で適切なのはどれか。2つ選べ。
- a 穀類は軟飯を与える。
  - b 1日3回食を定着させる。
  - c 食品の種類を増やしていく。
  - d スプーンの使用を開始させる。

**選択肢考察** **答え c d**  
 × a 離乳中期 (生後7～8か月頃) では穀類は全がゆを与え、軟飯は離乳後期から与える。  
 × b 離乳中期では1日2回食を定着させ、離乳後期から1日3回食を定着させる。  
 ○ c 離乳中期からいろいろな味や下ざわりを楽しめるように食品の種類を増やしていく。  
 ○ d 離乳中期からスプーンやコップの使用を開始させる。

**ポイント**  
 <離乳中期>  
 離乳中期は生後7～8か月頃であり、乳歯が萌出開始することから、数回モグモグして舌で押しつぶし咀嚼が可能となる。

- (問題 89)** 摂食嚥下リハビリテーションに関わる職種とその役割の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 管理栄養士 —— 食事の介助
  - b 言語聴覚士 —— 摂食嚥下機能の診断
  - c 作業療法士 —— 食器具の選定
  - d 理学療法士 —— 自助具の指導

**選択肢考察** **答え c**  
 × a 管理栄養士は栄養管理を行うが、食事の介助は行わない。

- × b 言語聴覚士は摂食嚥下機能訓練を行うが、診断は行わない。
- c 作業療法士は食器の選定を行う。
- × d 理学療法士は物理的手段によるリハビリテーションを行う。自助具の指導を行うのは作業療法士である。

ポイント

<作業療法士>

身体または精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力または社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作そのほかの作業を行わせることを業とする者をいう。

(問題 90) 診療ガイドラインで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a チーム医療につながる。
- b 医療事故防止対策である。
- c 先進医療を推進している。
- d 治療方針立案の参考となる。

選択肢考察 答え d

- × a 診療ガイドラインを作成してもチーム医療にはつながらない。
- × b 診療ガイドラインは医療事故防止対策ではない。
- × c 診療ガイドラインは最新版でなくてはならないが、先進医療を推進しているわけではない。
- d 診療ガイドラインは治療方針立案の参考となる。

ポイント

<診療ガイドライン>

- ・「医療者と患者が特定の臨床状況で適切な判断を下せるよう支援する目的で、体系的な方法に則って作成された文書」である。
- ・診療上の指針であり、患者の特性や価値観によっては異なる方法を選択することもある。
- ・EBM の手法に基づき、エビデンスのレベル別に系統的に検索・評価されたものである。
- ・診療ガイドラインは最新版でなくてはならない。

(問題 91) 水平位診療で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎の咬合平面を床面に対して垂直にする。
- b 患者と无影灯との距離を 30～50cm にする。
- c 患者の鼻と膝とのラインを床面と平行にする。
- d 患者の口と術者との明視距離を 50～60cm にする。

選択肢考察 答え a c

- a 上顎の咬合平面を床面に対して垂直にする。
- × b 患者と无影灯との距離は 60～80cm にする。
- c 患者の鼻と膝とのラインを床面と平行にする。knee-nose-position ともいう。
- × d 患者の口と術者との明視距離を 25～30cm にする。

ポイント

<水平診療の術者と患者との関係>

- ①ツールは術者よりも 10～15cm 高くする。
- ②補助者は 3 時の位置が基本である。
- ③上顎咬合平面を床に垂直にする。
- ④患者の鼻と膝とを同じ高さにする (knee-nose-position)。

- ⑤患者の口と術者との明視距離を 25～30cm にする。
- ⑥患者と无影灯との距離は 60～80cm にする。

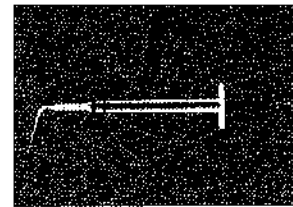
(問題 92) 器材の写真 (別冊午後 No.29) を別に示す。この器材の感染予防対策で有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 乾熱滅菌
- b 薬液消毒
- c EOG 滅菌
- d 紫外線消毒

別冊 午後 No.29 写真

選択肢考察

答え c



根管洗浄用プラスチックシリンジ

- × a 熱に弱いプラスチック製品に対して乾熱滅菌を行うことはできない。
- × b 薬液消毒よりも滅菌のほうが感染予防対策としては有効である。
- c 熱処理に耐えられない根管洗浄用プラスチックシリンジは、EOG 滅菌、低温プラズマ滅菌を行う。
- × d 紫外線消毒よりも滅菌のほうが感染予防対策としては有効である。

ポイント

<エチレンオキシドガス (EOG) 滅菌>

条件	40～60℃、2～8時間、湿度25～60%
長所	ガッタパーチャポイント、プラスチック・ゴム製品の滅菌が可能
短所	毒性が強い。長時間必要。換気が必要。

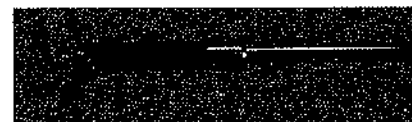
(問題 93) 器具の写真 (別冊午後 No.30) を別に示す。これと同時に使用するものはどれか。1つ選べ。

- a 水硬性仮封材
- b レジン系仮封材
- c テンポラリーストップピング
- d 酸化亜鉛ユーージノールセメント

別冊 午後 No.30 写真

選択肢考察

答え c



ストップピングキャリア

- × a、× b、○ c、× d 写真はストップピングキャリアである。これにテンポラリーストップピングを挿入し、温めて使用する。

ポイント

<仮封材>

- ①酸化亜鉛ユーージノールセメント
- ②仮封用ポリカルボキシレートセメント
- ③テンポラリーストップピング
- ④レジン系仮封材
- ⑤サンダラック綿球
- ⑥水硬性仮封材

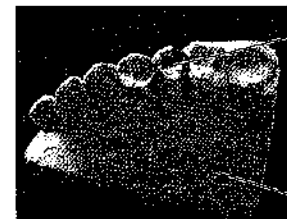
(問題 94) 修復物の写真 (別冊午後 No.31) を別に示す。調整、合着時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 金冠ばさみ
- b デンタルフロス
- c コンタクトゲージ
- d ダイヤモンドポイント

別冊 午後 No.31 写真

選択肢考察

答え b c



2級メタルインレー

- × a 写真は 2 級メタルインレーである。金冠ばさみは既製乳歯金属冠の調整に用いる。
- b デンタルフロスで隣在歯との接触状態を診査し、セメント硬化後の余剰セメントの除去にも使用する。
- c コンタクトゲージで隣在歯との接触状態を診査する。
- × d ダイヤモンドポイントは高洞形成時に準備する。

ポイント

<2 級メタルインレーの合着時に準備器具・器材>

- ①咬合紙、咬合紙ホルダー
- ②コンタクトゲージ
- ③カーボラダムポイント
- ④シリコンポイント
- ⑤合着用セメント
- ⑥練板
- ⑦スパチュラ
- ⑧オートマチックマレット
- ⑨インレーセッター
- ⑩デンタルフロス
- ⑪エキスカベーター
- ⑫クラウリムーバー
- ⑬鹿皮ホイール
- ⑭ルーヂュ
- ⑮ペーパーコーン

(問題 95) ウォーキングブリーチ法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ラバーダム防湿を行う。
- b カスタムトレーを作製する。
- c 30%過酸化水素水を用いる。
- d 10～20%過酸化尿素を用いる。

選択肢考察

答え a c

- a 歯肉を保護するためにラバーダム防湿を行う。
- × b カスタムトレーを作製するのはホームブリーチ法である。
- c 漂白剤には 30%過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを用いる。

- × d 10～20%過酸化尿素を用いるのはホームブリーチ法である。

ポイント

<ウォーキングブリーチ法の術式>

- ①エックス線画像にて根管充填の状態を確認 (根管充填不良の場合は感染根管治療を開始する)
- ②ラバーダム防湿
- ③歯冠部の根管充填材の除去、セメント裏層
- ④30% 過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムの練和、貼付
- ⑤綿球の挿入、セメント仮封
- ⑥1 週間後に同様の操作を行う。(これを 3～4 回繰り返す)

(問題 96) 歯周外科で用いる器具の写真 (別冊午後 No.32) を示す。

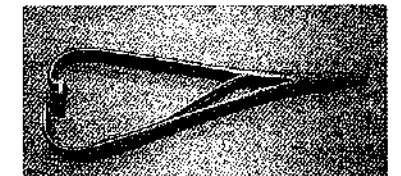
この器具を使用するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉切除術
- b 遊離歯肉移植術
- c 歯周ポケット搔爬術
- d 歯肉剥離搔爬術 (フラップ手術)

別冊 午後 No.32 写真

選択肢考察

答え b d



持針器

- × a 写真は縫合に用いる持針器である。歯肉切除術は仮性ポケットで歯槽骨吸収がない場合に行う。骨縁上ポケットの軟組織壁を切除して、仮性ポケットを除去する。ポケットマーカ、カーランドメス、歯周バックは必要であるが、骨膜剥離子、持針器、縫合糸は必要ない。
- b 遊離歯肉移植術では、骨膜剥離子、持針器、縫合糸、歯周バックなどが用いられる。
- × c 歯周ポケット搔爬術はキュレットスケーラーで歯周ポケット内の肉芽組織を搔爬、除去し、再付着を図る。メスは使用しないので、縫合はしない。したがって、持針器、縫合糸は必要ない。
- d フラップ手術では、骨膜剥離子、持針器、縫合糸、歯周バックなどが用いられる。

ポイント

<持針器を使用する歯周外科手術>

- 新付着術 (ENAP)、歯肉剥離搔爬術 (フラップ手術)、歯周組織再生誘導法 (GTR 法)、遊離歯肉移植術など。

(問題 97) 36歳の女性。下顎第一小臼歯のCAD/CAM冠の連合印象採得を行うことになった。印象材の準備を行っている写真(別冊午後No.33)を別に示す。

- この後に使用する印象材はどれか。1つ選べ。
a 石膏
b アルジネート
c シリコンラバー
d 酸化亜鉛ユージノール

別冊 午後 No.33 写真

選択肢考察

答え b



x a, O b, x c, x d 写真は寒天印象材の硬さ、温度などを確認しているところである。寒天印象材と連合印象採得するのはアルジネート印象材である。

ポイント

- <寒天アルジネート印象採得>
・インレー、クラウン、ブリッジの印象採得に用いられる。
・支台歯形成終了時点でコンディショナーの準備も完了しておく必要がある。
・支台歯に注入した寒天が硬化する前にアルジネート印象材を練和する。

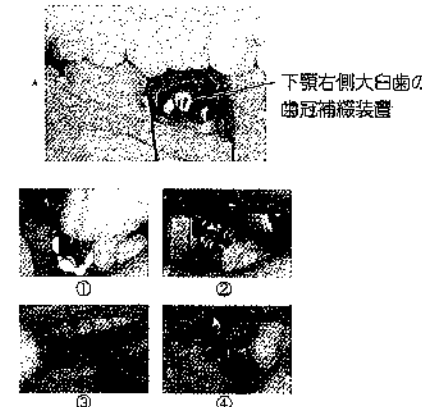
(問題 98) 50歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。完成した下顎右側大臼歯部の歯冠補綴装置の写真(別冊午後No.34A)と装着手順の写真(別冊午後No.34B)を別に示す。

- 装着手順で正しいのはどれか。1つ選べ。
a ①→②→③→④
b ②→①→③→④
c ②→③→①→④
d ③→②→①→④

別冊 午後 No.34A,B 写真

選択肢考察

答え b



x a, O b, x c, x d クラウンの装着手順は、まずコンタクトゲージで隣接歯との接触関係を検査(2)した後には調整し、探針でクラウン辺縁部の適合を確認後、適合検査材(ホワイトシリコン)でクラウン内面の適合を検査(1)する。支台歯とクラウン内面とが当たっている場合には、クラウン内面を削る。さらに、咬合紙を用いて咬合検査(3)を行い、咬合調整する。最後にリムーバルノブを撤去してクラウンを装着(4)する。したがって、2→1→3→4が正解である。

ポイント

- <クラウンの調整手順>
①プロビジョナルレストレーションの撤去(クラウンリムーバー)
②支台歯の清掃、仮着材の除去(エキスポローラー、スクレーパーなど)
③隣接面接触関係の調整(コンタクトゲージ、カーボランダムポイント、デンタルフロス)
④辺縁適合性の確認(エキスポローラー)
⑤内面の適合診査、内面の調整(ホワイトシリコン、カーボランダムポイント)
⑥咬合診査、咬合調整(咬合紙、カーボランダムポイント)
⑦最終研磨(茶色シリコンポイント、青色シリコンポイントなど)

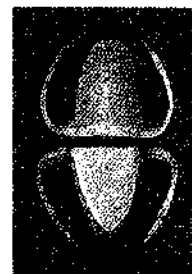
(問題 99) 全部床義歯製作過程の写真(別冊午後No.35)を別に示す。

- 次の操作に必要なのはどれか。2つ選べ。
a 咬合紙ホルダー
b デンタルノギス
c ワックスパチュラ
d シリコンラバー印象材

別冊 午後 No.35 写真

選択肢考察

答え b c



上下顎全部床義歯の咬合床

x a 写真は全部床義歯の咬合床で、これから咬合採得を行うところである。咬合紙ホルダーは人工歯の咬合関係調べるときに用いる。咬合採得時には不要である。
O b 鼻下点-オトガイ点間との距離を測定し、眼角-口角間の距離と等しくなるように咬合床を調整する。
O c 咬合床の形態を調整するのに用いる。
x d 印象採得はすでに終了している。

ポイント

- <全部床義歯の咬合採得時に準備する器具・道具>
①咬合床
②パラフィンワックス

- ③ノギス
④顔弓(フェイスボウ)
⑤咬合平面板
⑥ワックスパチュラ(大・小)
⑦エバンス
⑧咬合採得材(チェックバイト、シリコンラバー、パラフィンワックスなど)
⑨咬合床形成用ヘラ(ホットプレート)
\*シェードガイド、モールドガイドは人工歯選択のために用いる。

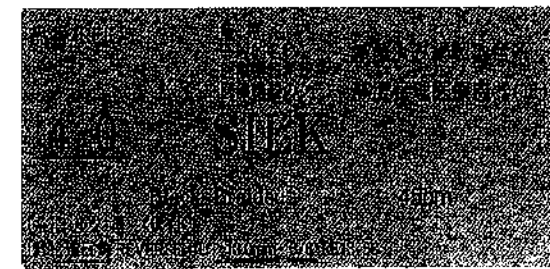
(問題 100) 針付き縫合糸のパッケージの写真(別冊午後No.36)を別に示す。

- 下線部の表示の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
a ① 糸の長さ
b ② 針の断面の形態
c ③ 針の太さ
d ④ 針の彎曲の程度

別冊 午後 No.36 写真

選択肢考察

答え b d



針付き縫合糸のパッケージ

- x a ①は糸の太さを示す。
O b ②は針の断面の形態を示す。
x c ③は針の長さを示す。
O d ④は針の彎曲の程度を示す。

ポイント

- <無傷針>
針付き縫合糸に用いられる弾機孔のない針のことである。

(問題 101) フランクフルト平面が通るのはどれか。2つ選べ。

- a セラ(S)
b ナジオン(N)
c ポリオン(Po)
d オルビターレ(Or)

選択肢考察

答え c d

x a, x b セラ(S)とナジオン(N)とを結んだ平面はSN平面である。
O c, O d ポリオン(Po)とオルビターレ(Or)とを結んだ平面がフランクルト平面である。

ポイント

<頭部エックス線規格写真の基準平面>

Table with 3 columns: X-ray plane, Cephalometric point, and corresponding anatomical point. Includes SN, FH, Pog, ANS, PNS, Me, Gn, etc.

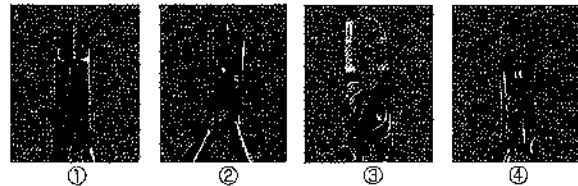
(問題 102) 矯正治療用器具の写真(別冊午後No.37)を別に示す。

- 矯正治療終了時、ブラケットの撤去に使用するのはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.37 写真

選択肢考察

答え c



- x a ①はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー、ロックピンなどの細いワイヤーの切断に用いる。
x b ②はディスタルエンドカッターである。パッカルチューブの遠心端から突出したアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するために用いる。
O c ③はブラケットリムービングプライヤーである。接着したブラケットを歯面から撤去するのに用いる。
x d ④はバンドリムービングプライヤーである。バンドの撤去に用いる。

ポイント

- <ブラケット撤去に必要なもの>
・ブラケットリムービングプライヤー
・レジンリムーバー(ボンディング材撤去鉗子)

(問題 103) 認知症患者への接し方で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患者のペースに合わせる。
b 作り話の内容を訂正する。
c 幼児語を用いて説明する。
d 非言語的コミュニケーションを用いる。

選択肢考察

答え a d

O a, x b 認知症患者が作り話をしても訂正や注意をしない。日によって不機嫌のことがあるので、患者が安心できる状況を整え、無理をせず、患者のペースに合わせる。
x c 説明を理解できない場合でも、わかりやすい言葉で丁寧に説明する。幼児語を用いるわけではない。
O d わかりやすい言葉で丁寧に説明することも重要であるが、非言語的コミュニケーションも効果的である。

ポイント

<アルツハイマー型認知症>  
記憶障害や見当識障害が特徴的である。

(問題 104) 放射線治療による晩発障害はどれか。2つ選べ。

- a 白内障
- b 粘膜炎
- c 味覚障害
- d 下顎骨壊死

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 晩発障害には白血病、骨髄炎、白内障、粘膜の萎縮、口腔乾燥、がん、骨露出、下顎骨壊死などがある。
- × b、× c 早発障害には、放射線宿酔、粘膜炎、味覚障害、口腔乾燥、結膜炎などがある。

ポイント

<放射線被曝後の障害>

早発障害	放射線被曝後、数日から数か月以内に出現	放射線宿酔、粘膜炎、味覚障害、口腔乾燥、結膜炎
晩発障害	放射線被曝後、数か月から数年後に出現	白血病、骨髄炎、白内障、粘膜の萎縮、口腔乾燥、がん、骨露出、下顎骨壊死

(問題 105) 歯科医師が局所麻酔を行った。歯科医師がチエアーサイドを離れてから、患者の顔面は蒼白になり、気分が悪くなった。

- 患者への対応で正しい体位はどれか。1つ選べ。
- a 座位
  - b 水平位
  - c 横臥位
  - d ファーラ位

選択肢考察 答え b

- × a、× d 口腔ケアを行う際の基本体位は、座位あるいはファーラ位である。
- b 局所麻酔後に顔面蒼白になったことから血管迷走神経反射(神経性ショック)と考えられる。水平位にして下肢を高くして脳への血行をよくする必要がある。
- × c 横臥位は片麻痺の患者に対して用いる体位である。

ポイント

<血管迷走神経反射(神経性ショック)への対応>

- ① 下肢を高くする。
- ② 着衣をゆるめる。
- ③ 脈拍を測定する。
- ④ やさしく話しかけて安心感を与える。
- ⑤ 深呼吸をすすめる。
- ⑥ 改善されない場合にはアトロピンを投与する。

(問題 106) ロコモティブシンドロームで移動機能が低下する理由はどれか。2つ選べ。

- a 筋力の低下
- b 血糖値の低下
- c 関節可動域の低下
- d 血清アルブミン値の低下

選択肢考察 答え a c

- a 筋力の低下は運動機能と関連するため、低下により移動機能は低下する。
- × b 血糖値の低下はロコモティブシンドロームで移動機能が低下する理由とはならない。
- c 関節可動域は運動機能と関連するため、低下により移動機能は低下する。
- × d 血清アルブミン値の低下はロコモティブシンドロームで移動機能が低下する理由とはならない。

ポイント

<ロコモティブシンドローム>

- ・ロコモティブシンドロームでは骨格筋におけるサルコペニアを念頭においている。
- ・疼痛や関節可動域の低下、筋力低下、バランス機能低下をまねき、移動機能の低下に至る。

(問題 107) 75歳の男性。食物の摂取困難を主訴として来院した。嚥下機能を評価するために行った検査の写真(別冊午後No.38)を別に示す。

- この検査で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 10秒間で判定する。
  - b 不顕性誤嚥を検出する。
  - c 事前に訓練が必要となる。
  - d 3回でできれば正常と評価する。

別冊 午後 No.38 写真

選択肢考察 答え c d



反復唾液嚥下テスト(ASST)

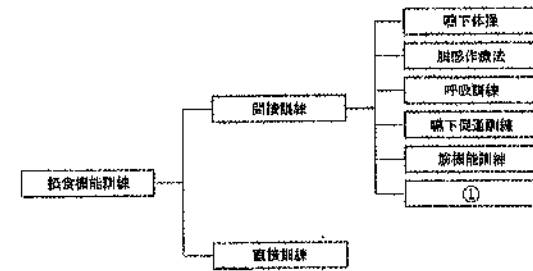
- × a 反復唾液嚥下テストは30秒間で判定する。
- × b 反復唾液嚥下テストは不顕性誤嚥を検出することはできない。
- c 患者が嚥下を行うことが困難なときは、正確に回数をカウントできなくなるため、事前に反復唾液嚥下テストを行うための訓練が必要となる。
- d 反復唾液嚥下テストは3回未満で嚥下障害の可能性が高いと評価する。

ポイント

<反復唾液嚥下テスト>

検査者は被検者の喉頭隆起および舌骨部にそれぞれ指腹を軽くあて、唾液を連続して嚥下するように指示する。30秒間、触診してその間の嚥下回数を検査値とする。3回未満で嚥下障害の可能性が高いと評価する。

(問題 108) 摂食機能訓練の分類を図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 舌訓練
- b ガムラビング
- c 姿勢保持訓練
- d ブローイング

選択肢考察 答え c

- × a 舌訓練は筋機能訓練である。
- × b ガムラビング(歯肉マッサージ)は嚥下促進訓練である。
- c 図の①に該当する間接訓練は姿勢保持訓練である。
- × d ブローイングは呼吸訓練である。

ポイント

<姿勢保持訓練(座位保持訓練)>

膝を伸展した長座位で股関節を十分に屈曲して体幹を前方に傾斜させ、体重心を殿部より前方に位置させる(ベッド上で安定した座位)。

(問題 109) スマイルケア食で舌によりつぶせる食品はどれか。1つ選べ。

- a スマイルケア食0
- b スマイルケア食1
- c スマイルケア食2
- d スマイルケア食3

選択肢考察 答え d

- × a スマイルケア食0はそのまま飲み込める性状のものである。
- × b スマイルケア食1は口の中で少しつぶして飲み込める性状のものである。
- × c スマイルケア食2は少し咀嚼して飲み込める性状のものまたは噛まなくてよい食品である。
- d スマイルケア食3は舌でつぶせる食品である。

ポイント

<スマイルケア食の選択>

スマイルケア食5は容易にかめる食品である。飲み込みに問題があるのか噛むことに問題があるのかを確認することが重要である。

(問題 110) 摂食嚥下障害に対する間接訓練で嚥下促進訓練はどれか。2つ選べ。

- a ガムラビング
- b ブローイング
- c プッシング訓練
- d アイスマッサージ

選択肢考察 答え a d

- a、○ d ガムラビングやアイスマッサージは嚥下反射を誘発する嚥下促進訓練である。
- × b ブローイングは呼吸訓練である。
- × c プッシング訓練は声門閉鎖訓練である。

ポイント

<嚥下促進訓練>

- ・ガムラビング(歯肉マッサージ)
- ・アイスマッサージ
- ・メンデルゾーン手技